

横浜市がん撲滅対策推進条例に基づく平成26年度実施状況について

横浜市がん撲滅対策推進条例 第18条に基づき、
平成26年度の横浜市のがん対策に関する施策の実施状況を報告します。

「横浜市がん撲滅対策推進条例」は、横浜市のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がんの予防及び早期発見に資するとともに、全ての市民が適切ながんに係る医療を受けられるようにするための総合的ながん対策を推進することを目的に、平成26年第2回市会定例会において市会議員全員の提案により成立し、10月に施行されました。

※二重線については、平成26年度新規の取組（ただし、啓発は除く。）

総括（報告書2ページ）

平成26年度は、条例施行初年度のため、従来から取組を進めている「がんの予防」「がん検診」のほか、市立病院及び横浜市立大学での取組が主な報告となっていますが、条例の施行による新たな取組も行いました。

■庁内推進体制の設置

副市長及び関係区局長による「がん対策推進会議」を設置し、各区局のがん対策に関わる事業の実施状況について情報共有をしたほか、がん対策に関する取組を積極的に進めていくことを確認しました。

■条例施行の市民への周知

地域中核病院等の「がん」をテーマにした市民公開講座で、条例周知のちらしを配布しました。
条例施行の10月に合わせ、中央図書館にがんに関する図書を集めた特設コーナーを設置し、がん検診啓発ちらし等の配布と共に周知を行いました。

■横浜市中期4か年計画（2014～2017）での目標設定

「がん等疾病対策の推進」を位置づけ、総合的ながん対策の推進に向けた計画を策定し、施策を実施していくことを目標としています。

■関係機関との意見交換

「がん診療連携拠点病院等」のほか、患者会を訪問し、現状や市の総合的ながん対策に向けた意見などを伺いました。

実施状況 1 がんの予防の推進（第6条関係）（報告書3-8ページ）

区役所 健康福祉局

喫煙、食生活などの生活習慣などが健康に及ぼす影響について、普及啓発を行いました。
・「健康横浜21」、「よこはま保健医療プラン2013」の計画に基づき、取組を行いました。
・ライフステージに合わせた禁煙・喫煙防止啓発リーフレットを作成、配布し、終日禁煙する飲食店の登録等、受動喫煙を受けない環境づくり等を進めました。

教育委員会事務局

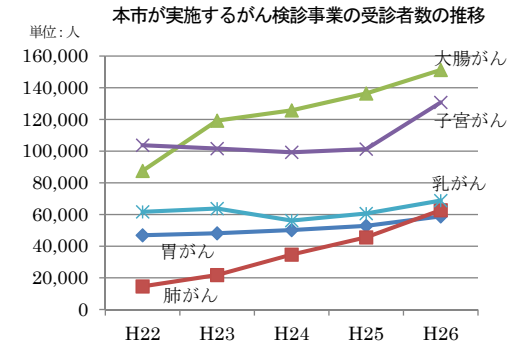
文部科学省の「がんの教育総合支援事業」を受託している神奈川県と連携し、学校におけるがん教育の方法、教材の作成等について検討を行いました。

2 がんの早期発見の推進（第7条関係）（報告書9-17ページ）

(1) がん検診の状況（報告書9-12ページ）

健康福祉局

職場の検診などの他に受診機会のない方で、一定の年齢要件等を満たす方に、**がん検診を実施**しました。



がん検診の受診率の目標は、国同様、平成28年のがん検診受診率を50%（胃、肺、大腸がんは当面40%）としています。

受診率向上に向けた取組として、大腸がんや子宮頸がん、乳がんの検診初年度の方などに、**無料クーポン券を送付**して受診を勧めました。

がん検診の対象となる方が、定期的に受診していただけるよう、無料クーポン券の対象者以外の方に、**個別勧奨通知を送付**しました。

(3) 各区局での取組（報告書13ページ）

区役所

- ・子育て中の親を対象にした乳がん触診モデルを用いた自己触診法の紹介や受診啓発
- ・生活習慣改善講座でのがん検診の普及啓発
- ・イベントでのがん検診に関する広報活動

等を行いました。



＜乳がん触診モデルによる触診体験＞

健康福祉局

受診率向上に向けた取組として、**ピンクリボンキャンペーン2014in横浜スタジアム**でのPRを行いました。

水道局

ピンクリボンデザインの横浜水缶の製造・販売・配布など、がん検診に関する広報活動を行いました。

子ども青少年局

妊娠の届出をした妊婦に対し、妊婦健康診査事業の一環として「子宮頸がん検診（細胞診）」の検査項目を設けており、妊婦健康診査費用補助券を交付しています。

3 がんに係る医療の充実・緩和ケアの充実（第8条及び第10条関係）（報告書18-22ページ）

(1) がん診療連携拠点病院等（報告書18ページ）

がん診療連携拠点病院は、専門的ながん医療を行うと共に、がん診療の連携体制の整備、がん患者に対する相談支援、情報提供等を行う病院で、地域のがん診療の質の向上を図ることを目的に国が指定します。（がん診療連携拠点病院には、都道府県に1か所指定される「都道府県がん診療連携拠点病院」と二次医療圏ごとに指定される「地域がん診療連携拠点病院」があります。）

26年度には、「恩賜財団済生会横浜市東部病院」及び「横浜市立大学附属市民総合医療センター」の2病院が地域がん診療連携拠点病院に指定され、県指定を含め、市内で12病院となりました。

(2) 高度で先進的な医療技術（報告書19ページ）

病院経営局 横浜市立大学

みなと赤十字病院では、“手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」”による前立腺がんに対する手術を行っています。

市民病院では、婦人科がんの診療・治療の強化、充実を図ることを目的として、26年度に「婦人科内視鏡手術センター」を設置しました。



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

横浜市立大学附属病院では、カプセル内視鏡を用いた検査により、これまで診断に苦慮していた小腸疾患の診断に実績を上げているほか、26年5月に“手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」”を導入、27年1月に外来化学療法室を移転・拡充（13床から23床に増床）し、待ち時間の短縮とともに、より安全かつ質の高い化学療法の提供体制を整えました。

横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、「生殖医療センター」において、がん患者が治療前に卵子・精子を保存するための医療を実施しています。

(3) 緩和ケアの状況（報告書19ページ）

がん診療連携拠点病院等では、「がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得する」ことを目的に、医療従事者向けの研修会を実施しました。

病院経営局

市民病院及びみなと赤十字病院では、緩和ケア病棟を運営しています。

市民病院では、26年12月から苦痛緩和に関する相談を目的とした外来を設置し、患者の様々な苦痛に対する早期スクリーニングに努めています。

(4) 地域連携クリティカルパス（報告書20ページ）

がん診療連携拠点病院では、手術や放射線治療等の専門的ながん治療を終えたがん患者を、地域医療機関と共同して診察するために、がん地域連携クリティカルパスを整備しています。

4 がん患者及びその家族等への支援（第9条関係）（報告書23-25ページ）

(1) がんの相談（報告書23-24ページ）

がん診療連携拠点病院等にはがん相談支援センターが設置されており、がんについて詳しい看護師や生活全般について相談できるソーシャルワーカーなどが、患者や家族の相談に対応しています。

病院経営局 横浜市立大学

《市民病院》

就労を希望する患者の支援として、ハローワーク横浜による出張相談を実施

《みなと赤十字病院》

患者や家族のからだところのバランスを整え、自分らしさを取り戻すことを目的とした「みなとサロン」（語り合い、ストレッチ、ミニレクチャー等）の開催

《横浜市立大学附属病院》《横浜市立大学附属市民総合医療センター》

各種がん患者会の活動の支援

(2) がん患者への支援（報告書24ページ）

健康福祉局

小児慢性疾患のうち、小児がんを含む特定の疾患について医療費の自己負担分の一部補助及び福祉サービスを行いました。

がん征圧・患者支援チャリティ活動「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014」を共催しました。

文化観光局

「クラシック・ヨコハマ」の一環として、小児がん征圧キャンペーン「生きる〜2015 New Year 若い命を支えるコンサート」（主催：毎日新聞社）を、実施しました。

5 在宅医療の充実（第11条関係）（報告書26ページ）

健康福祉局

在宅医療と介護の連携推進に向け、横浜市医師会と協働し、在宅医療連携拠点を設置（10か所）、運営したほか、地域の医療・介護に携わる職種への研修を行い、がん患者の在宅療養を支援しました。

6 医療従事者の育成及び確保（第12条関係）（報告書27ページ）

横浜市立大学

文部科学省の「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に採択されているプログラムの一環として、がん診療にすぐれた技術を持った医療人材を養成するための専門性の高い教育を行いました。

7 情報の収集及び提供等（第13条関係）（報告書28-30ページ）

がん診療連携拠点病院等のがん相談支援センターでは、がんに関する情報提供を行っています。

教育委員会事務局（報告書28ページ）

中央図書館では、医療・健康に関する情報を集めたコーナーを設置し、医療・健康に関する図書のほか、患者会の資料やパンフレット、関連する図書紹介リスト、医療健康関連の催事ちらし配布等により、情報提供を行いました。

病院経営局 横浜市立大学（報告書28-29ページ）

がん相談支援センターでの情報提供のほか、市民病院、みなと赤十字病院では、がんに関する市民向け講座、横浜市立大学ではエクステンション講座として、がんに関する市民向けの講座を開催しました。

健康福祉局（報告書30ページ）

神奈川県骨髄移植を考える会及び神奈川県血液センターの協力の下、骨髄ドナー登録会を開催しました。

8 がん研究の推進（第14条関係）（報告書31-32ページ）

横浜市立大学

先端医学科学研究センターでの研究、テキサス大学MDアンダーソンがんセンターとのMOU（覚書）の締結など、がん研究の取組を進めています。

9 平成27年度のがん対策関連の主な新規事業（報告書33ページ）

- ・がん対策推進計画の策定に向けた検討
- ・精密検査未受診者への受診勧奨
- ・小児がん連携病院の指定
- ・市民病院にがんセンターを設置
- ・社会保険労務士による就労相談を実施
- ・患者会、ピアサポートの活動支援
- ・緩和ケア病棟整備補助
- ・がんに関する詳しい医療従事者（専門看護師、認定看護師等）の育成支援
- ・横浜市立大学におけるがん研究の支援



平成 26 年度

横浜市がん撲滅対策推進条例に基づく
実施状況報告書

平成 27 年 9 月

横 浜 市

— 目 次 —

I	はじめに	1
II	総括	2
III	実施状況	3
1	がんの予防の推進（第6条関係）	3
	(1) 主な取組	
	(2) 各区局の主な取組状況	
	(3) 子宮頸がん予防ワクチンの定期接種	
	コラム 世界禁煙デー	
2	がんの早期発見の推進（第7条関係）	9
	(1) がん検診の状況	
	(2) 市立病院での取組	
	(3) 各区局での取組	
	(4) 各区局の主な取組状況	
3	がんに係る医療の充実・緩和ケアの充実（第8及び10条関係）	18
	(1) がん診療連携拠点病院等	
	(2) 高度で先進的な医療技術	
	(3) 緩和ケアの状況	
	(4) 地域連携クリティカルパス	
	コラム がん診療連携拠点病院等の先進医療 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」 がん診療連携拠点病院等の高度医療機器保有状況 重粒子線治療とは	
4	がん患者及びその家族等への支援（第9条関係）	23
	(1) がんの相談	
	(2) がん患者への支援	

5	在宅医療の充実（第11条関係）	26
	(1) 横浜市在宅医療連携拠点	
	(2) 在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修	
6	医療従事者の育成及び確保（第12条関係）	27
	コラム 専門看護師・認定看護師	
7	情報の収集及び提供等（第13条関係）	28
	(1) 中央図書館からの情報提供	
	(2) 各病院からの情報提供	
	(3) 各病院からの情報発信	
	(4) 骨髄移植普及啓発事業等	
8	がん研究の推進（第14条関係）	31
	(1) 横浜市立大学の取組	
	(2) 横浜市立大学の今後の取組	
	コラム 国際戦略総合特区推進事業	
9	平成27年度のがん対策関連の主な新規事業	33
IV	各区局の実施状況 平成26年度がん関連事業実績報告書	35
V	参考資料 ・統計資料 ・横浜市がん撲滅対策推進条例	95

1 はじめに

「横浜市がん撲滅対策推進条例」（以下「条例」という。）は、横浜市のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がんの予防及び早期発見に資するとともに、全ての市民が適切ながんに係る医療を受けられるようにするための総合的ながん対策を推進することを目的に、平成 26 年 10 月に施行されました。

このたび、条例第 18 条に基づき、平成 26 年度の横浜市のがん対策に関する施策の実施状況を報告します。

この報告書は、横浜市各区局及び横浜市立大学の取組について、条例の項目ごとにまとめています。

条例の施行は 10 月ですが、本報告書は原則として平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月までの実施状況を記載しました。

なお、横浜市では、27 年度から総合的ながん対策の推進事業として、条例に基づく各種の施策を実施するほか、計画的ながん対策の推進に向け、市のがん対策推進計画の策定に取り組んでいます。

II 総括

「横浜市がん撲滅対策推進条例」が平成26年第2回定例会で全市会議員の提案により制定されたことを受け、7月に「がん対策推進会議」及び「関係課長会議」を設置し、庁内の推進体制を整えました。その後、8月に関係課長会議、10月にがん対策推進会議を開催し、各区局のがん対策に関わる事業の実施状況について情報共有をしたほか、がん対策に関する取組を積極的に進めていくことを確認しました。

がん対策推進会議（委員構成）

副市長、戸塚区長、政策局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、保健所長、健康福祉局医療政策室長、病院経営局長、教育長、横浜市立大学事務局長

健康福祉局では、条例制定を受け、市民への周知を図るため、地域中核病院等で開催されるがんをテーマとした市民公開講座において、条例周知のちらしを配布しました。

教育委員会では、中央図書館において条例施行の10月にあわせて、がんに関する図書を集めた特設コーナーを設置し、健康福祉局と連携し、条例やがん検診のちらし等の配布により、市民への周知を図りました。

平成26年度に策定した横浜市中期4か年計画（2014-2017）に、「がん等疾病対策の推進」を位置づけ、総合的ながん対策の推進に向けた計画を策定し、施策を実施していくことを目標としています。総合的ながん対策の推進に向け、健康福祉局では、市内がん診療連携拠点病院等のほか、患者会を訪問し、意見をうかがいながら施策の検討を進めました。

平成26年度は、がんの予防、がん検診、市立病院、横浜市立大学での取組が主な報告となっていますが、27年度以降は、条例の趣旨に基づき、幅広い施策への取組を進めます。

※平成27年4月の機構改革で医療局を新たに設置し、総合的ながん対策の推進については医療局で施策を実施している。

Ⅲ 実施状況

1 がんの予防の推進（第6条関係）

喫煙、食生活等の生活習慣及び生活環境が健康に及ぼす影響に関する知識の普及啓発や、がんの予防の推進のために必要な施策を実施しました。

(1) 主な取組

がんの予防の推進については、「健康横浜 21」、「よこはま保健医療プラン 2013」の計画に基づき、各区局において様々な啓発活動を行いました。

主な啓発活動としては、ライフステージに合わせた禁煙・喫煙防止啓発リーフレットを作成し、5月31日の世界禁煙デーや区民まつり、乳幼児健診や肺がん検診等で配布しました。

各種イベントでは、パネル展示や肺年齢測定を実施し、区福祉保健センターでは、禁煙相談を行いました。

また、小中高生など未成年者への喫煙防止教育や、横浜市薬剤師会と連携した禁煙を支援する薬局への研修会の開催、終日禁煙する飲食店の登録など、受動喫煙を受けない環境づくり（健康福祉局）を進めました。

そのほか、文部科学省の「がんの教育総合支援事業」を受託している神奈川県と連携し、学校におけるがん教育の方法、教材の作成等について検討（教育委員会）を行う等、がんの予防の推進を図りました。

(2) 各区局の主な取組状況

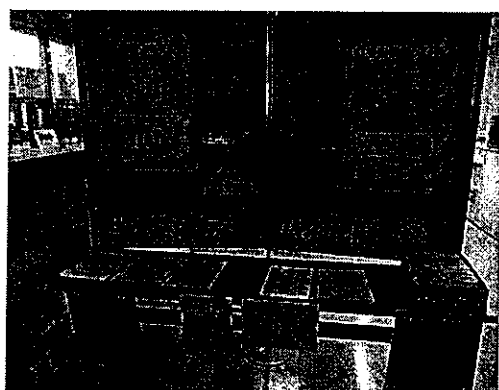
区局名	実施イベント等	実施時期・回数等
鶴見区	世界禁煙デーイベント	5月下旬～6月初旬
	肺がん検診（区役所会場）での啓発（禁煙・喫煙防止）	6回
	禁煙相談	通年
	母親教室での啓発（禁煙・喫煙防止）	12回
神奈川 区	子育て世代向け生活習慣改善講座	6月27日、7月4日
	世界禁煙デーイベント	5月30日～6月6日
	禁煙相談	通年
	地域の禁煙支援の環境づくり （小中高大学での防煙教室など）	6月～2月
	両親教室での禁煙、適正飲酒講座	4月～3月
	神奈川大学との共催事業（受動喫煙防止啓発）	10月1日、11月1日

区局名	実施イベント等	実施時期・回数等
西区	ノースモーキングノーパーキングでの喫煙防止啓発	5月24日
	区民まつりでの喫煙防止啓発	11月2日
	ハマのウォーキングフェスティバルでの喫煙防止啓発、COモニター測定	12月7日
	世界禁煙デーイベント	6月19日
	プレママプレパパ教室（受動喫煙防止・禁煙啓発）	4月～3月
	小学校での喫煙防止教室	7月～12月
	事業者団体研修会（受動喫煙防止・禁煙啓発）	6月～3月
	禁煙相談	通年
	親子食育体験での禁煙啓発	通年
中区	生活習慣改善講座でのがん予防啓発	5月21日、10月15日
	がん検診会場でのがん予防啓発	7回
	喫煙防止教育	6月～10月
	禁煙相談	通年
南区	喫煙防止教育	12月2日、1月15日、2月5日
	世界禁煙デー禁煙相談といきいきふれあい南なんデー会場での検診啓発	6月3日、6月5日、10月5日
	子育て世代への禁煙啓発	通年(10回)
	結核ハイリスク健診での個別相談	9月3日
	禁煙相談	通年
	健康測定会でのがんの予防啓発	21回
	働き世代応援事業でのがんの予防啓発	5月、6月、7月、3月
港南区	世界禁煙デーパネル展	5月26日～30日
	食中毒予防キャンペーンでの禁煙啓発、相談	8月1日
	禁煙・分煙をすすめる会講演会	3月7日
	タバコのポイ捨て禁止キャンペーンでの禁煙啓発、相談	6月4日、3月19日
	両親教室での禁煙講話	12回
	喫煙防止教育	4回
	出前講座（禁煙・受動喫煙防止）	2回
	禁煙相談	通年
	講演会の開催（肺がん）、禁煙・受動喫煙防止啓発	11月8日
保土ヶ谷区	区民まつり（禁煙啓発）	10月18日
	横浜国立大学祭（禁煙・受動喫煙防止啓発）	11月2日

区局名	実施イベント等	実施時期・回数等
旭区	喫煙防止教育	7月、12月
	受動喫煙防止・禁煙キャンペーン	2回
磯子区	喫煙防止教室	12回
	世界禁煙デーイベント	6月、9月
	禁煙相談	通年
金沢区	禁煙相談	通年
	世界禁煙デーイベント	5月
	両親教室での禁煙・受動喫煙防止啓発	通年
	いきいきフェスタでの禁煙・受動喫煙防止啓発	10月18日
港北区	禁煙相談	通年
	世界禁煙デー（リーフレット配布及び肺年齢測定）	5月～6月
	区民まつり、駅街頭啓発（禁煙・受動喫煙防止啓発）	10月～11月
	両親教室での肺年齢測定、禁煙・受動喫煙防止啓発 リーフレット配布	月1回
	母子手帳交付時に禁煙・受動喫煙防止啓発リーフレット配布（喫煙妊婦には禁煙指導を実施）	随時
	未成年者への喫煙防止教育講座、喫煙防止啓発	1月、8月、11月
	食品衛生責任者講習会・生活衛生協議会への禁煙、受動喫煙防止講話	2月、3月
緑区	事業主に向けた受動喫煙防止啓発とCOPDの周知 （食品衛生講習会）	2～3月
	事業主に向けた受動喫煙防止啓発とCOPDの周知 （肺がん検診）	7回
	子育て世代への受動喫煙防止及び禁煙啓発 （妊婦対象）	12回、随時
	子育て世代への受動喫煙防止及び禁煙啓発 （乳幼児健診）	3回
	ニコニコ卒煙クリニック（禁煙相談）	12回
	世界禁煙デーイベント	5月～6月
	肺がん検診時等呼気中一酸化炭素濃度測定	21回
	禁煙相談（防煙・禁煙支援啓発キャンペーン）	5月19～23日
青葉区	展示・イベント（防煙・禁煙支援啓発）	5月19～23日
	区民向け講演会「日本人のためのがんを予防する生活習慣」の開催	1月16日
	高校・大学などでのがん予防の出前教室	12回
	禁煙相談	通年
	ミニミニ健康フェスティバル（防煙・禁煙支援啓発）	5月31日

区局名	実施イベント等	実施時期・回数等
都筑区	世界禁煙デーたばこ展（パネル展、COPD体験、肺年齢チェッカー、受動喫煙防止啓発等）	5月～6月
	禁煙相談	通年
戸塚区	小学校での喫煙防止教育	10回
	受動喫煙防止、禁煙支援についての啓発教室	通年
	禁煙相談	通年
栄区	世界禁煙デーイベント	5月26日～30日
	禁煙相談	通年
	区民まつりでの普及啓発	11月1日
	両親教室での普及啓発	年3回
泉区	世界禁煙デーイベント	5月29日・30日
	キッパリ卒煙教室	6回
	未成年等の喫煙防止啓発・受動喫煙防止啓発	12回
	職域に対する特定健診受診勧奨および禁煙支援	6回
瀬谷区	世界禁煙デーイベント	5月30日
	肺がん検診時の禁煙・受動喫煙防止啓発	9回
	乳幼児健診来所時の保護者の健康チェック	24回
	瀬谷フェスティバルでの禁煙・受動喫煙防止啓発	10月26日
	禁煙相談	随時
	救急の日での禁煙・受動喫煙防止啓発	9月
	両親教室での禁煙・受動喫煙防止啓発	10回
	保健活動推進員による禁煙・受動喫煙防止啓発	随時
健康福祉局	歯と口の健康週間（中央行事）での禁煙・受動喫煙防止啓発	6月8日
	薬物乱用防止キャンペーンでの禁煙・受動喫煙防止啓発	9月7日
	ライフステージ別禁煙・喫煙防止啓発リーフレットの作成・配布	通年
	禁煙支援薬局研修の開催	7月12日
	九都県市受動喫煙防止キャンペーンポスター作成・配布	9月～11月
	店内終日禁煙店の推進	通年
	子宮頸がん予防ワクチンの定期接種	通年
	子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に対する医療支援	通年
教育委員会事務局	神奈川県がん教育モデル授業及び意見交換会への参加	10月24日 11月21日

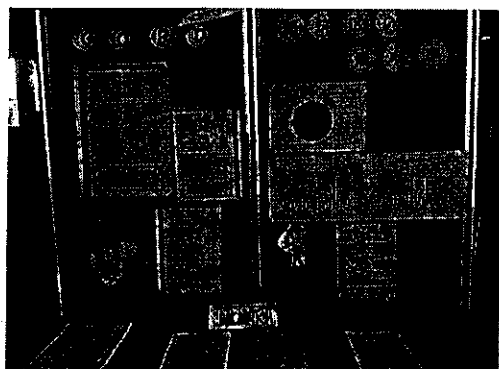
主な取組風景



世界禁煙デーパネル展



喫煙防止啓発



世界禁煙デーパネル展



喫煙防止啓発

(3) 子宮頸がん予防ワクチンの定期接種

子宮頸がん予防ワクチンの接種は、国の補助事業として、平成 23 年 2 月から始まり、25 年 4 月から定期予防接種として位置づけられました。しかし、接種後に原因が明らかとならない持続的な痛みやしびれ、脱力などの症状を訴えるケースが生じたため、25 年 6 月以降、国の勧告に基づいて、積極的に接種をお勧めしていない状況です。

本市においても、子宮頸がん予防ワクチン接種後に症状が生じて日常生活に支障が生じている市民の方がいらっしゃることから、症状と接種との因果関係が明らかとならない段階においても、現に症状を有している実態に即して適切な医療が受けられるよう、26 年 6 月から市独自に医療費等の支援策を講じています。

§ コラム § 【世界禁煙デー】

喫煙が健康に与える影響は大きい上、受動喫煙の危険性やニコチンの依存性を踏まえると、喫煙習慣は個人の嗜好にとどまらない健康問題であり、生活習慣病を予防する上で、たばこ対策は重要な課題になっている。

世界保健機関(WHO)は、昭和 45 年にたばこ対策に関する初めての世界保健総会決議を行い、平成元年には5月 31 日を「世界禁煙デー」と定め、喫煙しないことが一般的な社会習慣となることを目指した「たばこか健康かに関する活動計画」を開始した。厚生労働省においても、平成4年から世界禁煙デーに始まる一週間を「禁煙週間」として定め、各種の施策を講じてきたところである。

厚生労働省において実施している「健康日本 21(第二次)」やがん対策基本計画の目標でもある「未成年者の喫煙をなくす」ためには、喫煙による健康影響を認識させることが重要であり、また、「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」に基づく第2回締約国会議において、「たばこの煙にさらされることからの保護に関するガイドライン」が採択され、我が国においても、平成 22 年2月に、基本的な方向性として、公共の場は原則として全面禁煙であるべき等を記した通知を発出し、平成 24 年度においては、受動喫煙防止対策の徹底について通知を発出した。

平成 27 年度は、たばこを減らすことで命を守ることを目的として、「2020 年、スモークフリーの国を目指して ～東京オリンピック・パラリンピックへ向けて～」を禁煙週間のテーマとし、禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発を積極的に行うものである。(厚生労働省 HP 平成 27 年度「禁煙週間実施要綱」より)

2 がんの早期発見の推進（第7条関係）

がんの早期発見、がん検診の受診率及び質の向上等を図るために必要な施策を実施しました。

(1) がん検診の状況（健康福祉局）

がんの早期発見・早期治療を促進する取組として、職場の検診などの他に受診機会のない方で、一定の年齢要件等を満たす方に、がん検診実施医療機関及び区福祉保健センター等でがん検診を実施しました。

本市が実施するがん検診事業の受診者数の推移

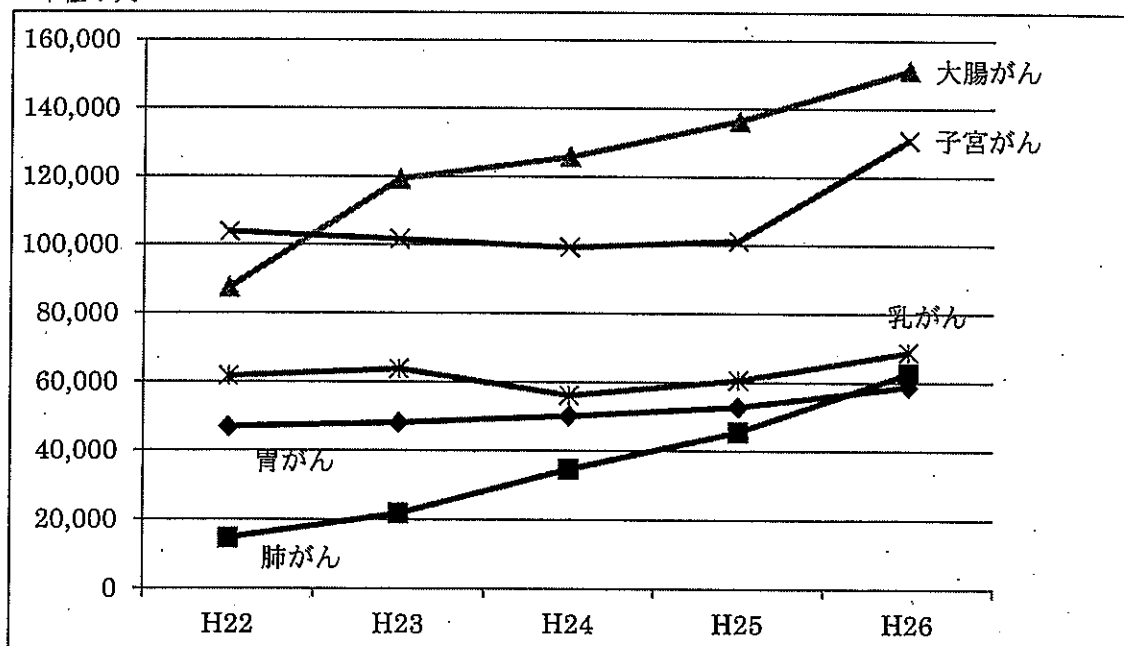
単位：人

	H22	H23	H24	H25	H26
胃がん	46,928	48,144	50,145	52,845	58,835
肺がん	14,630	21,820	34,734	45,572	62,723
大腸がん	87,521	119,275	125,765	136,420	151,264
子宮がん	103,756	101,661	99,280	101,294	130,797
乳がん	61,668	63,770	56,148	60,656	68,794
計	314,503	354,670	366,072	396,787	472,413

※H26より内視鏡検査による胃がん検診モデル事業を開始

本市が実施するがん検診事業の受診者数の推移

単位：人



市民のがん検診受診率

本市の目標は国同様、平成 28 年のがん検診受診率を、50%（胃、肺、大腸がんは当面 40%）としています。

目標達成に向けて、がん検診の重要性を広く市民の皆様にお知らせしており、着実に受診率は向上しています。

<受診率の目標及び実績>

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
平成 28 年 目標	40.0%	40.0%	40.0%	50.0%	50.0%
平成 25 年 実績	37.6%	37.6%	35.8%	44.6%	43.0%
平成 22 年 実績	32.0%	20.8%	21.7%	39.6%	41.5%

国民生活基礎調査に基づくがん検診受診率

【国民生活基礎調査とは】

保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の調査客体を抽出するための親標本を設定することを目的としています。

大規模調査（3年ごと）と簡易調査（毎年）があり、大規模調査時のがん検診の受診に関する調査を実施しているため、実績の把握は3年毎になります（次回は平成 28 年）。

受診率向上に向けた取組

大腸がんや子宮頸がん、乳がんの検診初年度の方などに、無料クーポン券を送付して、受診を勧めました。

また、がん検診の対象となる方が、定期的に受診していただけるよう無料クーポン券の対象者以外の方に、個別勧奨通知を送付しました。

<無料クーポン券>

対象検診	対象者	配布人数 (A)	受診者数 (B)	利用率 (B) / (A) %
大腸がん	前年度に 40・45・50・55・60 歳になった男性・女性	269,180	29,662	11.0%
子宮頸がん	前年度に 20 歳になった女性	323,307	57,229	17.7%
	22 歳～40 歳の女性 ※			
乳がん	前年度に 40 歳になった女性	341,437	36,001	10.5%
	42 歳～60 歳の女性 ※			

※ 平成 21 年度から 24 年度に無料クーポン券の対象となった方で、配布された年度に検診を受診しなかった方

<個別勧奨通知>

対象者	送付内容
前年度に22歳～40歳になった女性 (平成25年度及び26年度無料クーポン券対象者を除く。)	・子宮がん検診の啓発冊子 ・横浜市子宮がん検診実施医療機関名簿
前年度に41歳～68歳になった男性・女性 (平成26年度無料クーポン券対象者を除く。)	・横浜市がん検診ガイド ・横浜市がん検診実施医療機関名簿

受診環境の整備

受診しやすい環境の整備として、各がん検診の自己負担額を定め、受診者の費用負担の軽減を図っています。

検診の種類	検査内容	受診者の自己負担額		全額負担した場合(目安)
胃がん	胃部X線検査	3,140円		約13,000円
肺がん	胸部X線検査	680円		約6,000円
大腸がん	便潜血検査	600円		約2,000円
子宮がん	細胞診検査	頸部	1,360円	約7,000円
		頸部+体部	2,620円	約14,000円
乳がん	視触診+マンモグラフィ	1,370円 (視触診690円、マンモグラフィ680円)		約9,000円
PSA検査 (前立腺がん)	血液検査	1,000円		約4,000円

※全額負担の場合の料金は医療機関、検査内容によっても異なります。

(2) 市立病院での取組

市民病院 がん検診センター

横浜市がん検診(胃、肺、大腸、子宮、乳、PSA検査(前立腺がん))と病院独自のオプション検診(喉頭、肝胆膵、婦人科超音波(卵巣)、口腔、前立腺(40～49歳)、肺ヘリカルCT、PET-CT)の13項目の検診が、検診項目ごとに受診できるようになっています。

また、精度管理が必要な方の二次検診と経過観察を行っています。がんが発見された場合は、速やかに診断、治療が行える体制を整えています。

検診受診件数

検診種別	受診件数		
	24年度	25年度	26年度
胃がん検診	2,575件	2,594件	2,786件 (内訳) X線 2,750件 ※ 内視鏡 36件
肺がん検診	3,338件	3,569件	3,956件
大腸がん検診	3,654件	3,922件	4,073件
子宮がん検診	2,472件	2,655件	2,829件
乳がん検診	2,857件	2,995件	3,312件
PSA検査(前立腺がん)	1,184件	1,235件	1,436件
婦人科超音波検査	2,319件	2,483件	2,608件
喉頭がん検診	2,154件	2,265件	2,098件
肝胆膵がん検診	3,183件	3,386件	3,437件
口腔がん検診	358件	361件	371件
前立腺検査(40～49歳)	151件	214件	239件
肺ヘリカルCTがん検診	332件	308件	277件
PET-CTがん検診	81件	92件	79件
合計	24,658件	26,079件	27,501件

※内視鏡による検診は、26年度から実施

みなと赤十字病院 健診センター

受診者の要望に応じ、標準コースの1日ドック、2日ドックに加えて、臓器に特化した脳ドック、大腸ドック、肺ドック、レディースドック、さらに低侵襲で診断効率の高いPET-CT検査を組み込んだPET-CTスーパーがんドックを実施しています。豊富なオプション検査とそれぞれのコースとを組み合わせ、一人ひとりのニーズに合わせた「オーダーメイドヘルスチェック」が可能となっています。

また、横浜市民を中心とする地域住民の皆様の疾病予防・早期発見のために、横浜市がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳・PSA検査(前立腺がん))を実施しました。

がん検診受診と早期発見・早期治療の重要性について、市民に対し啓発活動を行いました。(「肺がん市民セミナー」開催・「健診センターだより」年4回発行)

人間ドック健診の精度管理向上のために、二次受診勧奨と追跡調査を強化しています。受診の結果、二次受診が必要と判断した場合、受診者の皆様に結果表と一緒に「精密検査依頼書」と「診療依頼書」を郵送しています。

検診受診件数

検診種別	受診件数		
	24年度	25年度	26年度
胃がん検診	659件	694件	900件 (内訳) X線 841件 ※ 内視鏡 59件
肺がん検診	—	—	986件
大腸がん検診	1,032件	1,190件	1,271件
子宮がん検診	331件	404件	392件
乳がん検診	305件	390件	510件
PSA検査(前立腺がん)	358件	415件	471件
上部消化管がん検診	1,840件 (内訳) X線 698件 内視鏡 1,142件	1,895件 (内訳) X線 646件 内視鏡 1,249件	1,841件 (内訳) X線 594件 内視鏡 1,247件
大腸内視鏡がん検診	91件	115件	106件
肺CTがん検診	205件	211件	254件
PET-CTがん検診	—	49件	63件
合計	4,821件	5,363件	6,794件

※胃がん検診のうち、内視鏡による検診は、26年度から実施

(3) 各区局での取組

各区では、啓発及び広報活動として、子育て中の親を対象に乳がん触診モデルを用いた自己触診法の紹介や受診啓発、生活習慣改善講座でのがん検診の普及啓発、各種イベントでのがん検診に関する広報活動を行いました。

健康福祉局では、受診率向上に向けた取組として、ピンクリボンキャンペーン2014 in 横浜スタジアムでのPRを行ったほか、水道局では、ピンクリボンデザインの横浜水缶の製造・販売・配布など、がん検診に関する広報活動を行いました。

また、こども青少年局では、妊娠の届出をした妊婦に対し、妊婦健康診査事業の一環として「子宮頸がん検診(細胞診)」の検査項目を設けており、妊婦健康診査費用補助券を交付しています。

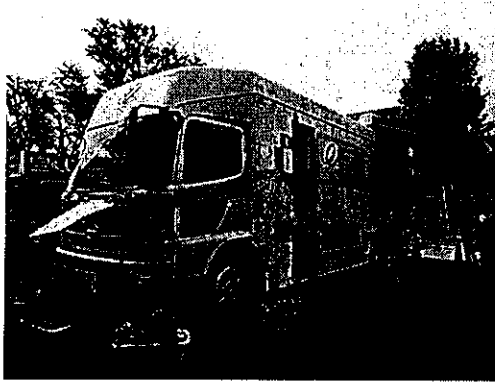
(4) 各区局の主な取組状況

区局名	実施イベント等	実施時期・回数等
鶴見区	パパママの健康チェックでのがん検診啓発 (区内施設、イベント会場等で実施)	3回
	がん検診や乳がん自己触診法の啓発 ・三ツ池公園フェスティバル ・歯と口の健康週間行事 ・つるみ臨海フェスティバル ・健康づくり月間行事(パネル展等) ・食品衛生責任者講習会での啓発 ・自治会婦人部、消費生活推進員、家庭教育学級、 こんにちは赤ちゃん訪問員への啓発	5月17日 6月1日 10月18日 9月29日～10月10日 5月28日～10月30日 4月22日～12月3日
神奈川 区	乳がん検診受診勧奨パンフレットによる啓発 ・区PTA連絡協議会・学校保健委員会 ・三ツ沢上町すみれカフェ・ヘルスマイトセミナー ・子育て世代の骨密度測定 ・子ども会総会	10月 12月 2月 3月
	がん検診の啓発 ・区民まつり ・地域キャンペーン ・区内事業所(6企業) ・健康づくりキャンペーン(横浜ベイクォーター) ・男性向け生活習慣改善講座	10月 5月～3月 6月～9月 5月22日 9月2日、16日
西区	働き世代へのがん検診の啓発 ・講話、健康チェック	6月～3月
中区	がん検診や乳がん自己触診法の啓発 ・生活習慣改善講座 ・野菜摂取増加及び減塩普及に関するイベント ・がん検診会場でのリーフレット配布	5月、10月 6月15日、9月18日 7回
南区	ちらし配布や乳がん自己触診法の体験等による啓発	25回
	がん検診の啓発(リーフレット等の配布) ・いきいきふれあい南なんデー ・ウォーキング講習会基礎編 ・大腸がん検診啓発用トイレットペーパーの配布	10月5日 6回 12地区
港南区	スーパーマーケット等でのがん検診の啓発 ・乳がん自己触診法の体験、マンモグラフィ検診車 の見学、呼気中一酸化炭素濃度測定	9月6日、7日
	3歳児健診時に保護者に向けた乳がん自己触診法の 啓発	36回

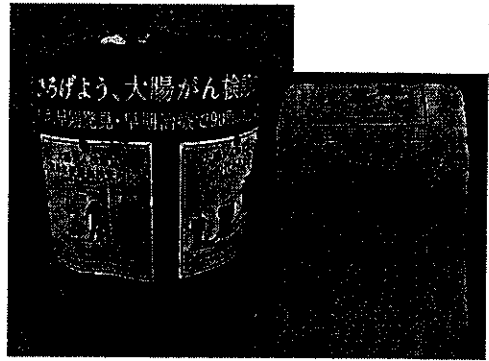
区局名	実施イベント等	実施時期・回数等
港南区	出前講座でのがん検診の啓発 ・赤ちゃん教室での女性のがん検診の啓発 ・区内小学校PTAに向けた女性のがん検診の啓発 ・地区保健活動推進員会でのがん検診の啓発	5月～3月 11月11日 10月15日
	保健活動推進員を対象に「がん予防普及啓発サポーター養成講座」を開催	5月～8月
保土ヶ谷区	赤ちゃん教室、3歳児健診時に保護者に向けた乳がん自己触診法の啓発	通年
	リーフレット配布によるがん検診啓発	通年
旭区	女性の健康づくり（骨密度測定）事業実施時の乳がん自己触診法の啓発	2回
	健康フェアでのがん検診案内ちらしの配布	10月19日
	地域の衛生教育でのがん検診の啓発	10回
磯子区	がん検診の啓発 ・がん検診・特定健診での啓発展示 ・骨コツ健診 ・健康づくりフェスタ	10月14日～17日 10回 9月28日
	子育て中の女性への乳がん、子宮がん検診の啓発 ・乳幼児健診（4か月、3歳時健診）時の保護者向け ・ママ会	通年 12回
金沢区	働き世代、子育て世代に向けたがん検診の啓発 ・生活習慣改善セミナー ・生活習慣改善講座 ・キラキラ金沢っ子ファミリーフェスタ ・いきいきフェスタ（金沢区民まつり）	4回 11月10日、12月9日 11月30日 10月18日
港北区	乳がん検診の啓発 ・地域会場、イベントでの啓発 ・3歳児健診時に保護者に向けた乳がん自己触診法の啓発	12回 36回
	イベントや事業所でのがん検診受診啓発 ・事業所への健康支援事業 ・スーパーマーケットと連携したキャンペーン	5月 6月
緑区	マンモグラフィ検診車の見学、乳がん自己触診法の啓発等、乳がん検診の啓発	10月
青葉区	子宮頸がん無料クーポン対象者（20歳）へのアンケート調査の実施	1月
	若年層への啓発として、区内セブン-イレブン（25店舗）での子宮がん検診啓発物品の配布	11月
	広報よこはま区版にがん征圧月間関連記事を掲載	9月

区局名	実施イベント等	実施時期・回数等
都筑区	乳がん自己触診法の啓発 ・3歳児健診時の保護者向け ・おやこヘルスアップセミナー（生活習慣改善講座） ・表情筋エクササイズ講座 ・こんにちは赤ちゃん訪問員研修会	11月～3月 6月～2月 11月 12月17日
	区役所で実施する胃がん・肺がん検診時に一時保育を実施	3月3日
	つづきヘルスアップフェア（大規模商業施設での出張イベント）で、乳がん自己触診法の啓発、模型による検便採取（大腸がん検診）実演によるがん検診啓発	9月27日
	区役所廊下にごがん啓発コーナーを設置 （がん検診啓発パネル掲示、リーフレット配架）	通年
戸塚区	生活習慣改善事業や特定健診啓発事業でのリーフレット配布やパネル展示によるがん検診の啓発	5月14日、15日 6月18日
栄区	3歳児健診時に保護者に向けたがん検診の啓発	24回
	20～40歳代を対象とした講座でのがん検診の啓発	7回
	健康づくり出張隊による乳がん自己触診モデル等のがん検診の啓発	5回
	食品衛生責任者指定講習会でがん検診受診勧奨	2月19日、3月19日
泉区	3歳児健診時に保護者に向けた乳がん自己触診法等の啓発	24回
	大腸がんをテーマとした区民向け講演会の開催	7月1日
	健康づくり活動フェアでの乳がん自己触診法の啓発等のがん検診の啓発	9月25日、26日
瀬谷区	乳がん自己触診法の啓発やリーフレットの配布によるがん検診の啓発 ・乳幼児健診 ・理美容クリーニング責任者講習会 ・食品衛生責任者講習会 ・保健活動推進員による地区別研修会	24回 12月 2月 6月、7月、9月
健康福祉局	ピンクリボンキャンペーン 2014in 横浜スタジアム	9月5日
水道局	備蓄飲料水 横浜水缶のピンクリボン缶の製造・販売	9月、10月
	ピンクリボンかながわでの水缶の配布 （ピンクリボンキャンペーン）	9月23日
	乳がん検診啓発チラシの作成・配布 （ピンクリボンキャンペーン、病院等）	9月

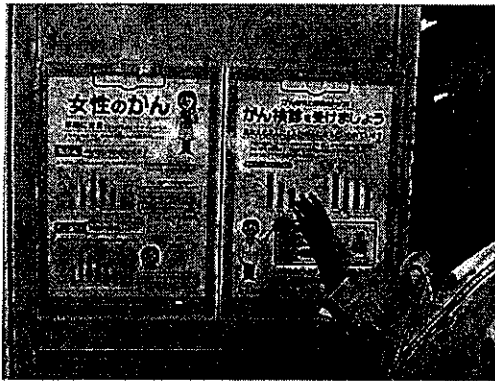
主な取組風景



マンモグラフィ検診車見学



大腸がん検診啓発用トイレトペーパー



がん検診啓発



骨密度・乳がん啓発

(乳がん触診モデルによる触診体験)

3/3 ひなまつり特別企画

都筑区役所会場胃・肺がん検診

一時保育のお知らせ 要予約

3月3日は、ひなまつり。そして、3月11日(土)3月17日(土)の両日開催です。
 さらに、都筑区役所会場で3月7日、7日(土)でしんじゆんが検診も実施いたします。
 3月3日に大発表。都筑区役所会場で「胃がん・肺がん検診」を実施される方向の一歩を
 踏み出します。この機会にぜひ参加してください。

胃がん・肺がん検診

【実施日】平成27年3月3日(土)午前 都筑区役所会場で実施します。

【検診対象者】都筑区に在住の平成27年3月3日現在、50歳以上の者
 以下、対象外の方です。
 ○平成26年4月1日より、がん検診受診歴が1年以上経過している方
 ○がん検診受診歴が1年以上経過している方
 ○がん検診受診歴が1年以上経過している方
 ○がん検診受診歴が1年以上経過している方

【会場】都筑区役所1階市民ホール
 【検診内容・料金・予約方法】要予約となります。

一時保育

【検診対象者】平成27年3月3日現在、1歳以上の子ども
 検診当日の朝8時30分～10時30分まで実施いたします。
 【検診内容】検診の申し込みを、お電話にてご連絡ください。
 TEL:045-648-2350 FAX:045-648-2354

【問合せ先】都筑区役所健康づくり係
 TEL:045-648-2350 FAX:045-648-2354

がん検診時に一時保育を実施



ピンクリボンをデザインした
横浜水缶

3 がんに係る医療の充実・緩和ケアの充実（第8及び10条関係）

がん患者がそのがんの状態に応じた適切ながんに係る医療を受けることができるようにするため、県、医療機関と連携し、必要な施策を実施しました。

(1) がん診療連携拠点病院等

がん診療連携拠点病院は、専門的ながん医療の提供を行うと共に、がん診療の連携体制の整備、がん患者に対する相談支援、情報提供等を行う病院で、地域のがん診療の質の向上を図ることを目的に国が指定します。（がん診療連携拠点病院には、都道府県に1か所指定される「都道府県がん診療連携拠点病院」と二次医療圏ごとに指定される「地域がん診療連携拠点病院」があります。）

26年度には、「恩賜財団済生会横浜市東部病院」及び「横浜市立大学附属市民総合医療センター」の2病院が地域がん診療連携拠点病院に指定され、県指定を含め市内で12病院となりました。

市内のがん診療連携拠点病院等

病 院 名	二次保健医療圏名	所在区	区分※
独立行政法人労働者健康福祉機構 横浜労災病院	横浜北部	港北区	2
昭和大学横浜市北部病院		都筑区	2
恩賜財団済生会横浜市東部病院		鶴見区	2
神奈川県立がんセンター	横浜西部	旭区	1
横浜市立市民病院		保土ケ谷区	2
一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院		西区	3
独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター		戸塚区	3
公立大学法人横浜市立大学附属病院	横浜南部	金沢区	2
横浜市立みなと赤十字病院		中区	2
公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター		南区	2
国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院		金沢区	3
恩賜財団済生会横浜市南部病院		港南区	3

※区分 1は都道府県がん診療連携拠点病院、2は地域がん診療連携拠点病院、

3は神奈川県がん診療連携指定病院（国が指定する地域がん診療連携拠点病院と同等の機能を有する病院で県知事が独自に指定する病院）

また、12病院を対象とした意見交換会を開催し、各医療機関の診療内容に関する情報交換を行いました。がん診療に関する病院間の連携をさらに強化するため、今後も会議を開催していきます。

(2) 高度で先進的な医療技術

みなと赤十字病院では“手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」”による前立腺がんに対する手術を行っています。

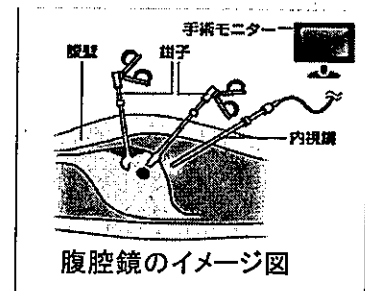
手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の特色として、「患者さんへの身体的負担を軽減できる」、「より安全で確実な手術が可能となる」、「医師の肉体的負担を軽減できる」ことがあげられます。

なお、平成24年4月に前立腺がんに対して全摘出術を行う場合に、保険適用となりました。



手術支援ロボット
「ダ・ヴィンチ」

市民病院では、婦人科がんの診療・治療の強化、充実を図ることを目的として、26年度に「婦人科内視鏡手術センター」を設置しました。内視鏡技術認定医の資格を有する常勤医師の配置などにより「腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術」を積極的に実施しています。



腹腔鏡のイメージ図

横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、手術療法、放射線療法、化学療法など、高度ながん医療を実施していくために必要な医療機器について、計画的な更新や新規導入を行い、医療水準の維持及び向上を図っています。横浜市立大学附属病院では、カプセル内視鏡を用いた検査により、これまで診断に苦慮していた小腸疾患の診断に実績を上げているほか、26年5月には“手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」”を導入、また27年1月に外来化学療法室を移転・拡充（13床から23床に増床）し、待ち期間の短縮とともに、より安全かつ質の高い化学療法の提供体制を整えました。横浜市立大学附属市民総合医療センターは三次救急医療機関であることから、緊急時の検査・診療体制も充実しており、また「生殖医療センター」において、がん患者が治療前に卵子・精子を保存するための医療を実施していることも特色です。

(3) 緩和ケアの状況

がん診療連携拠点病院等では、「がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得する」ことを目的に、医療従事者向けの研修会を実施しました。また、担当医師が他の科の医師や、専門看護師、薬剤師、管理栄養士からなる緩和ケアチームを作り、院内横断的に診療を実施しています。

市民病院では、緩和ケア病棟を運営するほか、26年12月から苦痛緩和に関する相談を目的とした外来を設置し、患者の様々な苦痛に対する早期スクリーニングに努めています。

みなと赤十字病院では、緩和ケア病棟を運営し、その人らしさ、自己決定権を尊重した医療・看護を提供しています。

(4) 地域連携クリティカルパス

がん診療連携拠点病院等では、手術や放射線治療等の専門的ながん治療を終えたがん患者を、地域医療機関と共同して診察するために、地域連携クリティカルパスを整備しています。市民病院では、病院と地域医療機関が診療計画や治療経過などを共有する「がん地域連携クリティカルパス」を、みなと赤十字病院では「緩和ケア病棟地域連携パス」を作成し、運用しています。

§コラム§ 【がん診療連携拠点病院等の先進医療】

病院名	先進医療技術名	適応症	承認年月日	適応となる病名・病状	件数
神奈川県立がんセンター	パクリタキセル腹腔内反復投与療法	胃切除後の進行性胃がん(腹腔に転移しているもの、腹腔洗浄細胞診が陽性であるもの又はステージⅡ若しくはⅢであって肉眼型分類が3型(長径が八センチメートル以上のものに限る)若しくは4型であるものに限る)	平成23年 2月1日	胃切除後の進行性胃がん	0
	術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る)	平成25年 8月1日	乳がん	3
	ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る)	平成24年 3月1日	肺がん	2
市民病院	パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法	上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	平成23年 7月1日	上皮性卵巣がん 卵管がん 原発性腹膜がん	0
	術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る)	平成24年 11月1日	乳がん	4

病院名	先進医療技術名	適応症	承認年月日	適応となる病名・病状	件数
市民病院	ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る)	平成 24 年 6 月 1 日	肺がん	0
けいゆう病院	術後のホルモン療法及び S-1 内服投与の併用療法	原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2 が陰性のものに限る)	平成 24 年 6 月 1 日	乳がん	1
横浜市立大学 附属病院	急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的 PCR 法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	血液腫瘍(急性リンパ性白血病、リンパ芽球性リンパ腫(NHL かつ初発時に骨髄浸潤を認めるもの)、パーキットリンパ腫)	平成 25 年 1 月 1 日	血液腫瘍	0
横浜市立大学 附属市民総合 医療センター	術後のホルモン療法及び S-1 内服投与の併用療法	原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2 が陰性のものに限る)	平成 25 年 7 月 1 日	乳がん	3
	腹腔鏡下広汎子宮全摘術	子宮頸がん(ステージが I A2 期、I B1 期または II A1 期の患者に係るものに限る)	平成 27 年 2 月 1 日	子宮頸がん	1

§コラム§ 【手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」】

「ダ・ヴィンチ」とは、1990 年代にアメリカで開発された手術支援ロボットで、世界では 3,174 台、日本では 188 台が導入(2014 年 9 月末現在※日本ロボット外科学会 HP より)されています。また、日本国内では 2009 年に医療機器としての認可を受け、2012 年 4 月から前立腺がんの全摘術が保険適用となりました。

特色としては、「患者さんへの身体的負担を軽減」が第一に挙げられます。「ダ・ヴィンチ」を使用する手術では腹部に鉗子を挿入する小さな穴を 4～5 か所開けるだけで、手術痕はほとんど目立ちません。

また、腹部を大きく開かないため、手術による出血が少なく、術後に感染症を引き起こすリスクを減らすことができます。創口が小さい上に痛みが少なく、回復も早いため、入院期間を短縮し元の生活への早い復帰を可能とします。



§ コラム § 【がん診療連携拠点病院等の高度医療機器保有状況】

機器	主な医療機関	説明
ガンマナイフ	横浜労災病院	高線量の放射線をピンポイントで照射する。(頭蓋内)
サイバーナイフ	済生会横浜市東部病院	高線量の放射線をピンポイントで照射する。(頭蓋内、肺、肝臓、脊椎動静脈など)
強度変調放射線治療 (IMRT)	神奈川県立がんセンター 横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター、 横浜労災病院	腫瘍の形に合わせ、多方向から強さを変えて病巣に放射線を照射する。
手術支援ロボット ダ・ヴィンチ (da Vinci)	横浜労災病院 済生会横浜市東部病院 横浜市立大学附属病院 みなと赤十字病院	内視鏡手術支援ロボット。内視鏡で映し出された3次元画像を見ながら、遠隔操作で人間の手と同等以上の可動域を持ったロボットアームにより手術を行う。
PET-CT	横浜市立大学附属病院 神奈川県立がんセンター 昭和大学横浜市北部病院 市民病院 みなと赤十字病院	陽電子断層撮影法 (PET装置) とコンピュータ断層撮影 (CT装置) により、2つの画像を同時に撮影できる検査装置。全身を一度で検査でき、腫瘍の大きさや場所の特定、良性・悪性の区別、転移状況や治療効果の判定、再発の診断などに利用されている。

§ コラム § 【重粒子線治療とは】

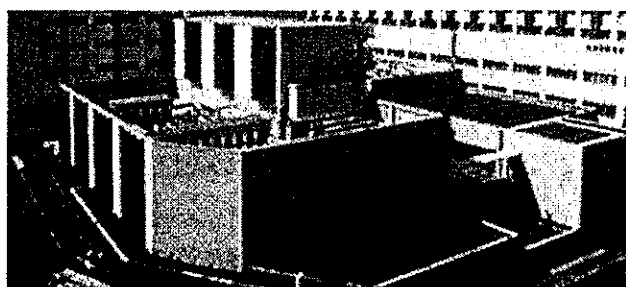
現在、がんの治療法は外科手術、放射線治療、化学療法が3本柱となっていますが、重粒子線治療は放射線治療の1つです。

通常の放射線治療は、光子線であるX線などが使われていますが、陽子線や重粒子線などの粒子線による治療も行われています。

重粒子線治療は、

- からだの深いところにある“がん”のみを集中的に照射
- 今までの放射線治療では治りにくい“がん”にも効くという特徴があげられます。

横浜市内では、全国で5か所目の施設となる神奈川県立がんセンター(旭区)で平成 27 年 12 月からの治療開始が予定されています。(神奈川県立がんセンターHP より抜粋)



神奈川県立がんセンター 重粒子線治療施設 i-ROCK

4 がん患者及びその家族等への支援（第9条関係）

がん患者の療養生活の質の向上並びにがん患者及びその家族等の精神的な苦痛、生活上の不安等を軽減するため、医療機関等と連携し必要な施策を実施しました。

(1) がんの相談

市民病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、がん相談支援センター等の活動を通してがん患者及びその家族に対する支援を行いました。

がん相談支援センター

がん診療連携拠点病院等に設置されている、がんに関する相談窓口です。患者さんやご家族のほか、どなたでも無料をご利用いただけます。「がん相談支援センター」では、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて相談することができます。また、セカンドオピニオン外来を設置し、専門医師が症状に関して参考となる意見や判断を提供し、患者さんご自身が診断や治療について納得して判断するための支援を行っています。

がんについて詳しい看護師や生活全般について相談できるソーシャルワーカーなどのスタッフが、国が指定する「がん相談員」の研修を受け、相談員として対応しています。

相談は、面談のほか電話でも対応しています。

各病院独自の取組

市民病院

〈ハローワーク横浜による出張相談〉

ハローワーク横浜から派遣された「就職支援ナビゲーター」による出張相談を月1回実施し、がん相談員と一緒に、就労を希望する患者の新たな就職に向けた支援を行いました。

がん相談員は、就職を希望する患者の医療面・療養面をサポートしながら、出張相談やハローワーク横浜内の長期療養者職業相談窓口を案内しています。

〈就職相談実績 平成26年4月～平成27年3月〉

	実績
就労支援ナビゲーター出張相談での相談件数	13件
ハローワーク横浜窓口相談件数	31件
就職者数	2人

みなと赤十字病院

〈みなとサロン〉

がん患者やその家族を対象にからだところのバランスを整えること、自分らしさを取り戻すことを目的に、ストレッチや体操、情報提供やミニレクチャー、語り合う場などのプログラムを提供する「みなとサロン」を通してがん患者やその家族の支援に取り組みました。(6月～月1回、10回開催)

円滑なサロン運営のため、医師、看護師、臨床心理士、がん相談員がスタッフとして関わっています。みなと赤十字病院以外のがん患者やご家族もご利用いただけます。

横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センター

〈患者会への支援〉

横浜市立大学附属病院では、「ハートマンマの会(乳がん)」、「わいわいクローバーの会(子宮がん)」、「港笛会(喉頭がん)」、「さんふらわ(小児科親子の会)」、横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、「乳がんおしゃべりの会 マンマサロン(乳がん)」、「乳房再建の会再建サロン(乳房再建)」の患者会の活動を支援しました。

(2) がん患者への支援

健康福祉局では、児童福祉法第21条の5に基づいた小児慢性疾患のうち、小児がんを含む特定の疾患について、治療の確立と普及を図る研究と患者やご家族の負担軽減を目的として医療費の自己負担分の一部補助及び福祉サービスを行いました。平成26年度は、対象となる11疾患群514疾患のうち、小児がん(悪性新生物)は54疾患あり、認定者数は512人でした。(平成27年1月の法改正により、14疾患群704疾患のうち、小児がん(悪性新生物)は91疾患となっています。)

がん征圧・患者支援チャリティ活動として開催される「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2014(主催:公益財団法人日本対がん協会・リレー・フォー・ライフジャパン各実行委員会)」が、センター北駅前広場公園、新横浜日産フィールド小机、みなとみらい臨港パークの3会場で開催され、横浜市は共催として、各会場でのリレーウォークに参加したほか、センター北会場に啓発ブースを出展しました。

また、文化観光局では、「全日本学生音楽コンクール全国大会 in 横浜」の開催に合わせて実施している音楽イベント「クラシック・ヨコハマ」の一環として、小児がん征圧キャンペーン「生きる～2015 New Year 若い命を支えるコンサート」(主催:毎日新聞社)を、横浜みなとみらいホールで実施しました。

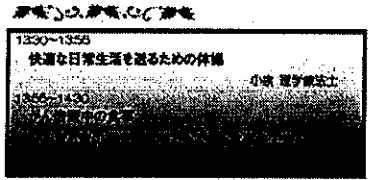


「写真提供:毎日新聞社」

小児がん征圧キャンペーン「生きる」のコンサート

みなとサロン (がんサロン)
サポートプログラムのご案内

がん患者さん・ご家族の生活を支援し、病気の専門家が伝えます「ストレッチャー」「ストレッチ着」を無料貸し出します。ちょっと短時間ですがご家族が楽になることなど、気軽に質問してください。みんなが笑顔になれることを目指してまいります。



日時：平成 26 年 12 月 2 日(火) 13:30~14:30
場所：横浜国立みなと赤十字病院 5階化学療法センター1号
定員：30名(食料予約制です。下記へご連絡ください)

- ※参加費無料です。
- ※途中からの参加・退席は可能です。
- ※先にお申し込み、みなと赤十字病院にご来場していただきます。
- ※行く身体を助けるストレッチャーを貸し出します。会場でお申し込みください。
- ※ストレッチャーがご家族の生活を楽にしてくれます。
- ※参加時に必要な資料が会場にお持ちしております。

＜今後の予定＞
 1月14日(木) がん治療中の生活をめよとした食事
 2月13日(金) がんになつたお金の心配
 3月23日(金) 癌のケアについて ～実際の見方～

＜予約・お問い合わせ＞ 横浜国立みなと赤十字病院 がん相談支援センター
 横浜・電気内科2階 直通電話：045-626-0317

みなと赤十字病院 みなとサロン

がん征圧24時間チャリティーイベント
リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 横浜都筑
 9月20日(土) ~ 9月21日(日)
 受付時間 13:00 12:00 終了時間 13:00
 ウォークスタート 13:40

リレー・フォー・ライフとは？
 がん患者さんやご家族の生活を支援するチャリティーイベントです。リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやご家族の生活を支援するチャリティーイベントです。リレー・フォー・ライフは、がん患者さんやご家族の生活を支援するチャリティーイベントです。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 横浜都筑

がん患者支援チャリティーイベント
リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 新横浜 実施報告書

報告書
 報告書
 報告書
 報告書
 報告書

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 新横浜

がん征圧チャリティーウォークイベント
リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 みなとみらい
 開催会場：臨港パーク(みなとみらい21地区)
11月1日(土) 開会式 12:30 ~ 13:30
2日目 13:30 ~ 12:00
 ウォークスタート

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 みなとみらい

5 在宅医療の充実（第11条関係）

がん患者が、在宅で療養できる体制の整備のため必要な施策を実施しました。

健康福祉局では、身近な生活圏域で安心して暮らしていくため、在宅医療と介護の連携推進に向け、横浜市医師会と協働し、在宅医療連携拠点の設置及び運営を行いました。

（累計11か所）

また、各区では、在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修を開催しました。研修を通して、区内の医療・介護事業者が顔をあわせ、グループワークで意見を交換しあい、顔の見える関係を築く足掛かりとなりました。職種による考え方の違いを理解することや、研修を通じて得た人間関係により、日常業務でのコミュニケーションを円滑にし、医療と介護の連携を進めていきます。（18区で実施）

(1) 横浜市在宅医療連携拠点

在宅医療連携拠点では、介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を有する看護師等が病院や診療所、地域包括支援センター、区役所、介護事業所等と連携をし、在宅療養を行う患者さんを支えています。寄せられている相談の多くは「がん」に関することが多く、事例検討会や緩和ケア研修会の開催等、がん患者の療養生活を支援するための取組を行いました。末期の状態で入院中のがん患者の「最後は自宅に帰りたい」という希望に沿うよう、病院、訪問診療を行う医師、訪問看護師、ケアマネジャー等と連携し、在宅での看取りを支えたほか、病院でのがん治療を終えられた方の退院後の在宅での療養についての支援を行いました。また、外来通院をしていた方の介護度が進み、通院困難となった際、適切に在宅での訪問診療や訪問看護等により、在宅療養ができるよう支援しました。

また、「在宅医療」に関する市民の理解を深めるため、緩和ケアや独居での在宅療養などをテーマとした講演会を開催しました。

(2) 在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修

地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、ケアマネジャー等の医療・介護従事者によるグループワークでは、在宅療養に関する課題として「がん患者の在宅療養」について話し合いがもたれました。



(1) 在宅医療連携拠点



(2) 在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修

6 医療従事者の育成及び確保（第12条関係）

横浜市立大学では、がん診療にすぐれた技術を持った医療人材を養成することを目的として、専門性の高い教育を行いました。

文部科学省のがん専門医療人養成のための拠点を構築する優れたプログラムに対し財政支援を行う「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」では、平成24年度に全国で15件の取組が採択され、東京大学（主幹）・横浜市立大学・東邦大学・自治医科大学が合同で申請した「がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成」プログラムも採択されています。

26年度は、テキサス大学MDアンダーソンがんセンター（アメリカ）やアルバータ大学（カナダ）から講師を迎え、公開セミナーを開催（9月、11月）したほか、合同セミナーを遠隔同時中継で開催しました。また、「がん在宅緩和ケアを考える・より良い“生”の全うのために」をテーマとして市民公開セミナーを開催しました。

博士課程「先端的がん治療専門医療人養成コース」では、がんのプロフェッショナルとして様々な専門分野が一同に集まり、新規薬物治療、先端放射線治療、臨床・基礎研究に精通し、最先端のがん治療技術を提供できるような医療人の養成を行いました。

§コラム§ 【専門看護師・認定看護師】

専門的な知識・技術を習得し、より水準の高い看護を提供する看護師として、専門看護師・認定看護師がいます。医療の高度化、専門化に伴い、活躍の場が広がっています。

専門看護師は、がん看護、精神看護、地域看護、小児看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、家族支援看護、在宅看護等11分野があり、全国で1,466人が認定されています（平成27年1月現在）。認定看護師は、がんに関する分野のほか、救急看護、皮膚・排泄ケア、感染管理、認知症看護等21分野あり、全国で15,935人が認定されています（平成27年7月現在）。

どちらも看護師免許取得後、実務研修が通算5年以上（うち専門・認定分野を3年以上）であることが条件であり、専門看護師は専門分野での看護系大学院修士課程の修了後、認定看護師は認定看護師教育機関での単位取得後、各認定審査に合格する必要があります。

各病院のがんに関連する専門看護師・認定看護師数

H27.3.31 現在

	市民病院	みなと 赤十字病院	横浜市立大学 附属病院	横浜市立大学附属 市民総合医療センター
がん看護専門看護師	1人	1人	2人	-
精神看護専門看護師	1人	1人	1人	1人
がん化学療法看護認定看護師	2人	1人	2人	2人
がん性疼痛看護認定看護師	2人	2人	6人	2人
乳がん看護認定看護師	-	1人	1人	1人
緩和ケア認定看護師	1人	-	-	-
がん放射線療法看護認定看護師	-	-	1人	-

7 情報の収集及び提供等（第13条関係）

市民が、がんに係る医療に関する適切な情報を得られるよう必要な施策を実施しました。

市立図書館では、医療・健康情報コーナーを設けるなど情報の提供に努めました。また、市民病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、がん診療連携拠点病院として、がん相談支援センターで情報提供を行ったほか、国が定めた登録様式・定義に従い、院内がん登録を行いました。

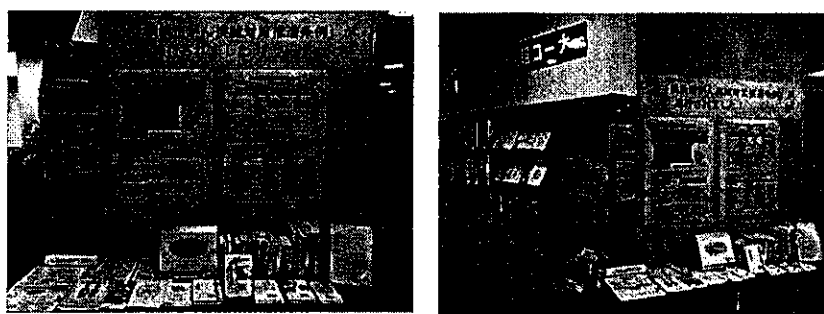
(1) 中央図書館からの情報提供

〈医療・健康情報コーナーでの取組〉

がんをはじめとした病気の治療や予防、病院、薬など、市民が必要とする医療・健康に関する役立つ情報を集めたコーナーを設置しています。医療・健康に関する図書のほか、患者会の資料やパンフレット、関連する図書紹介リスト等を備え、医療・健康関連の催事ちらしを配布するなど、積極的な情報提供に努めました。

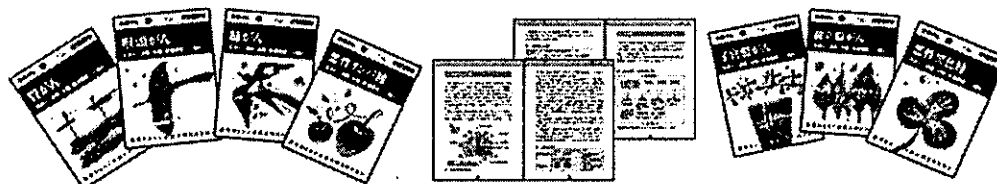
コーナーでの取組内容	実施期間	図書数等
がん関連図書の収集・提供（閲覧・貸出）	通年	約 60 冊
がん関連パンフレット（国立がん研究センター）の収集・提供	12 月	約 30 点
がん検診広報ちらしの配布	10 月から	
がん撲滅対策推進条例施行広報ポスターの掲示	10 月～12 月	
がん撲滅対策推進条例施行広報ちらしの配布	10 月～12 月	

中央図書館での
情報提供の様子



(2) 各病院からの情報提供

市民病院、みなと赤十字病院、横浜市立大学附属病院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、がん相談支援センターや医療情報コーナー等で、がんを含む医療に関する図書を配架し情報発信に努めるとともに、国立がん研究センター発行のがんに関する冊子等による情報提供を行いました。



(3) 各病院からの情報発信

ア 市民病院の取組

- ・市民公開講座：「知っていますか？～前立腺がんのこと～」
- ・がん検診啓発講演会：「知っておきたい肺がんのこと～肺がんの病気・診断・治療・検診について～」 「いのちの落語～生きてるだけで金メダル（落語独演 樋口強さん）」

「いのちの落語、まわりたしい。」
 HAPPY BIRTHDAY BIRTHDAY HAPPY. Blue Clover Campaign 2014

横浜市民病院がん検診センター
 前立腺がん検診専門 市民公開講座

知っていますか？ ～前立腺がんのこと～

当病の泌尿器科医師が、前立腺がんの病気・診断・治療・検診について、
 分かりやすくお話しします。

日時 平成26年9月20日(土)
 午前10時から11時30分

会場 岡内ホール 小ホール

講師 藤山 正徳(泌尿器科医)
 太田 純一 海田 卓人

参加無料

会場案内 岡内ホール
 4F 4111 4112 4113 4114 4115 4116 4117 4118 4119 4120 4121 4122 4123 4124 4125 4126 4127 4128 4129 4130 4131 4132 4133 4134 4135 4136 4137 4138 4139 4140 4141 4142 4143 4144 4145 4146 4147 4148 4149 4150 4151 4152 4153 4154 4155 4156 4157 4158 4159 4160 4161 4162 4163 4164 4165 4166 4167 4168 4169 4170 4171 4172 4173 4174 4175 4176 4177 4178 4179 4180 4181 4182 4183 4184 4185 4186 4187 4188 4189 4190 4191 4192 4193 4194 4195 4196 4197 4198 4199 4200 4201 4202 4203 4204 4205 4206 4207 4208 4209 4210 4211 4212 4213 4214 4215 4216 4217 4218 4219 4220 4221 4222 4223 4224 4225 4226 4227 4228 4229 4230 4231 4232 4233 4234 4235 4236 4237 4238 4239 4240 4241 4242 4243 4244 4245 4246 4247 4248 4249 4250 4251 4252 4253 4254 4255 4256 4257 4258 4259 4260 4261 4262 4263 4264 4265 4266 4267 4268 4269 4270 4271 4272 4273 4274 4275 4276 4277 4278 4279 4280 4281 4282 4283 4284 4285 4286 4287 4288 4289 4290 4291 4292 4293 4294 4295 4296 4297 4298 4299 4300 4301 4302 4303 4304 4305 4306 4307 4308 4309 4310 4311 4312 4313 4314 4315 4316 4317 4318 4319 4320 4321 4322 4323 4324 4325 4326 4327 4328 4329 4330 4331 4332 4333 4334 4335 4336 4337 4338 4339 4340 4341 4342 4343 4344 4345 4346 4347 4348 4349 4350 4351 4352 4353 4354 4355 4356 4357 4358 4359 4360 4361 4362 4363 4364 4365 4366 4367 4368 4369 4370 4371 4372 4373 4374 4375 4376 4377 4378 4379 4380 4381 4382 4383 4384 4385 4386 4387 4388 4389 4390 4391 4392 4393 4394 4395 4396 4397 4398 4399 4400 4401 4402 4403 4404 4405 4406 4407 4408 4409 4410 4411 4412 4413 4414 4415 4416 4417 4418 4419 4420 4421 4422 4423 4424 4425 4426 4427 4428 4429 4430 4431 4432 4433 4434 4435 4436 4437 4438 4439 4440 4441 4442 4443 4444 4445 4446 4447 4448 4449 4450 4451 4452 4453 4454 4455 4456 4457 4458 4459 4460 4461 4462 4463 4464 4465 4466 4467 4468 4469 4470 4471 4472 4473 4474 4475 4476 4477 4478 4479 4480 4481 4482 4483 4484 4485 4486 4487 4488 4489 4490 4491 4492 4493 4494 4495 4496 4497 4498 4499 4500 4501 4502 4503 4504 4505 4506 4507 4508 4509 4510 4511 4512 4513 4514 4515 4516 4517 4518 4519 4520 4521 4522 4523 4524 4525 4526 4527 4528 4529 4530 4531 4532 4533 4534 4535 4536 4537 4538 4539 4540 4541 4542 4543 4544 4545 4546 4547 4548 4549 4550 4551 4552 4553 4554 4555 4556 4557 4558 4559 4560 4561 4562 4563 4564 4565 4566 4567 4568 4569 4570 4571 4572 4573 4574 4575 4576 4577 4578 4579 4580 4581 4582 4583 4584 4585 4586 4587 4588 4589 4590 4591 4592 4593 4594 4595 4596 4597 4598 4599 4600 4601 4602 4603 4604 4605 4606 4607 4608 4609 4610 4611 4612 4613 4614 4615 4616 4617 4618 4619 4620 4621 4622 4623 4624 4625 4626 4627 4628 4629 4630 4631 4632 4633 4634 4635 4636 4637 4638 4639 4640 4641 4642 4643 4644 4645 4646 4647 4648 4649 4650 4651 4652 4653 4654 4655 4656 4657 4658 4659 4660 4661 4662 4663 4664 4665 4666 4667 4668 4669 4670 4671 4672 4673 4674 4675 4676 4677 4678 4679 4680 4681 4682 4683 4684 4685 4686 4687 4688 4689 4690 4691 4692 4693 4694 4695 4696 4697 4698 4699 4700 4701 4702 4703 4704 4705 4706 4707 4708 4709 4710 4711 4712 4713 4714 4715 4716 4717 4718 4719 4720 4721 4722 4723 4724 4725 4726 4727 4728 4729 4730 4731 4732 4733 4734 4735 4736 4737 4738 4739 4740 4741 4742 4743 4744 4745 4746 4747 4748 4749 4750 4751 4752 4753 4754 4755 4756 4757 4758 4759 4760 4761 4762 4763 4764 4765 4766 4767 4768 4769 4770 4771 4772 4773 4774 4775 4776 4777 4778 4779 4780 4781 4782 4783 4784 4785 4786 4787 4788 4789 4790 4791 4792 4793 4794 4795 4796 4797 4798 4799 4800 4801 4802 4803 4804 4805 4806 4807 4808 4809 4810 4811 4812 4813 4814 4815 4816 4817 4818 4819 4820 4821 4822 4823 4824 4825 4826 4827 4828 4829 4830 4831 4832 4833 4834 4835 4836 4837 4838 4839 4840 4841 4842 4843 4844 4845 4846 4847 4848 4849 4850 4851 4852 4853 4854 4855 4856 4857 4858 4859 4860 4861 4862 4863 4864 4865 4866 4867 4868 4869 4870 4871 4872 4873 4874 4875 4876 4877 4878 4879 4880 4881 4882 4883 4884 4885 4886 4887 4888 4889 4890 4891 4892 4893 4894 4895 4896 4897 4898 4899 4900 4901 4902 4903 4904 4905 4906 4907 4908 4909 4910 4911 4912 4913 4914 4915 4916 4917 4918 4919 4920 4921 4922 4923 4924 4925 4926 4927 4928 4929 4930 4931 4932 4933 4934 4935 4936 4937 4938 4939 4940 4941 4942 4943 4944 4945 4946 4947 4948 4949 4950 4951 4952 4953 4954 4955 4956 4957 4958 4959 4960 4961 4962 4963 4964 4965 4966 4967 4968 4969 4970 4971 4972 4973 4974 4975 4976 4977 4978 4979 4980 4981 4982 4983 4984 4985 4986 4987 4988 4989 4990 4991 4992 4993 4994 4995 4996 4997 4998 4999 5000

市民公開講座 (9月)

横浜市民病院がん検診センター
 がん検診啓発講演会

いのちの落語 樋口強さん

「生きてるだけで金メダル」
 特別講演

プロフィール
 1950年、43歳のとき、前立腺がんを発見。2001年、
 45歳で日本がん検診センターの理事長に就任。2007年、
 57歳でがん検診センターの理事長に就任。2010年、
 60歳でがん検診センターの理事長に就任。2013年、
 63歳でがん検診センターの理事長に就任。2016年、
 66歳でがん検診センターの理事長に就任。

同時講演
知っておきたい肺がんのこと
 岡本 浩明 呼吸器内科 吉澤 晃 呼吸器外科
 下川 恒生 呼吸器内科 中村 有希子 呼吸器内科

日時 平成26年11月29日(土)
 14:00～18:30(開演15:00)

会場 神奈川県文化センター かなつくホール
 横浜市民病院・東区本町2丁目 加齢健診室1F
 横浜市民病院 徒歩10分

参加無料
 (事前申し込み)

主催 横浜市民病院
 後援 横浜市民病院がん検診センター、各医療機関

がん検診啓発講演会 (11月)

イ みなと赤十字病院の取組

〈みなと市民セミナーの開催〉

広く市民に向けたセミナーに
 おいて、がんに関する講演を実施しました。

第7回がん市民セミナー
もっと知ろう! 肺がんのこと
 ～その予防から治療まで～

日時: 2014年11月24日(月・祝) 13:00～15:00(12:30開場)
 場所: はまさんホールヴィアマーレ(みなとみらい) 山手区磯子2-1-1

13:00～13:05 開会にあたり 横浜市民みなと赤十字病院 院長 柳井 真一

13:05～13:25 「明日から使える予防の話」 横浜市民みなと赤十字病院 がん検診センター長 伊藤 純子

13:25～13:45 「呼吸器内科でできること」 横浜市民みなと赤十字病院 呼吸器内科 院長 河野 隆

＜休＞

14:00～14:20 「手術の様子をみてみよう」 横浜市民みなと赤十字病院 呼吸器外科 部長 下山 真樹

14:20～14:40 「切らずに治す放射線治療」 横浜市民みなと赤十字病院 放射線治療部 部長 渡辺 成行

14:40～15:00 ～ご質問への回答など～

主催: 横浜市民みなと赤十字病院
 後援: 横浜市民病院、神奈川新聞社、中区商工会、電子区商工会、南区商工会、西区商工会

案内図
 ～アクセス～
 本町駅(JR)から徒歩2分、みなとみらい(みなとみらい線)から「クイーンズ」駅まで徒歩7分、みなとみらい線「みなとみらい」駅より徒歩7分。
 ※本町駅はみなとみらい線が通らないため、みなとみらい線は、本町駅から徒歩7分、みなとみらい線は、本町駅から徒歩7分。

～お問い合わせ～
 横浜市民みなと赤十字病院 みなと市民セミナー係
 ☎ 045-628-6816(直通)

第7回：もっと知ろう！
 肺がんのこと (11月)

ウ 横浜市立大学の取組

エクステンション講座として、がんに関する市民向けの講座を開催しました。

- ・最新の白血病治療について（4月）
- ・からだにやさしい胃がん治療とは（5月）
- ・抗がん剤について理解を深めよう（7月）
- ・漢方と疾患シリーズ「消化器がん治療と漢方」（8月）
- ・切らずに治す進行口腔がんの治療（9月）
- ・前立腺がん治療の現状（10月）
- ・がん治療と口腔ケア（12月）
- ・食道がん～発生の危険性、治療法～（2月）

エ その他

健康福祉局では、市内地域中核病院で開催される市民公開講座について、広報よこはまや横浜市ホームページでの広報を行いました。

(4) 骨髄移植普及啓発事業等

健康福祉局では、骨髄移植普及啓発事業として神奈川県骨髄移植を考える会及び神奈川県血液センターの協力の下、骨髄ドナー登録会を開催しました。

また、横浜市立大学附属市民総合医療センターは、日本赤十字社関東甲信越臍帯血バンク事業に臍帯血採取施設として参加しています。

骨髄ドナー登録会の実施（4回）

登録会開催場所	開催月
横浜市庁舎	4月
立場駅前	6月
ボラフェスタ 2014in kanagawa（日本丸メモリアルパーク）	10月
北綱島小学校	11月

※献血については7回開催

神奈川県骨髄移植を考える会が開催した市民公開講座の後援を行いました。

- ・公開講座「白血病は治ったけれど…」（6月）
- ・「糖尿病と腎臓病」（10月）

8 がん研究の推進（第14条関係）

(1) 横浜市立大学の取組

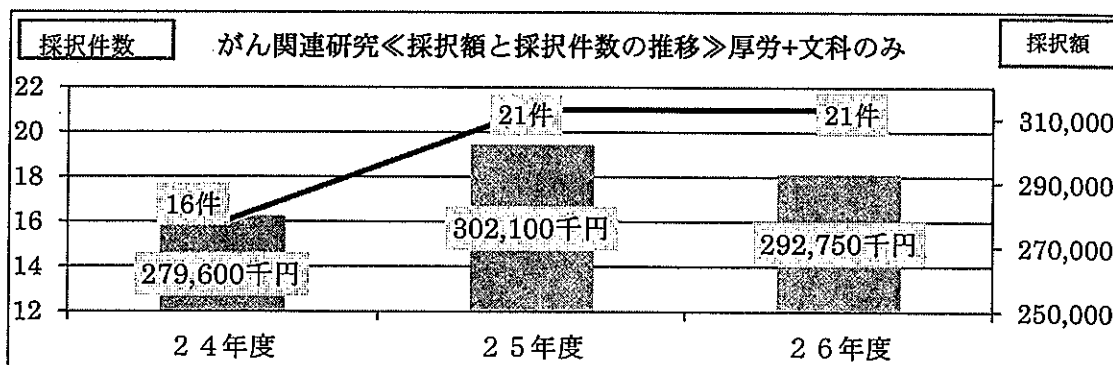
がん研究においては、横浜市立大学先端医科学研究センターの取組みやテキサス大学MDアンダーソンがんセンターとMOUを締結するなど大学としての取組も進んでいます。

最近の研究成果では、泌尿器科 泉浩司医師、上村博司准教授らの研究グループが、世界で初めてホルモン療法が膀胱がんの再発を抑制することを発見しました（平成27年1月6日記者発表）。

また、生命医科学研究科 奥田昌彦特任助教らが、世界初のがん抑制タンパク質 p53 のリン酸化複合体の立体構造解明に成功し、新たな抗がん剤の開発の促進に期待されています（平成26年10月6日記者発表）。

さらに、大学院医学研究科 免疫学 田村智彦教授らの研究グループが、白血球の分化において貪食細胞への運命を決定するタンパク質の働きを解明し、免疫不全症や慢性骨髄性白血病の病態理解につながる成果がでています（平成26年9月17日記者発表）。

このような研究成果をもとに、積極的に外部資金の獲得を推進することにより、研究費は年間で31億円程度（奨学寄付金を除く。）の獲得収入があり、そのうち「がん研究」に係るもの（研究課題に「がん」又は「腫瘍」とあるもの）については、26年度の実績で約3億円の実績となっています。



(2) 横浜市立大学の今後の取組

ア 先進的医療研究（附属病院先進医療推進事業）

新たな治療法を早期に保険診療として実施できるようにすることで、市民のがん治療の選択肢を広げます。治療に係る医療材料費等を市立大学が負担することで、研究を推進し、保険診療の適用に向けた流れを促進します。

イ 研究支援人材

専門的知識・経験を持つリサーチアドミニストレータ（URA：大学における研究マネジメント人材）を配置し、がん研究を中心に研究者の支援を行うことで、外部研究費の採択率を上げ、効率的に研究が進むようにします。

§コラム§ 【国際戦略総合特区推進事業(うち、がん関連の取組)】

「総合特区制度」は、日本の産業競争力の強化・経済の活性化につながるような取組を行う地域を、国が「総合特別区域」として指定するもので、指定区域では、企業や研究機関などが取り組む事業に対し、国から規制緩和や財政・税制・金融上の特別措置を受けることができます。

横浜市は、平成 23 年 12 月に、神奈川県・川崎市と共に「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」の指定を受けました。この特区では、京浜臨海部に集積する産業基盤等の地域資源を活用し、革新的な医薬品・医療機器の開発促進や健康関連産業の創出を図ることにより、経済成長とライフイノベーションの実現を目指しています。

経済局では、企業や研究機関による先端的な研究開発プロジェクトを「横浜プロジェクト」と位置づけ、総合特区の支援措置獲得に向けた国との協議や、本市独自の助成などによる支援を行っています。このうち、26 年度のがん対策関係の取組としては、トリプルネガティブ乳がんの体外診断薬試作キットの開発など、本市のバイオベンチャー企業等による研究開発プロジェクトなどを支援しました。

また、市民向けに総合特区の取組をPRするセミナーとして、子宮がんの闘病体験をお持ちである、女優・タレントの原千晶さん他をお招きし、がん予防と早期診断の重要性をテーマとした講演会を開催しました。

横浜ライフイノベーション特区セミナー 「がん予防の最前線!!～がん早期発見のために」

(平成 26 年 7 月 5 日 アートフォーラムあざみ野)

原 千晶 氏 (女優・タレント)

ご自身のがん闘病経験を踏まえ、がん検診の必要性について、ご講演いただきました。



山門 實 氏 (三井記念病院)

血中のアミノ酸濃度でがんのリスクを検査できる「アミノインデックス」の有用性について、ご講演いただきました。



安田 賢二 氏 (神奈川科学技術アカデミー)

血中のがん細胞を短時間で解析する次世代の解析装置のご研究について、ご講演いただきました。



9 平成 27 年度のがん対策関連の主な新規事業

今回の報告対象ではありませんが、平成 27 年度におけるがん対策関連の主な新規事業は次のとおりです。

- 1 市の責務（第 2 条関係）
 - ・がん対策推進計画の策定に向けた検討（654 千円）（医療局）

- 2 がんの早期発見の推進（第 7 条関係）
 - ・精密検査未受診者への受診勧奨（1,579 千円）（健康福祉局）
がん検診で、「精密検査が必要」とされたものの、精密検査の受診が確認できない方に対して、受診勧奨を行います。

- 3 がんに係る医療の充実（第 8 条関係）
 - ・小児がん連携病院の指定、現状把握のための調査（3,000 千円）（医療局）
 - ・市民病院にがんセンターを設置（医療局病院経営本部）

- 4 がん患者及びその家族等への支援（第 9 条関係）
 - ・就労相談の実施（10,361 千円）（経済局・医療局）
がん患者の仕事と治療の両立を支えるため、社会保険労務士による相談を行います。
 - ・患者会・ピアサポート等の活動支援（500 千円）（医療局）

- 5 緩和ケアの充実（第 10 条関係）
 - ・緩和ケア病床整備補助（75,201 千円）（医療局）

- 6 医療従事者の育成及び確保（第 12 条関係）
 - ・がんに関する医療従事者（専門看護師・認定看護師等）の育成支援
（5,100 千円）（医療局）

- 7 がん研究の推進（第 14 条関係）
 - ・横浜市立大学におけるがん研究への支援（50,000 千円）（医療局）

IV 各区局の実施状況

注：報告書中、予算額・決算額が空欄になっているものは、単独事業として実施していないもの、また、金額が入っている場合でも事業費の一部に関連の経費を含む場合もある。

平成26年度がん関連事業実績 一覧

単位：千円

区・局名	整理番号	事業名	H26決算額
鶴見	1	きらり☆元気UP!事業-パパママの健康チェック	698
	2	鶴見区健康づくり推進会議	254
	3	健康横浜21推進事業 (がん検診)	457
	4	健康横浜21推進事業 (喫煙)	49
	5	保健活動推進員事業 ほか	1,519
神奈川	6	かながわヘルスアップ事業	335
	7	健康横浜21推進事業 (がん検診)	232
	8	健康横浜21推進事業 (喫煙)	142
	9	保健活動推進員事業 ほか	1,361
西	10	健康づくり応援事業	213
	11	健康横浜21推進事業 (がん検診)	278
	12	健康横浜21推進事業 (喫煙)	33
中	13	保健活動推進員事業 ほか	722
	14	健康横浜21推進事業 (がん検診)	90
南	15	健康横浜21推進事業 (喫煙)	88
	16	がん啓発事業	95
	17	健康横浜21推進事業 (がん検診)	336
	18	健康横浜21推進事業 (喫煙)	22
港南	19	保健活動推進員事業 ほか	1,313
	20	区内企業との健康づくり啓発事業	
	21	がん対策推進事業 (がん講演会)	189
	22	がん対策推進事業 (出前講座)	189
	23	3歳児健診における骨密度測定	175
	24	健康横浜21推進事業 (がん検診)	42
	25	健康横浜21推進事業 (喫煙)	26
保土ヶ谷	26	保健活動推進員事業 ほか	1,717
	27	健康横浜21推進事業 (がん検診)	483
	28	健康横浜21推進事業 (喫煙)	0
旭	29	保健活動推進員事業 ほか	1,353
	30	がん検診の受診啓発	
	31	健康横浜21推進事業 (がん検診)	118
	32	健康横浜21推進事業 (喫煙)	83
磯子	33	保健活動推進員事業 ほか	1,453
	34	区民の健康づくり応援事業	9
	35	健康横浜21推進事業 (がん検診)	288
金沢	36	健康横浜21推進事業 (喫煙)	93
	37	健康横浜21推進事業 (がん検診)	112
港北	38	健康横浜21推進事業 (喫煙)	222
	39	女性の健康向上計画	1,311
	40	健康横浜21推進事業 (がん検診)	242
	41	健康横浜21推進事業 (喫煙)	173
緑	42	保健活動推進員事業 ほか	1,581
	43	健康横浜21推進事業 (がん検診)	114
	44	健康横浜21推進事業 (喫煙)	95
青葉	45	横浜市健康づくり月間事業	180
	46	がん検診普及啓発事業 (早期発見)	1,289
	47	がん検診普及啓発事業 (予防)	36
	48	健康横浜21推進事業 (がん検診)	155
都筑	49	健康横浜21推進事業 (喫煙)	7
	50	健康横浜21推進事業 (がん検診)	37
	51	健康横浜21推進事業 (喫煙)	35
戸塚	52	保健活動推進員事業 ほか	1,000
	53	健康横浜21推進事業 (がん検診)	118
	54	健康横浜21推進事業 (喫煙)	104

区・局名・	整理番号	事業名	H26決算額
栄	55	がん対策推進事業	127
	56	ここからライフスタイル	378
	57	健康横浜21推進事業 (がん検診)	379
	58	健康横浜21推進事業 (喫煙)	0
	59	保健活動推進員事業 ほか	757
泉	60	がん予防事業	657
	61	健康横浜21推進事業 (がん検診)	71
	62	健康横浜21推進事業 (喫煙)	255
	63	保健活動推進員事業 ほか	982
瀬谷	64	健康せや推進事業	247
	65	健康横浜21推進事業 (がん検診)	0
	66	健康横浜21推進事業 (喫煙)	0
	67	保健活動推進員事業 ほか	935
文化観光局	68	クラシック・ヨコハマ推進事業	
経済局	69	国際戦略総合特区推進事業 (うち、がん関連の取組)	
こども青少年局	70	横浜市妊婦健康診査事業	2,474,082
健康福祉局	71	小児慢性特定疾患医療給付事業	609,049
	72	健康横浜21推進事業 (喫煙)	516
	73	がん検診事業	3,959,072
	74	子宮頸がん予防ワクチン関連事業	
	75	骨髄移植普及啓発事業等	
	76	がん対策推進会議 (庁内連絡会議) の設置	
	77	がん関係団体・医療機関へのヒアリング	
	78	がん診療連携拠点病院等による意見交換会	
	79	がん撲滅対策推進条例の周知	
	80	在宅医療連携推進事業	81,543
	水道局	81	ピンクリボンかながわとのコラボレーション
病院経営局 (市民病院)	82	がん検診	病院事業会計 で実施
	83	集学的治療・高度医療の充実	
	84	がん地域連携クリティカルパスの運用	
	85	がん患者相談支援事業	
	86	緩和ケアの充実	
	87	医療従事者の確保育成	
	88	院内がん登録	
	89	がんに関する治験・研究の推進	
	病院経営局 (みなと赤十字病院)	90	
91		がん集学的医療等の提供	
92		がんの専門的な医療の提供	
93		がん医療の医療連携	
94		がん患者・家族への相談支援事業	
95		がんサポートプログラム事業	
96		緩和医療の提供	
97		がん医療の啓発事業	
98		がん医療の病診・病病連携	
教育委員会 会事務局	99	がん教育	
	100	中央図書館 医療・健康情報コーナーの設置	
	101	中央図書館 ライブラリーカフェの実施	
横浜市立大学	102	中央図書館 医療・健康関連企画展示の実施	
	103	がん医療に関する医療機器の更新・導入	公立大学法人 横浜市立大学 で実施
	104	がん相談支援センターの運営	
	105	患者会への支援	
	106	緩和ケアの充実	
	107	医療従事者の養成	
	108	がん登録の推進	
	109	がんに関する市民向け講座	
	110	市立大学におけるがん研究への支援事業	
	111	がん研究事業	

平成26年度がん関連事業実績報告書(鶴見区)

整理番号	1	事業名	きらり☆元気UP!事業-パパママの健康チェック (ヘルスアッププラン事業の一部)				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度	H20	年度	H26予算額	787	千円	H26決算額	698	千円	担当部署
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進					鶴見区	福祉保健課	
【事業内容】									
・小さい子(乳幼児)を持つ保護者が集まる場所に出張し、生活習慣病予防のための健康チェックを行いました。また、がん予防・早期発見のための啓発、検診受診の勧奨に取り組みました。									
【実績】									
・パパママの健康チェック(区内施設・イベント会場等で実施)						実施日	参加人数等		
						3回(5・8・9月)	延べ90人		
【27年度以降の対応】									
引き続き、保健活動推進員が関わる親子の広場など、乳幼児と保護者が多く集まる場において、受診勧奨、啓発等を行う予定です。									

整理番号	2	事業名	鶴見区健康づくり推進会議 (ヘルスアッププラン事業の一部)				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度	H20	年度	H26予算額	253	千円	H26決算額	254	千円	担当部署
対応条項	第7条	がんの早期発見の推進					鶴見区	福祉保健課	
【事業内容】									
・区民の健康増進を推進するため、民間企業・関係団体等で構成する会議を実施し、区民の健康課題の共有や課題解決に向けた検討、具体的な取り組みを行いました。									
【実績】									
・代表者会議(1月)、実務者会議4部門(5月・12月)、区内連絡会(5月・1月)の開催						実施日	参加人数等		
※構成団体数 代表者会議:13団体 実務者会議:27団体						—	—		
【27年度以降の対応】									
引き続き、健康づくり推進会議を通して民間企業や医療機関等、外部機関との連携を図りながら、受診勧奨等の啓発に効果的に取り組んでいきます。									

平成26年度がん関連事業実績報告書（鶴見区）

整理番号	3	事業名	健康横浜21推進事業（がん検診）		予算区分	区配予算
			H26予算額	429 千円	H26決算額	457 千円
					担当部署	
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進			鶴見区	福祉保健課
【事業内容】						
・各種イベント時に、子宮がん等検診の受診勧奨と乳がんの自己触診法について、リーフレット等を活用して啓発を行いました。						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・三ツ池公園フェスティバル					5月17日	525人
・歯と口の健康週間行事					6月1日	415人
・つるみ臨海フェスティバル					10月18日	795人
・健康づくり月間行事(パネル展等)					9月29日～ 10月10日	1,257人
・食品衛生責任者講習会における啓発					5月28日～ 10月30日	261人
・自治会婦人部総会・消費生活推進員定例会・家庭教育学級・こんにちは赤ちゃん訪問員への啓発					4月22日～ 12月3日	216人

整理番号	4	事業名	健康横浜21推進事業（喫煙）		予算区分	区配予算
			H26予算額	26 千円	H26決算額	49 千円
					担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進			鶴見区	福祉保健課
【事業内容】						
・イベントや禁煙相談時に、禁煙と慢性閉塞性肺疾患(COPD)の早期発見、早期治療について普及啓発を行いました。						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・世界禁煙デーイベント					5月下旬～ 6月初旬	210人
・肺がん検診(区役所会場)での啓発					年6回	244人
・禁煙相談					通年	5人
・母親教室での普及啓発					年12回	617人

整理番号	5	事業名	その他（保健活動推進員事業 ほか）		予算区分	交付金
			H26予算額	1,519 千円	H26決算額	1,519 千円
					担当部署	
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進			鶴見区	福祉保健課
【事業内容】						
・各種イベント時に、リーフレットを活用し、がん検診の啓発をしました。 ※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含まれます。						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・三ツ池公園フェスティバル					5月17日	525人
・歯と口の健康週間行事					6月1日	185人
・つるみ臨海フェスティバル					10月18日	808人
・鶴見あいねっと推進フォーラム					2月28日	83人

平成26年度がん関連事業実績報告書(神奈川区)

整理番号	6	事業名	かながわヘルスアップ事業				予算区分	個性ある区づくり推進費
開始年度	H17	年度	H26予算額	335 千円	H26決算額	335 千円	担当部署	
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				神奈川県	福祉保健課	
【事業内容】								
・PTA学校保健委員会、子ども会総会での啓発活動や、健康キャンペーンでの啓発活動を実施しました。								
【実績】								
						実施日	参加人数等	
・区PTA連絡協議会での啓発活動（「乳がん検診受診勧奨パンフレット」を利用）						10月	43人	
・学校保健委員会での啓発活動（「乳がん検診受診勧奨パンフレット」を利用）						10月	21人	
・三ツ沢上町すみれカフェでの啓発活動（「乳がん検診受診勧奨パンフレット」を利用）						12月	22人	
・ヘルスメイトセミナーでの啓発活動（「乳がん検診受診勧奨パンフレット」を利用）						12月	11人	
・「子育て世代の骨密度測定」時の啓発活動（「乳がん検診受診勧奨パンフレット」を利用）						2月	7人	
・子ども会総会での啓発活動（「乳がん検診受診勧奨パンフレット」を利用）						3月	110人	
【27年度以降の対応】								
区配予算の中で事業実施します。								

整理番号	7	事業名	健康横浜21推進事業（がん検診）				予算区分	区配予算
			H26予算額	232 千円	H26決算額	232 千円	担当部署	
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				神奈川県	福祉保健課	
【事業内容】								
・区民まつりなど各種イベントや区内事業所での生活習慣改善講座でがん検診の普及啓発をしました。								
【実績】								
						実施日	参加人数等	
・がん検診・特定健診受診率向上に向けた取組								
区民まつり						10月	230人	
地域キャンペーン						5月～3月	765人	
区内事業所(6企業)						6月～9月	175人	
・健康づくりキャンペーン(横浜バイクオーター)						5月22日	202人	
・男性向け生活習慣改善講座						9月2日、16日	38人	

平成26年度がん関連事業実績報告書(神奈川区)

整理番号	8	事業名	健康横浜21推進事業 (喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	143 千円	H26決算額	142 千円
					担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			神奈川区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病改善講座で、タバコの害について啓発を行いました。 世界禁煙デー等のイベントで、リーフレットの配布や、肺年齢測定、禁煙相談を行いました。 禁煙相談を毎月行いました。 イベントの機会を通じて、禁煙支援を行いました。 両親教室を通じて禁煙支援を行いました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・子育て世代向け生活習慣改善講座					6月27日、 7月4日	61人
・世界禁煙デーイベント					5月30日～ 6月6日	100人
・禁煙相談					通年	17人
・地域の禁煙支援の環境づくり(小中高大学での防煙教室など)					6月～2月	1,966人
・両親教室での禁煙、適正飲酒講座					4月～3月	231人

整理番号	9	事業名	その他 (保健活動推進員事業 ほか)		予算区分	交付金
			H26予算額	1,361 千円	H26決算額	1,361 千円
					担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			神奈川区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> イベント時に、自己触診の体験を通じ乳がん検診の啓発を実施しました。 大学での健康チェックやパネル展示により、受動喫煙防止を啓発しました。 <p>※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含まれます。</p>						
【実績】						
・健康づくりキャンペーン(横浜バイクオーター)					年1回	230人
・神奈川大学との共催事業					10月1日、 11月1日	

平成26年度がん関連事業実績報告書(西区)

整理番号	10	事業名	健康づくり応援事業				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度	H22	年度	H26予算額	330	千円	H26決算額	213	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進				西区	福祉保健課		
【事業内容】									
・30代～50代の働き・子育て世代を対象に、区民まつり・ハマのウォーキングフェスティバルや横浜駅周辺街頭にてがん検診関連チラシ・ポケットティッシュを配布し、区内子育て支援拠点をはじめ、保健師が地元に向いて出張講話を行いました。また、図書館や地域ケアプラザにて、がん検診の受診につながるよう、施設利用者向けにがん関連のパネル展示を行いました。									
【実績】									
						実施日	参加人数等		
・ノースモーキングノーパーキングでの喫煙防止啓発						5月24日	2,012人		
・区民まつりでの喫煙防止啓発						11月2日	500人		
・ハマのウォーキングフェスティバルでの喫煙防止啓発、COモニター測定						12月7日	800人		
・健康づくり応援イベント						6月19日	136人		
・図書館パネル展示・関連書籍紹介						8月19日～ 9月15日	-		
・ケアプラザ巡回パネル展 (藤棚5/16～、戸部本町5/30～、浅間台6/27～、宮崎ケアプラザ7/11～)							-		
【27年度以降の対応】 継続して実施します。									

整理番号	11	事業名	健康横浜21推進事業(がん検診)				予算区分	区配予算	
			H26予算額	205	千円	H26決算額	278	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進				西区	福祉保健課		
【事業内容】									
・働き世代の参加する研修や健康フェア等のイベントでがん検診の普及啓発を行いました。 生活習慣改善講座でがんを含む生活習慣の改善について講話を行いました。									
【実績】									
						実施日	参加人数等		
・働きざかり世代への健康づくりアプローチ 講話 健康チェック						6月～3月 6月～3月	1,197人 1,505人		
・生活習慣病改善講座						5月21日、 10月15日	30人		

平成26年度がん関連事業実績報告書(西区)

整理番号	12	事業名	健康横浜21推進事業(喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	115 千円	H26決算額	33 千円
					担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進			西区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙デー等のイベントにおいて、リーフレットを配布したほか、呼気中一酸化炭素濃度測定の実施や個別相談で禁煙支援を行いました。 ・両親教室を通じて禁煙支援を行いました。 ・小学校において、喫煙防止教室を開催し、タバコの害について啓発を行いました。 ・区民まつりや研修会を通じて、禁煙啓発を行いました。 ・禁煙相談を行いました。 						
【実績】					実施日	参加人数等
・世界禁煙デーイベント					6月19日	136人
・受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発						
プレママプレパパ教室					4月～3月	174人
小学校での喫煙防止教室					7月～12月	178人
区民まつり					11月2日	500人
事業者団体研修会					6月～3月	1,086人
・禁煙相談					通年	7人

整理番号	13	事業名	その他(保健活動推進員事業 ほか)		予算区分	交付金
			H26予算額	722 千円	H26決算額	722 千円
					担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進			西区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントで、健康チェックの実施や喫煙防止啓発物品の配布等により啓発を行いました。 <p>※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含まれます。</p>						
【実績】					実施日	参加人数等
・西区ごみゼロの日・横浜駅をきれいに！キャンペーン					年1回	2,012人
・西区ウォーキングフェスティバル					12月7日	500人

平成26年度がん関連事業実績報告書(中区)

整理番号	14	事業名	健康横浜21推進事業(がん検診)		予算区分	区配予算
			H26予算額	103 千円	H26決算額	90 千円
					担当部署	
対応条文	第6・7条	がんの予防の推進・早期発見の推進			中区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣改善講座で乳がん検診の受診勧奨と自己触診法について啓発を行いました。 スーパー等のイベント会場でがん検診の普及啓発を行いました。 がん検診の会場でリーフレット等を配布し、がんの予防について普及啓発を行いました。 						
【実績】					実施日	参加人数等
生活習慣改善講座					5月、10月	71人
野菜摂取増加及び減塩普及に関するイベントでの普及啓発					6月15日、 9月18日	1,021人
がん検診、がん予防啓発事業					年7回	67人

整理番号	15	事業名	健康横浜21推進事業(喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	70 千円	H26決算額	88 千円
					担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進			中区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 学校保健会で受動喫煙に関する講演会を行いました。 小学生に対し、喫煙防止教育を行いました。 寿町勤労者福祉協会と共催で健康講座を通じて、喫煙防止教育を行いました。 禁煙相談を行いました。 						
【実績】					実施日	参加人数等
喫煙防止教育					6月～10月	223人
禁煙相談					通年	8人

平成26年度がん関連事業実績報告書(南区)

整理番号	16	事業名	がん啓発事業				予算区分	個性ある区づくり推進費
開始年度	H23	年度	H26予算額	95 千円	H26決算額	95 千円	担当部署	
対応条文	第 7 条	がんの早期発見の推進				南区	福祉保健課	
【事業内容】								
・各種事業(ウォーキング講習会、赤ちゃん学級、南なんデー等)でがん啓発を実施しました。								
【実績】								
・がん啓発事業(チラシ配布や乳がん触診体験)						実施日	参加人数等	
						年25回実施	-	
【27年度以降の対応】								
継続して事業を実施します。								

整理番号	17	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)				予算区分	区配予算
			H26予算額	284 千円	H26決算額	336 千円	担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進				南区	福祉保健課	
【事業内容】								
・健康測定会や働く世代向けの講座で、がんの予防や検診受診の普及啓発を行いました。								
【実績】								
・健康測定会						実施日	参加人数等	
						年21回	1,525人	
・働き世代応援事業						5月、6月、7月、3月	400人	

平成26年度がん関連事業実績報告書(南区)

整理番号	18	事業名	健康横浜21推進事業(喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	80 千円	H26決算額	22 千円
			担当部署			
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			南区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での喫煙防止教育を行いました。 ・イベントや禁煙相談時に、禁煙と慢性閉塞性肺疾患(COPD)の早期発見、早期治療について普及啓発を行いました。 						
【実績】					実施日	参加人数等
・喫煙防止教育:小学校2校、中学校1校					12月2日、1月15日、2月5日	326人
・世界禁煙デー禁煙相談と南なんデー会場での検診啓発					6月3日、6月5日、10月5日	311人
・子育て世代への禁煙啓発					通年(10日間)	223人
・結核ハイリスク健診での個別相談					9月3日	17人
・禁煙相談					通年(7日間)	7人

整理番号	19	事業名	その他(保健活動推進員事業 ほか)		予算区分	交付金
			H26予算額	1,314 千円	H26決算額	1,313 千円
			担当部署			
対応条文	第 7 条	がんの早期発見の推進			南区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・保健活動推進員がリーフレットまたは大腸がん啓発用トイレットペーパーを配布し、がん検診の普及啓発を行いました。 ※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含みます。 						
【実績】					実施日	参加人数等
・資料配布(南なんデー)					10月5日	1,062人
・資料配布(ウォーキング講習会基礎編 全6回)					5月23日、6月17日、7月1日、9月18日、10月24日、11月14日	264人
・大腸がん検診啓発トイレットペーパー配布(12地区)					各地区で配布	1,200人

平成26年度がん関連事業実績報告書(港南区)

整理番号	20	事業名	区内企業との健康づくり啓発事業				予算区分	個性ある区づくり推進費
開始年度	H21	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				港南区	福祉保健課	
【事業内容】								
<p>・区民がよく利用する場(スーパーマーケット等)で区内関係団体や地元企業と協働して健康づくりやがん検診の啓発、情報提供を行い、日頃、福祉保健センターと関わりの少ない若い世代を含めた幅広い世代に対して健康づくりの啓発を図りました。</p> <p><がん検診関係>乳がん触診法体験、マンモグラフィ車見学、呼気中一酸化炭素濃度測定</p>								
【実績】								
						実施日	参加人数等	
・乳がん触診法体験						9月6、7日	300人	
・マンモグラフィ検診車見学						9月6、7日	88人	
・呼気中一酸化炭素濃度測定						9月6、7日	206人	
【27年度以降の対応】								
引き続き、区内関係団体、民間企業と連携して、効果的ながん検診啓発を行っていきます。(27年度:9月12日イベント実施予定)								

整理番号	21	事業名	がん対策推進事業(がん講演会)				予算区分	個性ある区づくり推進費
開始年度	H19	年度	H26予算額	295 千円	H26決算額	189 千円	担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進				港南区	福祉保健課	
【事業内容】								
<p>・保健活動推進員と連携しながら、がん検診の受診率向上やがん予防について、講演会を開催しました。また、入口では受動喫煙に関するパネル展示や「港南 禁煙・分煙をすすめる会」「ファイザー株式会社」による情報コーナーを設け、来場者に対して禁煙の重要性を啓発しました。</p>								
【実績】								
						実施日	参加人数等	
・がん講演会 肺がん						11月8日	108人	
【27年度以降の対応】								
引き続き、がん検診受診率の向上を目指して、普及啓発を行っていきます。27年度は胃がんの講演会を開催予定です。								

平成26年度がん関連事業実績報告書(港南区)

整理番号	22	事業名	がん対策推進事業(出前講座)				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度	H19	年度	H26予算額	295	千円	H26決算額	189	千円	担当部署
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				港南区	福祉保健課		
【事業内容】 ・働き・子育て世代に向けたがん検診啓発として、こども家庭支援課と連携し、赤ちゃん教室で子育て中の親を対象にがん検診の普及啓発を行いました。 また、区内の団体から出前講座依頼時に区独自で作成したひまわり健康手帳を使用し、がん検診の紹介や受診啓発を行いました。									
【実績】						実施日	参加人数等		
・赤ちゃん教室7会場で女性のがん検診啓発						5月～3月	261人		
・区内小学校PTAに向けた女性のがん検診啓発						11月11日	25人		
・地区保健活動推進員会						10月15日	25人		
【27年度以降の対応】 引き続き、依頼があった団体向けと、働き・子育て世代を対象にがん検診の普及啓発を図っていきます。27年度は効果的かつ効率的な啓発方法を検討し、地域ケアプラザと連携して啓発を行っていく予定です。									

整理番号	23	事業名	3歳児健診における骨密度測定				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度	H26	年度	H26予算額	180	千円	H26決算額	175	千円	担当部署
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				港南区	福祉保健課		
【事業内容】 ・こども家庭支援課と連携し、3歳児健診に来所した保護者を対象に、乳がん触診モデルを用いて自己触診方法を伝えるとともに、がん検診の啓発を行いました。									
【実績】						実施日	参加人数等		
・3歳児健診におけるがん検診啓発						月3回(計36回)	481人		
【27年度以降の対応】 引き続き、3歳児健診の場を活用しながら働き・子育て世代を対象にがん検診啓発を図っていきます。									

平成26年度がん関連事業実績報告書(港南区)

整理番号	24	事業名	健康横浜21推進事業(がん検診)		予算区分	区配予算
			H26予算額	114 千円	H26決算額	42 千円
			担当部署			
対応条文	第7条	がんの予防の推進・早期発見の推進			港南区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 各種イベントや講座、健診等の会場でがん検診啓発チラシの配布と講話、乳がん触診モデルの触診体験等を行いました。 各地区の保健活動推進員を対象にがんの予防や検診受診啓発を地域で行うための講座を行いました。 						
【実績】					実施日	参加人数等
・港南ヘルスアップ					7月、12月、2月	262人
・からだ元気こう・なん・くう					9月	557人
・肺がん講演会・食生活等改善推進員セミナー・3歳児健診会場での啓発					年44回	763人
・がん予防普及啓発サポーター講座					5月～8月	46人
・ひまわり健康フェア					10月19日	873人

整理番号	25	事業名	健康横浜21推進事業(喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	65 千円	H26決算額	26 千円
			担当部署			
対応条文	第6条	がんの予防の推進			港南区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> イベントや両親教室等での禁煙・受動喫煙防止啓発を行いました イベント会場での禁煙相談を行いました。 小学校での防煙教育を行いました。 個別禁煙相談(予約制)を行いました。 						
【実績】					実施日	参加人数等
・世界禁煙デーパネル展					5月26日～5月30日	200人
・世界禁煙デーイベント					5月30日	94人
・食中毒予防キャンペーンでの啓発、相談					8月1日	53人
・禁煙・分煙をすすめる会講演会					3月7日	198人
・タバコのポイ捨て禁止キャンペーンでの啓発、相談					6月4日、3月19日	450人
・両親教室での禁煙講話					12回	217人
・小学校4校					年4回	332人
・出前講座					年2回	103人
・禁煙相談					通年	1人

平成26年度がん関連事業実績報告書(港南区)

整理番号	26	事業名	その他 (保健活動推進員事業 ほか)		予算区分	交付金
		H26予算額	1,717 千円	H26決算額	1,717 千円	担当部署
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			港南区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり月間や関係団体と協働し、がん関連の講演会を行いました。 ・各種イベントで、健康チェックやパネル展を通じ、たばこの害についての啓発を行いました。 ・小学校における出前喫煙防止講座を行いました。 <p>※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含まれます。</p>						
【実績】					実施日	参加人数等
・健康づくり月間講演会「肺がん 早期発見と最新治療」					11月8日	108人
・港南 禁煙・分煙をすすめる会公開講座					3月7日	198人
・禁煙キャンペーン					8月1日	96人
・からだ元気こう・なん・くう での普及啓発					9月6、7日	1,023人
・ひまわり健康フェア(健康づくり月間)					10月19日	873人
・小学校における出前喫煙防止講座(3校)					年3回	290人

平成26年度がん関連事業実績報告書(保土ヶ谷区)

整理番号	27	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)		予算区分	区配予算
			H26予算額	498 千円	H26決算額	483 千円
					担当部署	
対応条文	第 7 条	がん予防の推進・早期発見の推進			保土ヶ谷区	福祉保健課
【事業内容】						
・赤ちゃん教室や3歳児健診会場で乳がんモデル触診体験やリーフレットの配布等を行い、がんの予防と受診の啓発を行いました。						
【実績】						
・赤ちゃん教室、3歳児健診会場のでがん検診受診啓発					実施日	参加人数等
					通年	

整理番号	28	事業名	健康横浜21推進事業(喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	0 千円	H26決算額	0 千円
					担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			保土ヶ谷区	福祉保健課
【事業内容】						
・各イベント会場での禁煙啓発を行いました。 ※保健師による禁煙相談や他事業と連携して実施し、経費を削減しました。						
【実績】						
・花フェスタ					実施日	参加人数等
・区民まつり					10月18日	179人
・横浜国立大学祭					11月2日	256人

整理番号	29	事業名	その他 (保健活動推進員事業 ほか)		予算区分	交付金
			H26予算額	1,353 千円	H26決算額	1,353 千円
					担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			保土ヶ谷区	福祉保健課
【事業内容】						
・健康チェック・禁煙相談・乳がん触診体験等を通じ、がん検診啓発を行いました。 ※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含まれます。						
【実績】						
・花フェスタ2014にて喫煙防止・受動喫煙防止キャンペーン					実施日	参加人数等
					5月17日	307人
・横浜国立大学清陵祭・常盤祭にて啓発活動					5月24日、 11月2日	1,694人
・区民まつりにてがん検診・特定健診啓発、受動喫煙防止禁煙啓発等					10月18日	826人

平成26年度がん関連事業実績報告書(旭区)

整理番号	30	事業名	がん検診の受診啓発				予算区分	個性ある区づくり推進費
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				旭区	福祉保健課	
【事業内容】								
<ul style="list-style-type: none"> ・女性の健康づくり(骨密度測定)事業実施時に、乳がん触診モデルによる自己触診法の紹介や啓発を実施しました。 ・健康フェアでの受診案内チラシの配布をしました。 ・世界禁煙デーや小学生によるたばこのポスターコンクール作品展示コーナーで肺がんに関する普及啓発をしました。 ・地域での衛生教育実施しました。 								
【実績】								
・女性の健康づくり事業実施時の乳がん触診モデルによる自己触診法の紹介や啓発						実施日	参加人数等	
						7、11月(2回)	161人	
・健康フェアでの受診案内チラシの配布						10月19日	460人	
・がん予防の啓発チラシの配布						5～6月・12月	100人	
・地域での衛生教育でのがん予防の啓発や受診勧奨						4～3月(10回)	173人	
【27年度以降の対応】								
上記事業に加え、区配事業内でもがん予防の啓発や受診勧奨を実施していく予定です。また、広報旭区版7月号にて、たばこが体に与える悪影響について掲載することに伴い、がん検診受診勧奨を掲載予定です。								

整理番号	31	事業名	健康横浜21推進事業(がん検診)				予算区分	区配予算
			H26予算額	133 千円	H26決算額	118 千円	担当部署	
対応条文	第7条	がん予防の推進・早期発見の推進				旭区	福祉保健課	
【事業内容】								
胃がん・肺がん検診、健康講座やイベントの場において、リーフレットを配布し、がんの予防啓発を行いました。								
【実績】								
胃がん・肺がん検診、イベント						実施日	参加人数等	
						5月～3月(8回/年)	439人	
ビューティーヘルスアップ						6月～11月	70人	

平成26年度がん関連事業実績報告書(旭区)

整理番号	32	事業名	健康横浜21推進事業(喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	83 千円	H26決算額	83 千円
					担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			旭区	福祉保健課
【事業内容】						
・小・中学校で防煙教育を行いました。						
【実績】					実施日	参加人数等
・小学校1校、中学校1校					7月、12月	350人

整理番号	33	事業名	その他(保健活動推進員事業 ほか)		予算区分	交付金
			H26予算額	1,453 千円	H26決算額	1,453 千円
					担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			旭区	福祉保健課
【事業内容】						
・啓発物品配付等による受動喫煙防止・禁煙キャンペーンを実施し、啓発物の配布を行いました。 ※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含まれます。						
【実績】					実施日	参加人数等
・受動喫煙防止・禁煙キャンペーン					年2回	3,500人

平成26年度がん関連事業実績報告書(磯子区)

整理番号	34	事業名	区民の健康づくり応援事業				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度	H19	年度	H26予算額	9	千円	H26決算額	9	千円	担当部署
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				磯子	福祉保健課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉と保健のお知らせ」で各種健診制度を周知しました。 ・各種事業、がん撲滅月間等イベント時にパンフレット配布やパネル展示を行い、制度の周知及び受診勧奨をしました。 									
【実績】									
						実施日	参加人数等		
・保健と福祉のお知らせ印刷 7,500部									
・がん検診・特定健診での啓発展示						10月14日～17日	100人		
・骨コツ健診での検診制度の周知、受診啓発(年間10回)							205人		
・各種イベント(健康づくりフェスタ等)での啓発						通年	1,000人		
【27年度以降の対応】									
事業を継続し、広く区民への周知・啓発に取り組んでいきます。									

整理番号	35	事業名	健康横浜21推進事業(がん検診)				予算区分	区配予算	
			H26予算額	219	千円	H26決算額	288	千円	担当部署
対応条文	第6・7条	がんの予防の推進・早期発見の推進				磯子区	福祉保健課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診等で、講話やリーフレットを活用して、乳がん・子宮がん検診の受診勧奨や禁煙及び受動喫煙の害について啓発を行いました。 									
【実績】									
						実施日	参加人数等		
・子育て中の母親への健康づくり啓発						ママ会 4か月/3歳児健診	年12回 通年	233人 1,800人	

整理番号	36	事業名	健康横浜21推進事業(喫煙)				予算区分	区配予算	
			H26予算額	152	千円	H26決算額	93	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進				磯子区	福祉保健課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、喫煙防止教室を開催し、タバコの害について啓発を行いました。 ・世界禁煙デー等のイベントにおいて、リーフレットの配布と、肺年齢測定や個別相談でがんの予防啓発を行いました。 ・禁煙の個別相談を行いました。 									
【実績】									
						実施日	参加人数等		
・喫煙防止教室						12回	898人		
・世界禁煙デー等イベント						6月、9月	542人		
・禁煙相談						通年	139人		

平成26年度がん関連事業実績報告書(金沢区)

整理番号	37	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)		予算区分	区配予算
			H26予算額	177 千円	H26決算額	112 千円
					担当部署	
対応条文	第 7 条	がんの早期発見の推進			金沢区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣改善セミナー等で、働き・子育て世代の母親に対し、リーフレット等で、がんの早期発見について啓発を行いました。 キラキラ金沢っ子ファミリーフェスタ(子育てフェスタ)で、がん検診について啓発を行いました。 いきいきフェスタ(金沢区民まつり)で、がん検診について啓発を行いました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
生活習慣改善セミナー					年4回	38人
生活習慣改善講座					11月10日、 12月9日	21人
キラキラ金沢っ子ファミリーフェスタ					11月30日	50人
いきいきフェスタ					10月18日	500人

整理番号	38	事業名	健康横浜21推進事業 (喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	137 千円	H26決算額	222 千円
					担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			金沢区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 禁煙の個別相談を行いました。 世界禁煙デーの取組として、区内大学で、リーフレットや肺年齢測定等を用いたがん予防の啓発を行いました。 両親教室で、参加者に禁煙・受動喫煙防止について啓発を行いました。 いきいきフェスタで健康横浜21について啓発を行いました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
禁煙相談					通年	17人
世界禁煙デーイベント					5月	56人
両親教室					通年	78人
いきいきフェスタ					10月18日	500人

平成26年度がん関連事業実績報告書(港北区)

整理番号	39	事業名	女性の健康向上計画				予算区分	個性ある区づくり推進費
開始年度	H24	年度	H26予算額	1,470 千円	H26決算額	1,311 千円	担当部署	
対応条文	第 7 条	がんの早期発見の推進				港北区	福祉保健課	
【事業内容】 ・乳がんの早期発見・治療のための啓発、乳がん検診受診勧奨を行いました。また、同時にその他のがんについても合わせて受診勧奨を行いました。								
【実績】						実施日	参加人数等	
・地域会場・イベントにおけるがん検診受診啓発(12回)						6月~2月	1,032人	
・3歳児健診会場における乳がん検診自己触診の啓発とがん検診の受診啓発(36回)						4月~3月	2,509人	
【27年度以降の対応】 27年度も同様に継続予定です。								

整理番号	40	事業名	健康横浜21推進事業(がん検診)				予算区分	区配予算
			H26予算額	342 千円	H26決算額	242 千円	担当部署	
対応条文	第 6・7 条	がん予防の推進・早期発見の推進				港北区	福祉保健課	
【事業内容】 ・各種イベントや事業所で、リーフレットの配布や、肺年齢等の測定、禁煙相談、乳がん自己触診体験等を行い、がん予防と受診の啓発を行いました。								
【実績】						実施日	参加人数等	
・事業所への健康支援事業						5月	57人	
・スーパーマーケットと連携したヘルシーキャンペーン						6月	367人	
・イベントでのがん検診・特定健診啓発						地域:11回 10月、3月	763人 349人	

平成26年度がん関連事業実績報告書(港北区)

整理番号	41	事業名	健康横浜21推進事業（喫煙）		予算区分	区配予算
			H26予算額	172 千円	H26決算額	173 千円
					担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進			港北区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙の個別相談を実施しました。 ・世界禁煙デーなどのイベントにおいて、リーフレットの配布や肺年齢等の測定を実施し、がん予防の推進について啓発しました。 ・両親教室では講話、リーフレットの配布や肺年齢等の測定を実施し、がん予防の推進について啓発しました。 ・母子手帳の交付時にリーフレットを配布し、がん予防の推進について啓発しました。喫煙妊婦への禁煙指導を行いました。 ・小学校での講座及び子ども向けイベントや学園祭でのリーフレット配布により、がん予防の推進について啓発しました。 ・食品衛生責任者講習会・生活衛生協議会の場で、講話やリーフレットを配布し、がん予防の推進について啓発しました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・禁煙相談					通年	5人
・世界禁煙デー(リーフレット配布及び肺年齢等の測定)					5月～6月	リーフレット配布 :1250人 測定:14人
・区民まつり、駅街頭啓発					10月～11月	1,552人
・両親教室					月1回	1,336人
・母子手帳交付時リーフレット配布(喫煙妊婦には禁煙指導を実施)					随時	4,294人 (指導:1人)
・未成年者への喫煙防止教育講座					1月、8月、11月	87人
・未成年者への喫煙防止啓発					月	426人
・食品衛生責任者講習会・生活衛生協議会への禁煙、受動喫煙防止講話					2月、3月	1,139人

整理番号	42	事業名	その他（保健活動推進員事業 ほか）		予算区分	交付金
			H26予算額	1,583 千円	H26決算額	1,581 千円
					担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進			港北区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり月間や、健康チェックや出張講座を通じた、受動喫煙防止・禁煙啓発を行いました。 <p>※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含まれます。</p>						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・健康づくり月間事業啓発活動					10月19日	293人
・禁煙おすすり隊					年4回	2,506人

平成26年度がん関連事業実績報告書(緑区)

整理番号	43	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)		予算区分	区配予算
			H26予算額	119 千円	H26決算額	114 千円
					担当部署	
対応条文	第 7 条	がん予防の推進・早期発見の推進			緑区	福祉保健課
【事業内容】						
・胃がん・肺がん検診、健康講座やイベントの場にて、リーフレットを配布し、がんの予防啓発を行いました。						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・生活習慣病改善講座					7月、10月、11月	191人
・がん検診、特定健診の啓発					年16回	7,007人

整理番号	44	事業名	健康横浜21推進事業 (喫煙)		予算区分	区配予算	
			H26予算額	129 千円	H26決算額	95 千円	
					担当部署		
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			緑区	福祉保健課	
【事業内容】							
・肺がんのリスクや必要性の高い方を対象に、講話やリーフレットの配布、呼気中一酸化炭素濃度測定等を行い、がん予防の啓発を行いました。							
・禁煙相談を実施しました。							
・世界禁煙デーのイベントで、パネル掲示及びリーフレット配布、呼気中一酸化炭素濃度測定等を行い、がん予防の啓発を行いました。							
【実績】							
					実施日	参加人数等	
・事業主に向けた受動喫煙防止啓発とCOPDの周知					食品衛生講習会 肺がん検診	2~3月 年7回	450人 292人
・子育て世代への受動喫煙防止及び禁煙啓発					妊婦対象 乳幼児健診時	年12回、随時 月3回	600人 1,500人
・ニコニコ卒煙クリニック(禁煙相談)						年12回	6人
・世界禁煙デーイベント						5月~6月	300人
・肺がん検診時等呼気中一酸化炭素濃度測定						年21回	1,020人

整理番号	45	事業名	その他 (横浜市健康づくり月間事業)		予算区分	交付金
			H26予算額	180 千円	H26決算額	180 千円
					担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			緑区	福祉保健課
【事業内容】						
・健康づくり月間の中で、マンモグラフィ車の乗車体験、乳がん触診モデルを使用した触診体験及びチラシ等の配布を行い、乳がん検診の周知、啓発を行いました。						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・区民に向けた乳がん検診の周知及び啓発					10月	290人

平成26年度がん関連事業実績報告書(青葉区)

整理番号	46	事業名	がん検診普及啓発事業(早期発見)						予算区分	個性ある区づくり推進費
開始年度	H23	年度	H26予算額	1,231	千円	H26決算額	1,289	千円	担当部署	
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進						青葉区	福祉保健課	
【事業内容】										
<p>・<アンケート>横浜市がん検診推進事業における子宮頸がん無料クーポン対象者(20歳)に対し、勧奨通知、アンケート及び啓発物品を送付し、184名より回答を得ました。アンケートは横浜市衛生研究所にて分析しました。</p> <p>・<普及啓発>地域活性化包括連携協定を踏まえ、区内セブンイレブン25店舗にて若年の顧客に対し、ウェットティッシュに子宮がん検診啓発ちらしを添付し配布しました。区内転入者にもがん検診啓発ちらしを配布しました。</p>										
【実績】										
								実施日	参加人数等	
・勧奨通知、アンケート及び啓発物品の送付								1月	1,700人	
・啓発物品(ウェットティッシュ)の配布								11月	5,000個	
・がん検診啓発ちらし(大腸・乳・子宮がん)配布								通年	23,100枚	
【27年度以降の対応】										
<p>26年度のアンケート結果を踏まえ、若年層に対する効果的な普及啓発を検討します。</p> <p>健康福祉局保健事業課の受診勧奨対象者の範囲が拡大充実したため、区独自の勧奨は終了します。</p>										

整理番号	47	事業名	がん検診普及啓発事業(予防)						予算区分	個性ある区づくり推進費
開始年度	H23	年度	H26予算額	60	千円	H26決算額	36	千円	担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進						青葉区	福祉保健課	
【事業内容】										
<p>・講演会 疫学研究の結果をもとに、青葉区の統計データも踏まえ「日本人のためのがんを予防する生活習慣」について区民向け講演会を開催しました。</p> <p>・広報 広報区版にがん征圧月間関連記事(トピックス)を掲載しました。</p>										
【実績】										
								実施日	参加人数等	
・講演会								1月16日	29名	
・広報								9月	全区民	
【27年度以降の対応】										
<p>引き続き広報を活用した啓発に取り組めます。</p> <p>若年層に、より効果的な普及啓発の方法について、区配事業と統合のうえ検討します。</p>										

平成26年度がん関連事業実績報告書(青葉区)

整理番号	48	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)		予算区分	区配予算
		H26予算額	161 千円	H26決算額	155 千円	担当部署
対応条文	第 6・7 条	がん予防の推進・早期発見の推進			青葉区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスメイトや区民を対象に開催した講演会「おとなも子どももロコモ予防」で、がん予防に関するパネル展示やパンフレットを配布し、がんの予防啓発を行いました。 ・健康フェスティバルなどのイベントで、リーフレットや啓発グッズを配布し、がんの予防や受診の啓発を行いました。 ・ミニミニ健康フェスティバルで、呼気中一酸化炭素濃度測定、肺年齢測定、禁煙相談、リーフレット配布・パネル展示を行いました。 ・防煙支援及び禁煙支援啓発事業で、呼気中一酸化炭素濃度測定、肺年齢測定、尿中ニコチン測定、リーフレット配布を行い、がんの予防啓発を行いました。 ・高校、大学などでがん予防の出前教室を開催しました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・講演会「おとなも子どももロコモ予防」					2月16日	67人
・がん検診普及啓発イベント					5月～3月	1,966人
・ミニミニ健康フェスティバル					5月31日	250人
・防煙支援および禁煙支援啓発					5月	約570人
・出前教室					12回	805名

整理番号	49	事業名	健康横浜21推進事業 (喫煙)		予算区分	区配予算
		H26予算額	54 千円	H26決算額	7 千円	担当部署
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			青葉区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・防煙支援及び禁煙支援の啓発キャンペーンで禁煙相談を行いました。 ・生活習慣改善相談とともに禁煙相談を行いました。 <p>※キャンペーンやイベント等の展示には健康福祉局から配付されたリーフレットを活用しました。</p>						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・禁煙相談(防煙支援及び禁煙支援啓発キャンペーン時)					5月19日～23日	5人
・展示・イベント					5月19日～23日	200人
・禁煙相談					通年	6人
・ミニミニ健康フェスティバル					5月31日	250人

平成26年度がん関連事業実績報告書(都筑区)

整理番号	50	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)				予算区分	区配予算
		H26予算額	42	千円	H26決算額	37	千円	担当部署
対応条文	第 6・7 条	がん予防の推進・早期発見の推進				都筑区	福祉保健課	
【事業内容】								
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診会場に乳がん自己触診体験コーナーを設け、乳がんの予防啓発を行いました。 ・区役所内で実施した肺・胃がん検診において一時保育を行い、子育て中も受診しやすい環境を整備しました。 ・つづきヘルスアップフェア(大規模商業施設での出張イベント)で、乳がんの自己触診体験と、模型を使った検便採取(大腸がん検診)の実演、及びリーフレットの配布を行い、乳がんと大腸がんの予防啓発を行いました。 ・おやこヘルスアップセミナー(生活習慣改善講座)の講座の中で、乳がんの自己触診体験を行い、がんの予防啓発を行いました。 ・表情筋エクササイズ講座において、乳がんの自己触診体験コーナーを設けて、がんの予防啓発を行いました。 ・こんにちは赤ちゃん訪問員の研修会で、乳がん検診の自己触診体験を行い、がんの予防啓発を行いました。 ・区役所内の廊下にごがん啓発コーナーを設置し、乳がんなどの啓発パネルの掲示、及びリーフレット配架(1,081枚)を通年で行いました。 								
【実績】								
						実施日	参加人数等	
・3歳児健診時の乳がん検診啓発						11月～3月	217人	
・胃・肺がん検診の一時保育						3月3日	5人	
・つづきヘルスアップフェア						9月27日	500人	
・おやこヘルスアップセミナー						6月～2月	47人	
・表情筋エクササイズ講座						11月12日	47人	
・こんにちは赤ちゃん訪問員研修会						12月17日	40人	

平成26年度がん関連事業実績報告書(都筑区)

整理番号	51	事業名	健康横浜21推進事業（喫煙）				予算区分	区配予算
		H26予算額	35	千円	H26決算額	35	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進				都筑区	福祉保健課	
【事業内容】								
<ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙デーにあわせ、区総合庁舎内でパネル展示及び禁煙うちわの配布、肺年齢チェッカー（ファイザー協力）、ストローを用いたCOPD体験、禁煙相談を行いました。 ・たばこ対策事業として、健診・教室でのリーフレット配布やパネル展示、肺がん検診時に禁煙相談及び肺年齢測定、子育て支援者向けに講演会を行いました。 ・生活習慣改善相談において、禁煙相談を行いました。 								
【実績】						実施日	参加人数等	
・世界禁煙デーたばこ展		パネル展来場者				5月～6月	623人	
		保健活動推進員者イベント従事者事前研修				5月9日	11人	
		ミニイベント(保健活動推進員共催)来場者				5月30日	200人	
		COPD体験、肺年齢チェッカー等の参加者				5月30日	41人	
・たばこ対策事業						通年	118人	
・禁煙相談						通年	4人	

整理番号	52	事業名	その他（保健活動推進員事業 ほか）				予算区分	交付金
		H26予算額	1,030	千円	H26決算額	1,030	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進				都筑区	福祉保健課	
【事業内容】								
<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙啓発物品の配布や乳がん自己触診体験によるがん検診の啓発を行いました。 ※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含まれます。 								
【実績】						実施日	参加人数等	
・世界禁煙デー受動喫煙防止啓発活動						年1回	211人	
・つつきヘルスアップフェア						年1回	456人	

平成26年度がん関連事業実績報告書(戸塚区)

整理番号	53	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)		予算区分	区配予算
			H26予算額	102 千円	H26決算額	118 千円
			担当部署			
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			戸塚区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣改善事業の健康応援キャンペーンで、リーフレットの配布、パネル展示を行い、がんの予防啓発を行いました。 特定健診の啓発事業において、リーフレット配布やパネル展示を行い、がんの予防啓発を行いました。 受動喫煙防止や禁煙支援に関する啓発キャンペーン(歯科イベントと合同)パネル展示や一酸化炭素濃度測定、個別相談、啓発グッズの配布を行いました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
生活習慣改善事業					6月18日	119人
特定健診の啓発事業					5月14、15日	440人
受動喫煙防止や禁煙支援に関する啓発キャンペーン					6月5日	38人

整理番号	54	事業名	健康横浜21推進事業 (喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	148 千円	H26決算額	104 千円
			担当部署			
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			戸塚区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 小学校での喫煙防止教育の中で、たばこの害や受動喫煙等の講義やたばこを誘われた時の対応ロールプレイを行いました。 母親学級(たばこの害や胎児への影響、禁煙方法等の講義)や広報(禁煙マナーと受動喫煙の影響に関する記事)で、受動喫煙防止や禁煙支援についての啓発を行いました。 生活習慣改善相談の中で禁煙相談を行いました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
小学校での喫煙防止教育					年10回	921人
受動喫煙防止、禁煙支援についての啓発					教室: 通年	282人
禁煙相談					通年	5人

平成26年度がん関連事業実績報告書(栄区)

整理番号	55	事業名	がん対策推進事業				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度	H25	年度	H26予算額	310	千円	H26決算額	127	千円	担当部署
対応条文	第 6・7 条	がん予防の推進・早期発見の推進				栄区	福祉保健課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児健診に来られた保護者を対象に女性特有がんの現状やがん検診の必要性を講話(集団)と講話の内容と横浜市がん検診を受けられる医療機関のリストを掲載したリーフレットを配布しました。 ・区民まつりにおいて、子宮頸がん予防の普及啓発団体であるリボンムーブメントのブースを設け、普及啓発活動を行いました。 ・施設や企業、商店街等の一画に出張して健康啓発を行う健康づくり出張隊でがん検診の受診勧奨やマンモモデル触診体験を実施しました。 									
【実績】									
・3歳児健診における保護者を対象としたがん検診の受診勧奨						実施日	参加人数等		
						年24回	958人		
・区民まつりにおける子宮頸がん予防の普及啓発活動						11月1日	42人		
・健康づくり出張隊におけるがん予防普及啓発						年5回	528人		
【27年度以降の対応】									
引き続き実施します。									

整理番号	56	事業名	ここからライフスタイル				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度	H25	年度	H26予算額	396	千円	H26決算額	378	千円	担当部署
対応条文	第 7 条	がんの早期発見の推進				栄区	福祉保健課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・20～40歳代を対象とした全7回の生活習慣を見直す講座で毎回がん検診の必要性について普及啓発を実施し、初回参加者にリーフレットを配布しました。 									
【実績】									
・20～40歳代を対象とした講座でがん検診のリーフレットを配布						実施日	参加人数等		
						年7回	229人		
【27年度以降の対応】									
20～40歳代を対象とした生活習慣を見直す講座を2コース行う中でがん検診の必要性の普及啓発を実施する予定です。									

整理番号	57	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)				予算区分	区配予算	
			H26予算額	446	千円	H26決算額	379	千円	担当部署
対応条文	第 6・7 条	がん予防の推進・早期発見の推進				栄区	福祉保健課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診の会場にがん検診のリーフレットや自己触診のちらしを配架し、マンモモデルを設置して自己触診を体験できるようにする等がん検診の必要性の普及啓発を実施しました。 ・肺がん検診や区民まつり、健康づくり出張隊等のイベント時にリーフレットの配布やマンモモデルの自己触診体験を通してがん検診の必要性を普及啓発しました。 									
【実績】									
・乳がん検診の会場でリーフレットや自己触診のちらしの配架やマンモモデルの設置						実施日	参加人数等		
						年17回			
・区民まつりでリーフレットや自己触診のちらしの配架やマンモモデルの触診体験をリボンムーブメントやピンクリボン、保健活動推進員と協働で実施						11月1日	322人		
・肺がん検診会場でがん疾病予防に関するパネル展示やパンフレット配架						年11回	432人		
・食品衛生責任者指定講習会にてがん検診受診勧奨						2月19日、 3月19日	292人		

平成26年度がん関連事業実績報告書(栄区)

整理番号	58	事業名	健康横浜21推進事業（喫煙）		予算区分	区配予算
			H26予算額	0 千円	H26決算額	0 千円
					担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進			栄区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・卒煙相談においてがんの予防啓発を行いました。 ・肺がん検診で喫煙者を対象に禁煙とがんの予防啓発を行いました。 ・両親教室で禁煙、受動喫煙防止について講話の実施及び喫煙者に一酸化炭素濃度測定を行いました。 ・世界禁煙デーにおいてパネル展示やリーフレットの配布を行いました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・卒煙相談における予防啓発					年15回	13人
・肺がん検診受診者における喫煙者への予防啓発					年11回	432人
・両親教室における禁煙、受動喫煙防止の普及啓発					年3回	250人
・世界禁煙デーイベント					5月26日～30日	区役所来庁者

整理番号	59	事業名	その他（保健活動推進員事業 ほか）		予算区分	交付金
			H26予算額	757 千円	H26決算額	757 千円
					担当部署	
対応条文	第6・7条	がん予防の推進・早期発見の推進			栄区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・保健活動推進員研修で乳がん講座、マンモモデル触診体験を行い乳がん検診の必要性の普及啓発を実施しました。 ・よこはま健康応援団（禁煙店）を増やすために、飲食店の禁煙調査を実施しました。 ・生活衛生協議会の生活衛生講習会においてリーフレットを配布し、がん検診受診の必要性を普及啓発しました。 ・自治会で実施の健康講座で乳がんをテーマにがん検診の必要性やがん予防の普及啓発を実施しました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・保健活動推進員研修での乳がん講座					5月25日	64人
・飲食店の禁煙調査					11月～12月	4件
・生活衛生協議会の講習会におけるリーフレット配布					6月3日	35人
・自治会での乳がん講座					11月6日、 12月21日	44人

平成26年度がん関連事業実績報告書(泉区)

整理番号	60	事業名	がん予防事業				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度	H21	年度	H26予算額	709	千円	H26決算額	657	千円	担当部署
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				泉区	福祉保健課		
【事業内容】									
・3歳児健診来所の保護者を対象に、乳がんの予防・早期発見のための自己検診法などの基礎知識について、講話・指導を実施しました。また、区民を対象にがん予防に関する講演会を実施しました。									
【実績】									
						実施日	参加人数等		
・3歳児健診時の啓発						月2回 計24回	1,034人		
・大腸がん講演会						7月1日	71人		
【27年度以降の対応】									
がんについての啓発を継続していきます。									

整理番号	61	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)				予算区分	区配予算	
			H26予算額	123	千円	H26決算額	71	千円	担当部署
対応条文	第7条	がんの予防の推進・早期発見の推進				泉区	福祉保健課		
【事業内容】									
・健康づくり活動フェアで、禁煙相談、乳がんの基礎知識と自己触診啓発、がんの予防啓発を行いました。									
【実績】									
						実施日	参加人数等		
・健康づくり活動フェア						9月25、26日	356人		

平成26年度がん関連事業実績報告書(泉区)

整理番号	62	事業名	健康横浜21推進事業(喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	309 千円	H26決算額	255 千円
					担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進			泉区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙デーイベントでは禁煙の啓発資料の展示、リーフレットの配布、肺年齢測定、呼気中一酸化炭素濃度測定、肌年齢測定などを行いました。 ・キッパリ卒煙教室では呼気中一酸化炭素濃度測定や、医師のよる講話を行いました。 ・未成年等の喫煙防止啓発・受動喫煙防止啓発では、両親教室での啓発や高校生へのリーフレット配布などを行いました。 ・職域に対する特定健診受診勧奨および禁煙支援では、食品衛生協議会や理美容協会、高齢者施設へ禁煙特定健診の啓発を行いました。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・世界禁煙デーイベント					5月29、30日	約200人
・キッパリ卒煙教室					年6回	
・未成年等の喫煙防止啓発・受動喫煙防止啓発					年12回	366人
・職域に対する特定健診受診勧奨および禁煙支援					年6回	516人

整理番号	63	事業名	その他(保健活動推進員事業 ほか)		予算区分	交付金
			H26予算額	982 千円	H26決算額	982 千円
					担当部署	
対応条文	第6条	がんの予防の推進			泉区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・講演会や健康チェック等を通じ、がん予防の啓発を実施しました。 ※予算・決算額はその他健康づくり活動で使用した経費も含まれます。 						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・大腸がん講演会					7月1日	71人
・COPD講演会					1月30日	11人
・世界禁煙デーイベント					年1回	242人

平成26年度がん関連事業実績報告書(瀬谷区)

整理番号	64	事業名	健康せや推進事業				予算区分	個性ある区づくり推進費	
開始年度		年度	H26予算額	231	千円	H26決算額	247	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進				瀬谷区	福祉保健課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・9月:庁舎内にてがん啓発パネル展(がん征圧月間)、区役所前にてパネル展示・チラシ等の配布(救急の日) ・10月:乳がん自己触診体験や大腸がんクイズの実施。大腸がんと乳がんの受診勧奨等(区民まつり) ・1月:庁舎内にて胃がん肺がん同時開催時に健康チェック、体力測定、がん検診のPR(がん検診フェア) ・乳幼児健診にて乳がん自己触診体験、乳がん検診の受診勧奨(月に2回) ・かんたんな健康測定や肺がん検診時にがん検診の受診勧奨を実施 ・出前講座などで「がん予防」や「がん検診」についての講話を実施 									
【今後の方針】									
<p>今後も引き続き、機会あるごとに受診勧奨を行う。また、女性向けがん検診に関して、特定健診受診勧奨と併せて、がん検診受診勧奨文の送付を保険年金課と協働で計画している。</p>									

整理番号	65	事業名	健康横浜21推進事業 (がん検診)				予算区分	区配予算	
			H26予算額	30	千円	H26決算額	0	千円	担当部署
対応条文	第6・7条	がんの予防の推進・早期発見の推進				瀬谷区	福祉保健課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診やがん検診会場で乳がんの自己触診体験やリーフレットの配布を行いがんの予防啓発を行いました。 ・事業者の講習会でがん検診、特定健診の受診啓発を行いました。 ・保健活動推進員を対象にがんの予防や検診受診啓発を地域で行うための研修を行いました。 ・各イベントや講演会での講話、パネル展示、リーフレット配布などを行い、禁煙・がん検診の受診啓発を行いました。 <p>※局から支給されたリーフレットを活用し、経費を削減しました。</p>									
【実績】						実施日	参加人数等		
・肺がん検診						全9回	325人		
・簡単な健康測定時に「がん検診と健診」について啓発						随時	231人		
・乳幼児健診後の保護者への啓発						年23回	391人		
・理美容クリーニング事業責任者講習会						12月	40人		
・食品衛生責任者講習会						2月	304人		
・保健活動推進員による地区別研修会						6月、7月、9月	94人		
・区民まつり						10月	1,527人		
・がん征圧月間						9月	100人		
・新春健康チェック時にがん検診と健診の啓発						1月	480人		

平成26年度がん関連事業実績報告書(瀬谷区)

整理番号	66	事業名	健康横浜21推進事業 (喫煙)		予算区分	区配予算
			H26予算額	57 千円	H26決算額	0 千円
					担当部署	
対応条文	第 6 条	がんの予防の推進			瀬谷区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 各イベントやがん検診、乳幼児健診時に、リーフレット配布やパネル展示を行い、禁煙と受動喫煙防止の啓発をしました。 呼気中一酸化炭素濃度測定を行い、たばこの有害性について啓発しました。 瀬谷フェスティバルと救急の日では、禁煙啓発ティッシュの配布を行いました。 ※局から支給されたリーフレットの活用及び保健師による禁煙相談実施により、経費を削減しました。						
【実績】						
					実施日	参加人数等
・世界禁煙デーイベント					5月30日	1,211人
・肺がん検診					全9回	26人
・乳幼児健診来所時の保護者健康チェック					全24回	64人
・瀬谷フェスティバル					10月26日	879人
・個別相談					随時	3件
・救急の日					9月	114人
・両親教室					10回	132人
・保健活動推進員による啓発					随時	1,520人

整理番号	67	事業名	その他 (保健活動推進員事業 ほか)		予算区分	交付金
			H26予算額	935 千円	H26決算額	935 千円
					担当部署	
対応条文	第 7 条	がんの早期発見の推進			瀬谷区	福祉保健課
【事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> 健康チェックを通じ、がん検診の受診啓発を実施しました。 						
【実績】						
・健康づくり月間(瀬谷フェスティバル)					実施日	参加人数等
					年1回	1,324人

平成26年度がん関連事業実績報告書(文化観光局)

整理番号	68	事業名	クラシック・ヨコハマ推進事業				予算区分	局事業
開始年度	H19	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第9条	がんの予防の推進				文化観光局	文化振興課	
【事業内容】 ・全日本学生音楽コンクール全国大会in横浜の開催に合わせて実施している音楽イベント「クラシック・ヨコハマ」の一環として、毎日新聞社を主催とする、小児がん征圧キャンペーン「生きる」のコンサートを実施しました。								
【実績】						実施日等	実績数等	
生きる～2015NewYear若い命を支えるコンサート						1月12日	1,600人	
【27年度以降の対応】 引き続き、連携して実施していく予定です。								

平成26年度がん関連事業実績報告書(経済局)

整理番号	69	事業名	国際戦略総合特区推進事業(うち、がん関連の取組)				予算区分	局事業
開始年度	H25	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第14条	市の責務				経済局	成長産業振興課	
【事業内容】 ・「革新的な医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出」を目指し、企業や研究機関による先端的な研究開発プロジェクトを「横浜プロジェクト」と位置づけ、総合特区の支援策獲得に向けた国との協議や、本市独自の助成などによる支援を行いました。このうち、がん対策関係の取組としては、トリプルネガティブ乳がんの体外診断薬試作キットの開発など、本市のバイオベンチャー企業等による研究開発プロジェクトなどを支援しました。 ・市民向けに総合特区の取組をPRをするセミナーとして、子宮がんの闘病体験をお持ちである、女優・タレントの原千晶さん他をお招きし、がん予防と早期診断の重要性をテーマとした講演会を開催しました。								
【実績】						実施日等	実績数等	
がん関連の取組事例								
トリプルネガティブ乳がんの体外診断薬試作キットの開発						4月～1月	キットの確立	
市民向けセミナー「がん予防の最前線!!(特別講演:原千晶氏)」の開催						7月5日	参加者140名	
【27年度以降の対応】 引き続き、がん対策に資する研究開発も含め、市内企業等のライフサイエンス関連の取組について、総合特区制度を活用し、支援します。								

平成26年度がん関連事業実績報告書(こども青少年局)

整理番号	70	事業名	横浜市妊婦健康診査事業			予算区分	局事業
開始年度	S43	年度	H26予算額	2,476,740 千円	H26決算額	2,474,082 千円	担当部署
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				こども青少年局	こども家庭課
【事業内容】							
<p>・妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査に必要な経費を助成することにより、安心して妊娠、出産ができる体制を確保しました。</p> <p>・妊娠の届出をした妊婦に対して、14回分の妊婦健康診査費用補助券を妊婦に交付し、受診を促しました。 (補助券:4,700×11回、7,000円×1回、12,000×2回 合計82,700円)</p> <p>妊婦健康診査を横浜市医師会及び市外医療機関に委託し、実施しました。</p>							
【実績】							
・平成26年度妊娠届出者数(妊婦健康診査費用補助券交付者数)						実施日等	実績数等
							34,791人
・妊婦健康診査費用補助券利用者受診総数							382,677人
【27年度以降の対応】							
<p>今後も妊婦健康診査費用の助成対象検査に、「子宮頸がん検診(細胞診)」を実施できるようにしていきます。</p>							

平成26年度がん関連事業実績報告書(健康福祉局)

整理番号	71	事業名	小児慢性特定疾患医療給付事業				予算区分	局事業	
開始年度	S49	年度	H26予算額	675,492	千円	H26決算額	609,049	千円	担当部署
対応条文	第9条	がん患者及びその家族等への支援				健康福祉局	医療援助課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法第21条の5に基づいた小児慢性疾患のうち、小児がん、慢性腎炎など特定疾患の治療の確立と普及を図り、併せて患者家族の負担軽減にも資するため医療費の自己負担の一部を補助するとともに福祉サービスを行いました。 ・対象疾患は、11疾患群514疾患となり、このうち、小児がんに分類する悪性新生物は、54疾患が定められていましたが、平成27年1月施行の制度拡大に伴い、対象疾患数も拡大しました。 									
【実績】						実施日等	実績数等		
悪性新生物の認定者数……26年度						512人			
【27年度以降の対応】									
法制化に伴い、平成27年1月から、対象疾患が拡大(14疾患群704疾患。このうち、小児がんに分類する悪性新生物は、91疾患)。									

整理番号	72	事業名	健康横浜21推進事業(喫煙)				予算区分	局事業	
開始年度	H13	年度	H26予算額	2,398	千円	H26決算額	516	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進				健康福祉局	保健事業課		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の改善を通じたがん予防 ・小・中・高校生、大学生など未成年者への喫煙防止教育、喫煙をやめたい人がやめられるようなサポート体制の構築、「よこはま健康応援団」の推進などの受動喫煙を受けない環境づくり等の喫煙対策を進めました。 ・各種イベントや市庁舎等で、パネルの展示・パンフレットの配布、呼気中一酸化酸素濃度、肺年齢の測定を行い、がんの予防啓発を行いました。 ・ライフステージに合わせた禁煙・喫煙防止啓発リーフレットを作成し、配布しました。 ・禁煙を支援する薬局に対し、薬剤師会と共催で研修会を開催しました。 ・九都県市受動喫煙防止キャンペーンで、ポスターを作成し、関係機関に配布し、啓発を行いました。 ・終日禁煙を行う「よこはま健康応援団」の登録を推進するため、登録ステッカーをリニューアルしました。 									
【実績】						実施日等	実績数等		
・歯と口の健康週間(中央行事)						6月8日	183人		
・薬物乱用防止キャンペーン						9月7日	100人		
・ライフステージ別禁煙・喫煙防止啓発リーフレットの作成・配布						通年	78,000枚		
・禁煙支援薬局研修の開催						7月12日	103人		
・九都県市受動喫煙防止キャンペーンポスター作成・配布						9月～11月	300枚		
・店内終日禁煙店の推進						通年	326店舗		
【27年度以降の対応】									
平成26年度の取組に加え、喫煙率の高い「働き世代」に対する取組として、メールマガジンの配信や健康経営に関する研修会等の開催を行います。									

平成26年度がん関連事業実績報告書(健康福祉局)

整理番号	73	事業名	がん検診事業			予算区分	局事業
開始年度	S35	年度	H26予算額	3,770,099 千円	H26決算額	3,959,072 千円	担当部署
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進			健康福祉局	保健事業課	
【事業内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・がんの早期発見・早期治療を促進するため、実施医療機関及び区福祉保健センター等でがん検診を実施しました。 ・受診率向上にむけた、個別通知による受診勧奨及びピンクリボンキャンペーン2014 in 横浜スタジアムなど、がん検診に関する広報活動を実施しました。 ・内視鏡による胃がん検診モデル事業及び二次読影体制の構築など、受診体制を整備しました。 ・精密検査結果等の把握を行い、検診精度管理の維持・向上を図りました。 							
【実績】							
・がん検診受診者数(胃・肺・大腸・子宮・乳・PSA)					実施日等	実績数等	
					26年度実績	537,199人	
・個別通知等の配布数					26年度実績	約200万人	
・ピンクリボンキャンペーン2014 in 横浜スタジアム					9月5日(入場者数)	23,236人	
・内視鏡による胃がん検診の受診者数					26年度実績	1,189人	
・二次読影会開催数					26年度実績	340回	
【27年度以降の対応】							
<p>新たに導入したがん検診台帳システムを活用し、受診対象者の受診歴別、世代別ごとに通知を作成するなど、きめ細やかな個別通知による受診勧奨を実施します。</p> <p>ピンクリボンかながわなどの関係団体等と連携した啓発事業を行い、受診率向上に努めます。</p>							

整理番号	74	事業名	子宮頸がん予防ワクチン関連事業			予算区分	局事業
開始年度	H25	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進			健康福祉局	健康安全課	
【事業内容】							
<ul style="list-style-type: none"> ・子宮頸がん予防ワクチンを定期接種として接種希望者に接種しました。 ・子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に対する医療支援を開始しました。 							
【実績】							
・子宮頸がん予防ワクチンの定期接種					実施日等	実績数等	
					4月1日～ 3月31日	172件	
・医療支援の件数					4月1日～ 3月31日	30件	
【27年度以降の対応】							
<p>平成25年6月14日の厚生労働省の勧告に基づき、子宮頸がん予防ワクチンの接種を積極的にはお勧めしていません。</p> <p>また、子宮頸がん予防ワクチン接種後の症状に対する医療支援を引き続き実施します。</p>							

平成26年度がん関連事業実績報告書(健康福祉局)

整理番号	75	事業名	骨髄移植普及啓発事業等				予算区分	局事業	
開始年度		年度	H26予算額	316	千円	H26決算額	221	千円	担当部署
対応条文	第13条	情報の収集及び提供等				健康福祉局	保健事業課		
【事業内容】									
・市内地域中核病院で開催される市民公開講座について、広報よこはまや横浜市ホームページでの広報を行うとともに、骨髄移植普及啓発事業として、神奈川県骨髄移植を考える会及び神奈川県血液センターの協力の下、骨髄ドナー登録会を開催しました。									
【実績】							実施日等	実績数等	
・骨髄ドナー登録会の実施									
横浜市庁舎							4月28日	4人	
立場駅前							6月21日	2人	
ボラフェスタ 2014in kanagawa(日本丸メモリアルパーク)							10月18日	5人	
北綱島小学校							11月1日	5人	
・神奈川県骨髄移植を考える会開催 市民公開講座の後援									
公開講座「白血病は治ったけれど・・・」							6月14日	57人	
「糖尿病と腎臓病」							10月18日	-	
【27年度以降の対応】									
・骨髄ドナー登録会の開催(年3、4回予定) ※例年開催しているボランティアフェスタは赤十字血液センターの事情で開催計画なし、北綱島小学校での開催は校舎の工事延伸のため中止になっています。 ・日本骨髄バンク25周年記念事業への協力(川崎駅でのバンク登録会への職員派遣、講演会の後援等) ・市ホームページにおいて、コーディネーター募集の啓発									

整理番号	76	事業名	がん対策推進会議(庁内連絡会議)の設置				予算区分	局事業		
開始年度		H26	年度	H26予算額		千円	H26決算額		千円	担当部署
対応条文	第2条	市の責務				健康福祉局	医療政策課			
【事業内容】										
・医療や福祉の分野だけでなく、広く総合的な視点でがん対策に取り組むため、副市長をトップとした関係区局によるがん対策推進会議を設置しました。										
【実績】							実施日等	実績数等		
・がん対策推進会議							10月	1回		
・関係課長会議							8月	1回		
【27年度以降の対応】										
今後策定を予定している「市がん対策推進計画(仮称)」に基づく進捗状況の確認や、施策の検討、情報交換のため、年1~2回の開催を予定しています。										

平成26年度がん関連事業実績報告書(健康福祉局)

整理番号	77	事業名	がん関係団体・医療機関へのヒアリング				予算区分	局事業
開始年度	H26	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第2条	市の責務				健康福祉局	医療政策課	
【事業内容】								
<p>・がん撲滅対策推進条例施行を契機とし、市のがん対策を推進するにあたり、都道府県がん診療連携拠点病院(1病院)・市内地域がん診療連携拠点病院(7病院)・市内神奈川県がん診療連携指定病院(4病院)・市内小児がん拠点病院(1病院)・市内を活動範囲とするがん患者会(5団体)を訪問し、市内のがん医療や患者の実状について聞き取り調査を行いました。</p>								
【実績】								
実施期間						実施日等	実績数等	
実施団体						6月～8月		
都道府県がん診療連携拠点病院							18	
地域がん診療連携拠点病院							1	
神奈川県がん診療連携指定病院							7	
小児がん拠点病院							4	
患者会							1	
							5	
【27年度以降の対応】								
ヒアリングで出された意見をもとに施策の検討を進めていきます。また、引き続き、幅広く意見の収集を行います。								

整理番号	78	事業名	都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院及び神奈川県がん診療連携指定病院による意見交換会				予算区分	局事業
開始年度	H26	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第8条	がんに係る医療の充実				健康福祉局	医療政策課	
【事業内容】								
<p>・都道府県がん診療連携拠点病院(1病院)、市内地域がん診療連携拠点病院(7病院)、市内神奈川県がん診療連携指定病院(4病院)による意見交換会を立ち上げ、がんに関する地域医療連携の推進に向けた情報交換を行いました。</p>								
【実績】								
会議開催						実施日等	実績数等	
						2月	1回	
【27年度以降の対応】								
がんに係る医療の充実に向け、病院間の情報交換や連携を進めるため、引き続き開催します。								

平成26年度がん関連事業実績報告書(健康福祉局)

整理番号	79	事業名	がん撲滅対策推進条例の周知				予算区分	局事業
開始年度	H26	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第13条	情報の収集及び提供等				健康福祉局	医療政策課	
【事業内容】								
<p>・6月のがん撲滅対策推進条例制定を受け、以降に市内の地域中核病院で開催されたがんに関する市民公開講座等において、条例周知のチラシを配布しました。</p> <p>また、10月の条例施行を受け、中央図書館と連携し、がんに関する企画展示を実施しました。</p>								
【実績】								
条例周知のチラシ配布						実施日等	実績数等	
中央図書館での企画展示						10月～11月	約3,000枚 約3週間	
【27年度以降の対応】								
情報の収集及び提供の取組を進めます。								

整理番号	80	事業名	在宅医療連携推進事業				予算区分	局事業	
開始年度	H26	年度	H26予算額	49,064	千円	H26決算額	81,543	千円	担当部署
対応条文	第11条	在宅医療の充実				健康福祉局	医療政策課		
【事業内容】									
<p>・在宅医療と介護の連携推進に向け、在宅医療連携拠点の新規開設を10区で行い、市内で11区の運営を行いました。また、各区において、在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修を開催しました。</p>									
【実績】									
在宅医療連携拠点の新規開設・運営						実施日等	実績数等		
(H26年度新規開設:鶴見・中・南・旭・金沢・港北・緑・青葉・都筑・瀬谷の10区)							11区		
地域リーダー研修の実施							18区		
【27年度以降の対応】									
引き続き在宅医療連携拠点の運営を通じて、在宅医療の充実を図ります。また、全区への在宅医療連携拠点の開設に向け、準備を進めます。在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修を全区で開催します。									

平成26年度がん関連事業実績報告書(水道局)

整理番号	81	事業名	ピンクリボンかながわとのコラボレーション			予算区分	局事業
開始年度	H25	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進				水道局	総務課、人事課
【事業内容】							
<p>・ピンクリボンかながわから水道局パートナーシップデスクへのコラボレーション申し込みにより、お互いの強みを活かした取り組みを行いました。</p> <p>①備蓄飲料水 横浜水缶のピンクリボン缶の製造・販売・配布</p> <p>②啓発チラシの作成(健康福祉局保健事業課、協会けんぽ、水道局による協働製作)</p> <p>③ピンクリボンかながわ から講師派遣による水道局職員向けがん啓発研修の開催</p>							
【実績】						実施日等	実績数等
・備蓄飲料水 横浜水缶のピンクリボン缶の製造・販売・配布						9月、10月	127,200缶
・ピンクリボンかながわでの水缶の配布(ピンクリボンキャンペーン)						9月23日	(上記内数) 1,440缶
・啓発チラシの作成・配布(ピンクリボンキャンペーン、病院等)						9月	約1,200枚
・職員向けがん啓発研修(講師 ピンクリボンかながわ代表)						10月28日	参加者73人
【27年度以降の対応】							
27年度の備蓄飲料水 横浜水缶のピンクリボン缶の製造は検討中です。							

平成26年度がん関連事業実績報告書(市民病院)

整理番号	82	事業名	がん検診				予算区分	
開始年度	S56	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				市民病院	がんセンター	
【事業内容】								
<p>・横浜市がん検診(胃、肺、大腸、子宮、乳、前立腺)と病院独自のオプション検診(喉頭、肝胆膵、婦人科超音波(卵巣)、口腔、前立腺(40~49歳)、肺ヘリカルCT、PET-CT)の13項目の検診を行い、検診項目ごとに受診できます。</p> <p>・精度管理が必要な方の二次検診と経過観察を行っています。がんが発見された場合は、速やかに市民病院での診断、治療を行います。</p> <p>・がんやがん検診に関する正しい理解や早期発見の重要性について普及啓発を図るため、有識者、医師・看護師等による市民公開講座や外部講師による市民講演会を開催しました。</p> <p>また、区民祭りや昨年12月に開催した市立病院健康フェアで、がん検診のPRを行いました。</p>								
【実績】								
						実施日等	実績数等	
・一次検診							27,501人	
・二次検診							9,698人	
・前立腺がん啓発週間 市民公開講座 当院泌尿器科医師による前立腺がんの病態・疫学、診断、治療、検診に関する講演						9月20日	254人	
・がん検診啓発講演会 当院呼吸器内科及び呼吸器外科医師による肺がんの病態・疫学、診断、治療、検診に関する講演						11月29日	233人	
・区民まつりへの参加							3区	
【27年度以降の対応】								
<p>現在の喉頭がん検診を変更し、ファイバースコープによる喉頭・下喉頭がん検診を開始します。</p> <p>インターネット予約システムについて、検診項目ごとに予約ができるよう、拡張します。</p> <p>若年層の参加者増加に向けた内容や他病院、健康福祉局、区役所との共催等、開催手法を検討し、引き続き実施します。</p>								

整理番号	83	事業名	集学的治療・高度医療の充実				予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第8条	がんに係る医療の充実				市民病院	がんセンター	
【事業内容】								
<p>・市民病院では、26年度から「婦人科内視鏡手術センター」を設置し、婦人科内視鏡の専門医による婦人科がんの治療に力を入れています。具体的には、25年度まで先進医療されていた「腹腔鏡子宮体がん根治手術」が、26年度より保険適用となった(「K879-2腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術」)こともあり、より積極的に取り組んでいます。</p>								
【実績】								
・K879-2腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術実施件数						実施日等	実績数等	
							18件	
【27年度以降の対応】								
<p>今後も、新たに先進医療として認められた手術など、より高度で安全な腹腔鏡手術に積極的に取り組んでいきます。</p>								

平成26年度がん関連事業実績報告書(市民病院)

整理番号	84	事業名	がん地域連携クリティカルパスの運用			予算区分	
開始年度	H22	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第8条	がんに係る医療の充実				市民病院	がんセンター
【事業内容】 ・手術や放射線治療等の専門的ながん治療を終えたがん患者を、地域医療機関と共同して診察するために、病院と地域医療機関が診療計画や治療経過などを共有する「がん地域連携クリティカルパス」を運用しています。 <当院が運用している地域連携クリティカルパス> 乳がん、肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、前立腺がん ・連携医療機関数(平成27年3月31日現在) 乳がん11医療機関、肺がん4医療機関、胃がん7医療機関、大腸がん6医療機関、肝がん10医療機関、前立腺がん16医療機関							
【実績】						実施日等	実績数等
・乳がん							57件
・肝がん							2件
・前立腺がん							10件
【27年度以降の対応】 がん症例に対して適用可能ながん地域連携クリティカルパスの種類拡大、連携医療機関の拡大を図ります。 がん地域連携クリティカルパスの普及に向けた講演会を開催します。							

整理番号	85	事業名	がん患者相談支援事業			予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第9条	がん患者及びその家族等への支援				市民病院	がんセンター
【事業内容】 ・がん相談支援センターにおいて、専門の看護師が、がんの治療や療養生活、患者の方の不安などに関する相談に応じるとともに、セカンドオピニオン外来を設置し、当院の専門医師が、病状に関して、参考となる意見や判断を提供し、患者さんご自身が診断や治療について納得して決断されるための支援を行っています。 ・ハローワーク横浜から派遣された「就職支援ナビゲーター」による出張相談を月1回実施し、がん相談員と一緒に、就労を希望する患者の新たな就職に向けた支援を行っています。							
【実績】						実施日等	実績数等
・がん相談支援センターにおける相談実績							1,067件
・セカンドオピニオン外来におけるがんのセカンドオピニオン							19件
・就労相談件数							92件
・就労支援ナビゲーター出張相談件数							13件
・ハローワーク窓口相談件数							31件
・就職者数							2人
【27年度以降の対応】 就労を希望するがん患者への支援として、社会保険労務士派遣モデル事業に参加し、現在の職場での働き方から転職・再就職までをトータル的に支援していきます。 ピアサポートや患者会等に対する活動支援策を検討していきます。							

平成26年度がん関連事業実績報告書(市民病院)

整理番号	86	事業名	緩和ケアの充実				予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第 10 条	緩和ケアの充実				市民病院	がんセンター	
【事業内容】								
<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア内科の医師が他の科の医師や、専門看護師、薬剤師、管理栄養士からなる「緩和ケアチーム」を作り、病棟回診を毎週行う等、患者さんの主治医と協力しながら診療に当たっています。 ・26年12月から、苦痛緩和に関する相談を目的とした外来を設置し、患者の様々な苦痛に対する早期スクリーニングに努めています。 ・がん治療の初期段階から緩和ケアを提供するための基礎知識の習得を目的とした「緩和ケア研修会」を開催し、当院職員だけでなく、地域の医療従事者の受講も受け入れています。 								
【実績】						実施日等	実績数等	
・緩和ケア病棟延入院患者数							6,648人	
・緩和ケア病棟平均在院日数							26.8日	
・緩和ケア研修受講者数(地域医療従事者含む)							28人	
【27年度以降の対応】								
<p>がん対策基本計画では、地域がん診療拠点病院の全ての医師が緩和ケア研修を受講することが目標とされているため、当院としても29年度までにがん診療に携わる医師の緩和ケア研修受講率を100%とすることを目標に、研修会の開催、受講歴管理を行っていきます。</p>								

整理番号	87	事業名	医療従事者の確保育成				予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第 12 条	医療従事者の育成及び確保				市民病院	がんセンター	
【事業内容】								
<ul style="list-style-type: none"> ・婦人科内視鏡手術センターを設置し、これまで開腹が中心だった子宮体がんの手術について、内視鏡技術認定医の資格を有する医師を配置することで、より高度な手術を推進しました。(再掲) ・放射線治療専門の治療を行う医学物理士を確保し、診療体制の強化を図りました。 ・院内職員向けに、症例の共有・検討を行う場として、キャンサーボード・ミニキャンサーボードを毎月開催するほか、地域医療機関を対象に、がん診療や抗がん剤などについての知識の習得、最新情報の共有化を目的としたがんに関する研修会を開催しています。 								
【実績】						実施日等	実績数等	
・キャンサーボード、ミニキャンサーボードの実施回数							12回	
・がんに関する研修会参加者数							105人	
【27年度以降の対応】								
<p>27年度からがんセンターが設置されたことに伴い、がん疾患に対する集学的な医療機能を充実させるために必要となる体制について検討を進め、体制強化に努めていきます。</p>								

平成26年度がん関連事業実績報告書(市民病院)

整理番号	88	事業名	院内がん登録			予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第13条	情報の収集及び提供等				市民病院	がんセンター
【事業内容】							
<p>・国が定めた登録様式・定義に従い、がん登録実務者(国立がん研究センターの研修を終了している診療情報管理士等)が診療録等の情報をもとに「院内がん登録」を実施しています。</p> <p>26年度は、2012年症例として、平成24年1月1日から12月31日までの1年間に、当院で診断または他施設で既に診断され、当院に初診したがん患者に関する院内がん登録業務実績報告書を公開したほか、平成22年院内がん登録症例の3年目及び、平成20年症例の5年目の追跡調査を行い、院内がん登録生存調査報告書を公表しました。</p>							
【実績】							
						実施日等	実績数等
・全登録件数							1,728件
・胃							168件
・大腸							354件
・肝							54件
・肺							232件
・乳房							114件
【27年度以降の対応】							
全国がん登録に迅速に対応するため、院内の体制強化を進めていきます。							

整理番号	89	事業名	がんに関する治験・研究の推進			予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第14条	がん研究の推進				市民病院	がんセンター
【事業内容】							
<p>・厚生労働省がん研究班をはじめ、複数のがん研究機関に参加するほか、27年度からは日本医療研究開発機構の主任研究員として、がんに対する治療の確立に向けた研究を進める等、国立がん研究センターをはじめとする各種研究機関、他病院との緊密な連携を図り、新しい治療の開発や承認前の新薬の治験を実施しています。</p>							
【実績】							
						実施日等	実績数等
・がん関連臨床試験新規実施数							45件
(うち医師主導臨床研究)							23件
【27年度以降の対応】							
<p>治験・臨床試験の実施体制を充実させていきます。</p> <p>市大附属病院が中心となって発足する「横浜臨床研究ネットワーク」を活用した治験・臨床試験を実施していきます。</p>							

平成26年度がん関連事業実績報告書(みなと赤十字病院)

整理番号	90	事業名	がん検診				予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第7条	がんの早期発見の推進				みなと赤十字病院	健診センター	
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者の要望に応じ、標準コースの1日ドック、2日ドックに加えて、臓器に特化した脳ドック、大腸ドック、肺ドック、レディースドック、さらに低侵襲で診断効率の高いPET/CT検査を組み込んだPET/CTスーパーがんドックを実施しています。豊富なオプション検査とそれぞれのコースとを組み合わせ、一人ひとりのニーズに合わせた「オーダーメイドヘルスチェック」が可能です。 ・横浜市民を中心とする地域住民の皆様の疾病予防・早期発見のお手伝いをさせていただくために、横浜市がん検診の全種類(胃・大腸・肺・子宮・乳・前立腺)を実施しました。 ・がん検診受診と早期発見・早期治療の重要性について市民への啓発活動を行いました。(「肺がん市民セミナー」開催・「健診センターだより」年4回発行) ・人間ドック健診の精度管理向上のために、2次受診勧奨と追跡調査を強化しています。受診の結果、2次受診が必要と判断した場合、受診者の皆様に結果表と一緒に「精密検査依頼書」と「診療依頼書」を郵送しています。 ・受診者数の増加と受診後追跡調査の強化の結果、がん発見数は年々増加しています。 <p>【がん発見数】平成19年度:5件、平成20年度:9件、平成21年度:13件、平成22年度:17件、平成23年度:35件、平成24年度:44件、平成25年度:47件</p>								
【実績】						実施日等	実績数等	
・横浜市肺がん検診						(原則)平日	986件	
・横浜市胃がん検診							900件 内訳) X線841件 内視鏡59件	
・横浜市大腸がん検診							1,271件	
・横浜市乳がん検診							510件	
・横浜市子宮がん検診							392件	
・横浜市前立腺特異抗原検査							471件	
<p>【27年度以降の対応】</p> <p>引き続き、がん検診の普及啓発に努めます。</p>								

平成26年度がん関連事業実績報告書(みなと赤十字病院)

整理番号	91	事業名	がん集学的医療等の提供				予算区分		
開始年度		年度	H26予算額		千円	H26決算額		千円	担当部署
対応条文	第 8 条	がんに係る医療の充実				みなと赤十字病院	がんセンター		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・がんの種類や進行度に応じて、手術療法、放射線治療、化学療法を組み合わせた「集学的治療」を実施しました。(8条(2)) ・がん患者食「みなと食」を導入しました。(8条(5)) ・がんリハビリテーションを実施しました。(8条(5)) 									
【実績】									
・がん患者食「みなと食」の提供						実施日等 食事提供日	実績数等 229名に 5,145食		
・がんリハビリテーション						リハ実施日	2,829単位		
【27年度以降の対応】									
引き続き、がん患者食「みなと食」の提供、がんリハビリテーションを推進します。また、横浜(南)がん病病連携会に各部会を設置し、当該医療圏内に業務の標準化を図ります。									

整理番号	92	事業名	がんの専門的な医療の提供				予算区分		
開始年度		年度	H26予算額		千円	H26決算額		千円	担当部署
対応条文	第 8 条	がんに係る医療の充実				みなと赤十字病院	がんセンター		
【事業内容】									
<ul style="list-style-type: none"> ・腹腔鏡・胸腔鏡下のがん手術、ロボット支援鏡視下前立腺がん手術を行いました。 ・肝胆膵領域の悪性腫瘍に対するIVR治療(インターベンショナルラジオロジー)を行いました。 ・乳がん手術・同時再建(乳腺外科・形成外科)を行いました。 ・外来化学療法は、すべて「化学療法センター(24床)」で安全、確実に実施する体制を整備しました。 ・放射線がん診断・治療設備の整備(PET-CT、リニアック治療)を行いました。 ・鏡視下手術等のトレーニング機器等を備えたスキルラボの整備・運用を行いました。 ・最新鋭の内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を使用し、患者の身体への負担が少ない低侵襲の手術を行いました。 									
【実績】									
・ダ・ヴィンチによる手術件数(平成26年度)						実施日等	実績数等 57件		
【27年度以降の対応】									
現在は前立腺がん手術のみの保険適用となっておりますが、今後は婦人科、腹部外科、胸部外科、心臓外科領域などへ拡大していくことが期待されます。									

平成26年度がん関連事業実績報告書(みなと赤十字病院)

整理番号	93	事業名	がん医療の医療連携				予算区分		
開始年度		年度	H26予算額		千円	H26決算額		千円	担当部署
対応条文	第 8 条	がんに係る医療の充実				みなと赤十字病院	がんセンター		
【事業内容】									
<p>・病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線治療、化学療法又は緩和ケアの提供に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備しています。また、地域連携クリティカルパスを作成し、緩和ケアに関する治療が在宅等でも継続できる体制を整えています。26年度は、新たに前立腺がん地域連携パスの運用を開始しました。(8条(3))</p>									
【実績】									
・5大がんパスの地域連携クリティカルパス (胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝臓がん)						実施日等	実績数等		
							胃がん:25件 大腸がん:23件 乳がん:54件 肺がん: 0件 肝がん: 0件		
・前立腺がんの地域連携クリティカルパス							3件		
・連携病院数(平成27年3月現在)							11病院		
【27年度以降の対応】									
<p>横浜(南)がん病連携会の拡充と地域がん診療機能の更なる向上を目指します。(部署ごとの顔の見える連携の推進) 5大がんパス等による地域医療連携を強化します。</p>									

整理番号	94	事業名	がん患者・家族への相談支援事業				予算区分		
開始年度		年度	H26予算額		千円	H26決算額		千円	担当部署
対応条文	第 9 条	がん患者及びその家族等への支援				みなと赤十字病院	がんセンター		
【事業内容】									
<p>・院内・院外のがん患者及びその家族のほか、地域医療機関等からのがん診療に関する相談や情報提供を行う「がん相談支援センター」を設置しています。(9条(1)) <相談体制> 社会福祉士5人、精神保健福祉士3人、看護師6人</p>									
【実績】									
・相談件数						実施日等	実績数等		
							1,903件		
【27年度以降の対応】									
引き続き、がん相談支援センターにおける相談事業を推進します。									

平成26年度がん関連事業実績報告書(みなと赤十字病院)

整理番号	95	事業名	がんサポートプログラム事業				予算区分		
開始年度		年度	H26予算額		千円	H26決算額		千円	担当部署
対応条文	第9条	がん患者及びその家族等への支援				みなと赤十字病院	がんセンター		
【事業内容】									
<p>・患者やその家族を対象に、からだところのバランスを整えること、自分らしさを取り戻すことを目的に、ストレッチや体操、情報提供やミニレクチャー、語り合う場などのプログラムを提供する「みなとサロン」を通じて支援に取り組みました。</p> <p>・乳がん患者会(ひまわりの会)において、患者と家族、同じ体験をした仲間などが気楽に話し合えたり、不安、悩み、体験談などを語り合う場の無料提供を行いました。(当院に通院暦が無い方も参加可能)(9条(2))</p>									
【実績】									
がんサポートプログラム「みなとサロン」の運営						実施日等	実績数等		
乳癌患者会(ひまわりの会)						延11回	87名参加		
						11月20日、2月18日、1月15日			
【27年度以降の対応】									
引き続き、がんサロンの運営や患者会の支援等を推進していきます。									

整理番号	96	事業名	緩和医療の提供				予算区分		
開始年度		年度	H26予算額		千円	H26決算額		千円	担当部署
対応条文	第10条	緩和ケアの充実				みなと赤十字病院	がんセンター		
【事業内容】									
<p>・緩和ケア研修会(10条(2))</p> <p>平成24年6月、がん対策推進基本計画において「がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得する」ことが目標として掲げられており、厚生労働省の開催指針に基づき、緩和ケア研修会を開催しました。</p> <p>・横浜市立みなと赤十字病院では、緩和ケア病棟を運営し、その人らしさ、自己決定権を尊重した医療・看護を提供しています。</p>									
【実績】									
緩和ケア研修会						実施日等	実績数等		
						5月31日～6月1日	32名参加		
緩和ケア病棟延入院患者数							231人		
内訳 院内他科からの紹介 156人									
院外施設からの紹介 75人									
緩和ケア病棟平均在院日数							30.0日		
【27年度以降の対応】									
緩和ケア研修会を開催し、関係医療従事者の受講を促します。									

平成26年度がん関連事業実績報告書(みなと赤十字病院)

整理番号	97	事業名	がん医療の啓発事業				予算区分		
開始年度		年度	H26予算額		千円	H26決算額		千円	担当部署
対応条文	第 13 条	情報の収集及び提供等				みなと赤十字病院	総務課及び医療連携課		
【事業内容】 ・一般市民の方に、がんについて正しい知識を身に付けて頂くことを目的として、マスメディアへの出演や、市民向けセミナーを開催しました。市民セミナーは、参加者の80%以上の方が、「大変役に立った」等、満足度の高いセミナーでした。(13条)									
【実績】						実施日等	実績数等		
・TV番組 医師出演、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を用いた前立腺がん手術について						11月7日、 11月14日			
・みなと市民セミナー「もっと知ろう！肺がんのこと～その予防から治療まで～」						11月24日	230名参加		
【27年度以降の対応】 引き続き、講演会等の実施を継続します。									

整理番号	98	事業名	がん医療の病診・病病連携				予算区分		
開始年度		年度	H26予算額		千円	H26決算額		千円	担当部署
対応条文	第 8 条	がんに係る医療の充実				みなと赤十字病院	がんセンター		
【事業内容】 ・地域がん診療連携拠点病院として、横浜(南)がん病病連携会を設置し、連携医療機関同士の情報交換、情報共有、設備機器の共同利用、講演会・研修会・症例検討会(キャンサーボード)の共同開催などを通じて、地域連携施設全体のがん診療機能向上、人材育成、治療症例の集積、治療成績の向上を図ることで、地域社会に貢献しました。									
【実績】						実施日等	実績数等		
・がんセンター講演会						延6回	459名参加		
・横浜(南)がん病病連携会講演会						延4回	293名参加		
・横浜(南)がん病病連携会運営委員会及び緩和、栄養領域の部会						延6回	-		
【27年度以降の対応】 横浜(南)がん病病連携会の新たな取り組みとして「市民公開講座」等の開催を検討しています。									

平成26年度がん関連事業実績報告書(教育委員会事務局)

整理番号	99	事業名	がん教育			予算区分	局事業
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第6条	がんの予防の推進			教育委員会事務局	健康教育課	
【事業内容】							
・文部科学省の「がんの教育総合支援事業」を受託している神奈川県と連携し、学校におけるがん教育の方法、教材の作成等について検討を行いました。その一環として、県が開催したがん教育のモデル授業(公開)に、学校長、養護教諭等と共に教育委員会の指導主事が参加し、県内の他自治体の担当者等とがん教育の方法や次年度以降の取組について意見交換を行いました。							
【実績】							
					実施日等	実績数等	
・がん教育モデル授業及び意見交換会への参加					10月24日	1名	
					11月21日	21名	
【27年度以降の対応】							
県と連携し、市内の市立学校でのモデル授業を実施します。(県全体で10校程度。横浜市内では、市立中学校数校で開催予定)。また、今後、文部科学省が定めるがん教育のあり方を踏まえ、横浜市における具体的な教育方法について検討します。							

整理番号	100	事業名	中央図書館 医療・健康情報コーナーの設置			予算区分	局事業
開始年度	H18	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第13条	情報の収集及び提供等			教育委員会事務局	中央図書館 調査資料課	
【事業内容】							
・がんをはじめとした病気の治療や予防、病院、薬など、市民が必要とする医療・健康に関する役立つ情報を集めたコーナーを開設。医療・健康に関する図書のほか、患者会の資料やパンフレット、関連する図書紹介リスト等を備え、医療・健康関連の催事ちらしを配布するなど、積極的な情報提供に努めました。							
【実績】							
					実施日等	実績数等	
・がん関連図書の収集・提供(閲覧・貸出)					通年	約60冊	
・がん関連パンフレット(国立がん研究センター)の収集・提供					12月	約30点	
・がん検診広報ちらしの配布					10月～		
・がん撲滅対策推進条例施行広報ポスターの掲示					10月～12月		
・がん撲滅対策推進条例施行広報ちらしの配布					10月～12月		
【27年度以降の対応】							
がん関連の図書等資料の収集、がん検診広報ちらしの配布等を引き続き行うとともに、がん関連図書を紹介するミニ展示を開催するなど、引き続きがん予防の啓発・推進に努めていきます。							

平成26年度がん関連事業実績報告書(教育委員会事務局)

整理番号	101	事業名	中央図書館 ライブラリーカフェの実施			予算区分	局事業
開始年度	H22	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第13条	情報の収集及び提供等				教育委員会事務局	中央図書館調査資料課
【事業内容】 ・テーマを選定し、その分野で活躍する研究者・専門家をゲストに招き、講演及び質疑応答、グループディスカッション等を行い、関連する図書の展示やブックリストの配布を行う企画事業。 平成26年度は、生命情報としての遺伝子、遺伝子組み換え食品、予防医療、薬学創薬など、医療・健康に関するテーマで実施しました。							
【実績】						実施日等	実績数等
・第27回 遺伝子ですべては決まらない！変化する生命情報 (高校生対象、理研協働事業)						8月3日	参加 11人
・第33回 遺伝子研究がつくる未来の予防医療 (理研協働事業)						1月17日	参加 39人
・第34回 ゴールは実用化？新しい学問「レギュラトリーサイエンス」 (理研共同事業)						1月31日	参加 38人
【27年度以降の対応】 理研との協働企画を中心に、医療、生命科学、創薬など、がんや周辺医療に関連する企画を実施し、がん予防や生活習慣病予防など、市民の健康への関心を高められるよう啓発に努めていきます。							

整理番号	102	事業名	中央図書館 医療・健康関連企画展示の実施			予算区分	局事業
開始年度	H22	年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第13条	情報の収集及び提供等				教育委員会事務局	中央図書館調査資料課
【事業内容】 ・医療や健康に関わるテーマを選定し、その分野の図書を展示し、関連するポスターやパネルを掲示、ブックリストやパンフレット・ちらしを配布する企画事業。本市局区との協働等により実施しました。 平成26年度は、生活習慣病予防として健康21関連の展示と、がん撲滅対策推進条例施行をPRする展示を実施しました。							
【実績】						実施日等	実績数等
・企画展示 健康づくり情報パネル展(西区協働事業)						8月19日～ 9月15日	
・企画展示 横浜市横浜市がん撲滅対策推進条例が施行されました(健康福祉局協働事業)						10月15日～ 11月9日	
【27年度以降の対応】 図書館所蔵の図書等資料を活用し、関連局・区との協働等により、医療・健康に関する情報を多角的に提供することを目指しています。引き続き、がん関連のテーマも含め、図書等資料の紹介・貸出、ブックリストやパンフレット・ちらし等の配布を通じて、健康意識の啓発推進に努めます。							

平成26年度がん関連事業実績報告書(横浜市立大学)

整理番号	103	事業名	がん医療に関する医療機器の更新・導入			予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第 8 条	がんに係る医療の充実				市立大学	市大附属病院 市大センター病院
【事業内容】							
<p>・手術療法、放射線療法、化学療法など、高度ながん医療を実施していくために必要な医療機器について、計画的な更新や新規導入を行い、医療水準の維持及び向上を図ります。</p> <p>附属病院では27年1月に外来化学療法室を移転・拡充(13床から23床に増床)し、待ち期間の短縮とともに、より安全かつ質の高い化学療法の提供体制を整えました。</p> <p>また、手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)を導入し、前立腺がんや婦人科領域の治療に活用しており、外科領域の適用についても検討を進めています。</p>							
【実績】							
						実施日等	実績数等
・ダ・ヴィンチによる手術件数(平成26年度)							
泌尿器科(前立腺悪性腫瘍手術)							47件
産婦人科(子宮悪性腫瘍手術)							3件
【27年度以降の対応】							
<p>保険適用でないものの、薬事承認されている3領域(一般消化器外科、泌尿器科、婦人科)の手術については、「臨床倫理委員会」及び運用検討部会で実施手法や安全性の確保策を十分に検証しながら、引き続き取組を推進していきます。</p>							

整理番号	104	事業名	がん相談支援センターの運営			予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第 9 条	がん患者及びその家族等への支援				市立大学	市大附属病院 市大センター病院
【事業内容】							
<p>・がん診療連携拠点病院として、がん患者や家族からの電話及び面談による相談に対応しました。</p>							
【実績】							
						実施日等	実績数等
・附属病院: 電話による相談							4,760件
面談							1,907件
・センター病院: 電話による相談							1,079件
面談							442件
その他							83件
【27年度以降の対応】							
<p>引き続き取組を推進していきます。(※本事業は国補助対象)</p>							

平成26年度がん関連事業実績報告書(横浜市立大学)

整理番号	105	事業名	患者会への支援				予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第 9 条	がん患者及びその家族等への支援				市立大学	市大附属病院 市大センター病院	
【事業内容】								
・患者会への支援 <横浜市立大学附属病院> 患者会「ハートマンマの会(乳がん)」、「わいわいクローバーの会(子宮がん)」、「港笛会(喉頭がん)」、「さんふらわ(小児科親子の会)」の活動を支援しました。 <横浜市立大学附属市民総合医療センター> 患者会「乳がんおしゃべりの会 マンマサロン(乳がん)」、「乳房再建の会 再建サロン(乳房再建)」の活動を支援しました。								
【実績】						実施日等	実績数等	
【27年度以降の対応】								
引き続き取組を推進していきます。								

整理番号	106	事業名	緩和ケアの充実				予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第 10 条	緩和ケアの充実				市立大学	市大附属病院 市大センター病院	
【事業内容】								
・医療従事者向けに緩和ケア研修会(疼痛緩和、精神緩和、身体緩和、コミュニケーション技術等をテーマにした講義及びワークショップ)を実施しました。 ・緩和ケアチームによる院内横断的な活動により、患者さんの苦痛を緩和しました。								
【実績】						実施日等	実績数等	
緩和ケア研修会								
附属病院						9月20、21日	参加者80名	
センター病院						11月23、24日	参加者17名	
【27年度以降の対応】								
「がん診療連携拠点病院における緩和ケア研修完了計画書策定等について」(平成27年3月12日付け厚生労働省健康局がん対策・健康増進課事務連絡)を受け、27年度は従来の年1回開催を年2回に増やし、引き続き取組を推進していきます。								

平成26年度がん関連事業実績報告書(横浜市立大学)

整理番号	107	事業名	医療従事者の養成			予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署
対応条文	第 12 条	医療従事者の育成及び確保				市立大学	
【事業内容】							
<p>・横浜市立大学では、がん診療にすぐれた技術を持った医療人材を養成することを目的として、専門性の高い教育を行いました。</p> <p>・文部科学省のがん専門医療人養成のための拠点を構築する優れたプログラムに対し財政支援を行う「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」では、平成24年度に全国で15件の取組が採択され、東京大学(主幹)・横浜市立大学・東邦大学・自治医科大学が合同で申請した「がん治療のブレイクスルーを担う医療人育成」プログラムも採択されています。</p> <p>26年度は、MDアンダーソンがんセンター(アメリカ)やアルバータ大学(カナダ)から講師を迎え、公開セミナーを開催(9月、11月)したほか、合同セミナーを遠隔同時中継で開催しました。また、「がん在宅緩和ケアを考える・より良い”生“の全うのために」をテーマとして市民公開セミナーを開催しました。</p> <p>・博士課程「先端的がん治療専門医療人養成コース」では、がんのプロフェッショナルとして様々な専門分野が一同に集まり、新規薬物治療、先端放射線治療、臨床・基礎研究に精通し、最先端のがん治療技術を提供できるような医療人の養成を行いました。</p>							
【実績】						実施日等	実績数等
【27年度以降の対応】							
引き続き取組を推進していきます。							

整理番号	108	事業名	がん登録の推進			予算区分					
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署				
対応条文	第 13 条	情報の収集及び提供等				市立大学	市大附属病院 市大センター病院				
【事業内容】											
<p>・がん診療連携拠点として、診療情報管理士を雇用し、国の標準様式によるがん登録を実施しました。また、院内がん登録で収集したデータは、神奈川県悪性新生物登録事業(地域がん登録)にも提供しました。</p>											
【実績】						実施日等	実績数等				
<p>・院内がん登録提出件数 ※26年度提出(25年実績)</p> <table border="1"> <tr> <td>附属病院</td> <td>2,221件</td> </tr> <tr> <td>センター病院</td> <td>2,103件</td> </tr> </table>								附属病院	2,221件	センター病院	2,103件
附属病院	2,221件										
センター病院	2,103件										
【27年度以降の対応】											
引き続き取組を推進していきます。											

平成26年度がん関連事業実績報告書(横浜市立大学)

整理番号	109	事業名	がんに関する市民向け講座				予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第 13 条	情報の収集及び提供等				市立大学		
【事業内容】 エクステンション講座として、がんに関する市民向け講座を開催しました。								
【実績】						実施日等	実績数等	
・最新の白血病治療について						4月	74名	
・からだにやさしい胃がん治療とは						5月	112名	
・抗がん剤について理解を深めよう						7月	181名	
・漢方と疾患シリーズ「消化器がん治療と漢方」						8月	115名	
・切らずに治す進行口腔がんの治療						9月	72名	
・前立腺がん治療の現状						10月	193名	
・がん治療と口腔ケア						12月	38名	
・食道がん～発生の危険性、治療法～						2月	206名	
【27年度以降の対応】 引き続き取組を推進していきます。								

整理番号	110	事業名	市立大学におけるがん研究への支援事業				予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	10,000 千円	H26決算額	10,000 千円	担当部署	
対応条文	第 14 条	がん研究の推進				市立大学		
【事業内容】 ・新たな治療方法を早期に保険診療として実施できるようにすることで、市民のがん治療の選択肢を広げるため、附属病院における先進的医療研究を支援しました。具体的には、保険適用とならない新たな治療方法について、厚生労働省の先進医療として認められるまでの間、治療に係る医薬材料費等を市立大学が負担することで、保険診療の適用に向けた流れを促進しました。また、専門的知識・経験を持つ大学における研究マネジメント人材(URA:UniversityResearchAdministrator)の配置に向けた調整を行い、研究者の支援をすることで、外部研究費の採択率を上げ、効率的に研究が進むようにします。								
【実績】						実施日等	実績数等	
・先進的医療研究						H26年度実績	21件	
・URA研究支援						—		
【27年度以降の対応】 引き続き、先進的医療研究及びURAによる研究支援を推進していきます。								

平成26年度がん関連事業実績報告書(横浜市立大学)

整理番号	111	事業名	がん研究事業				予算区分	
開始年度		年度	H26予算額	千円	H26決算額	千円	担当部署	
対応条文	第14条	がん研究の推進				市立大学		
【事業内容】								
<p>がん研究においては、横浜市立大学先端医科学研究センターの取組みやテキサス大学MDアンダーソンがんセンターとMOU締結するなど大学としての取組みも進んでいます。</p> <p>最近の研究成果では、泌尿器科 泉浩司医師、上村博司准教授らの研究グループが、世界で初めてホルモン療法が膀胱がんの再発を抑制することを発見しました(平成27年1月6日記者発表)。</p> <p>また、生命医科学研究科 奥田昌彦特任助教らが、世界初のがん抑制タンパク質p53 のリン酸化複合体の立体構造解明に成功し、新たな抗がん剤の開発の促進に期待されております(平成26年10月6日記者発表)。</p> <p>さらに、大学院医学研究科 免疫学 田村智彦教授らの研究グループが、白血球の分化において貪食細胞への運命を決定するタンパク質の働きを解明し、免疫不全症や慢性骨髄性白血病の病態理解につながる成果がでております(平成26年9月17日記者発表)。</p> <p>このような研究成果をもとに、積極的に外部資金の獲得を推進することにより、本学の研究費は年間で31億円程度(奨学寄付金を除く)の獲得収入があり、そのうち「がん研究」に係るもの(研究課題に「がん」又は「腫瘍」とあるもの)については、26年度の実績で約3億円の実績となっています。</p>								
【実績】						実施日等	実績数等	
がん関連研究<<採択額と採択件数の推移>>厚労+文科のみ								
平成24年度 採択額:279,600千円 採択件数:16件								
平成25年度 採択額:302,100千円 採択件数:21件								
平成26年度 採択額:292,750千円 採択件数:21件								
【27年度以降の対応】								

V 參考資料

◎悪性新生物の部位別死亡数の推移(平成21年～25年)

		部 位	21年	22年	23年	24年	25年
死 亡 数	男	総 数	5,116	5,375	5,489	5,555	5,383
		口唇、口腔及び咽頭	123	137	134	142	122
		食道	319	284	309	294	291
		胃	813	849	869	820	775
		結腸	381	449	440	414	433
		直腸、直腸S状結腸移行部及び肛門	219	230	254	271	281
		(再掲)大腸 注1)	600	679	694	685	714
		肝及び肝内胆管	487	515	516	490	496
		胆のう及びその他の胆道	183	196	206	204	194
		膵	349	374	413	420	385
		喉頭	29	30	13	23	27
		気管、気管支及び肺	1,162	1,196	1,165	1,244	1,188
		皮膚	16	16	17	29	18
		乳房	2	3	1	3	4
		前立腺	248	272	288	274	273
		膀胱	110	120	128	150	131
		中枢神経系	28	31	34	30	29
		悪性リンパ腫	159	126	162	158	172
		白血病	110	129	112	131	115
		その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	51	65	42	56	50
		その他	327	353	386	402	399
(人)	女	総 数	3,246	3,341	3,532	3,512	3,648
		口唇、口腔及び咽頭	42	42	63	49	43
		食道	40	52	62	57	64
		胃	388	357	369	373	357
		結腸	373	375	375	398	416
		直腸、直腸S状結腸移行部及び肛門	114	124	134	147	144
		(再掲)大腸 注1)	487	499	509	545	560
		肝及び肝内胆管	251	239	235	251	207
		胆のう及びその他の胆道	182	162	192	169	190
		膵	288	327	329	345	360
		喉頭	1	0	2	0	1
		気管、気管支及び肺	432	492	527	487	526
		皮膚	11	12	15	22	14
		乳房	338	346	359	369	429
		子宮	143	146	153	147	158
		卵巣	144	143	149	141	149
		膀胱	51	39	44	65	53
		中枢神経系	18	20	24	19	26
		悪性リンパ腫	96	104	120	117	120
		白血病	60	56	74	65	86
		その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	46	40	55	48	40
その他	228	265	251	243	265		

注1) 結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

平成25年(度)版 横浜市保健統計年報より抜粋

○横浜市がん撲滅対策推進条例

平成26年6月13日

条例第42号

横浜市がん撲滅対策推進条例をここに公布する。

横浜市がん撲滅対策推進条例

日本人の死亡原因の第1位はがんによるもので、およそ3人に1人ががんによって亡くなっている。がんの罹患率は年々増加傾向にあり、横浜市民にとって今や特別な疾病とはいえないがんと向き合い、その撲滅に向けた総合的な対策を講ずることは急務である。現在、横浜市においては、がん医療に対する調査、最新医療技術の研究を進めるとともに、地域がん診療連携拠点病院の指定などの政策を推進しているところではあるが、今後、更に患者の目線に立ったきめ細やかな取組を計画的に進めていく必要がある。

そして、その取組は、がんの疾病としての特質に鑑み、予防・早期発見・発症部位や発見時期によって異なる医療提供・最新情報の提供・再発防止・緩和ケア・患者家族等関係者への支援等をそれぞれが分断されることなく、患者の就労支援を含め、患者が社会との関わりを保ちながら水準の高い医療と生活を共に享受できるものとしていかなければならない。

国及び神奈川県のがん施策に連動しつつ、横浜市の取組ががんと向き合う全ての関係者のより強力な支えとなることを目指し、ここに横浜市がん撲滅対策推進条例を制定する。

(目的)

第1条 この条例は、がんの撲滅を目指し、がん対策基本法(平成18年法律第98号)及び神奈川県がん克服条例(平成20年神奈川県条例第25号)の趣旨を踏まえ、横浜市(以下「市」という。)のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がんの予防及び早期発見に資するとともに、全ての市民が適切ながんに係る医療を受けられるようにするための総合的ながん対策を推進することを目的とする。

(市の責務)

第2条 市は、国、神奈川県(以下「県」という。)、医療機関、医療関係団体及び保健医療関係者(がんの予防若しくは早期発見の推進又はがんに係る医療に携わる者をいう。以下同じ。)並びにがん患者及びその家族等で構成される団体その他の関係団体(以下「がん患者等関係団体」という。)との連携を図りつつ、がん対策に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

2 前項の施策は、医療のほか介護、福祉、教育、雇用等幅広い観点からの検討を踏まえて策定されるものでなければならない。

3 市は、各区の地域性に応じ、前2項の規定により策定された施策について、当該各区の区民への周知を図り、その理解及び関心を深めるよう努めるものとする。

(市民の責務)

第3条 市民は、市が実施するがん対策に関する施策に協力し、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣及び生活環境が健康に及ぼす影響等がんに関する正しい知識を持ち、がんの予防に必要な注意を払うよう努めるとともに、積極的にがん検診を受けるよう努めなければならない。

(保健医療関係者の責務)

第4条 保健医療関係者は、市が実施するがん対策に関する施策に協力し、がんの予防に寄与するよう努めるとともに、がん患者の置かれている状況を深く認識し、かつ、その意向を十分に尊重し、適切ながんに係る医療を行うよう努めなければならない。

- 2 保健医療関係者は、がん患者及びその家族等に対し、積極的にこれらの者が必要とするがんに関する情報を提供するよう努めるものとする。

(事業者の責務)

第5条 事業者は、市が実施するがん対策に関する施策に協力するとともに、従業員ががんを予防し、又は早期に発見することができる環境の整備に努めなければならない。

- 2 事業者は、従業員又はその家族ががん患者となった場合であっても、当該従業員が勤務を継続しながら治療し、療養し、又は看護することができる環境の整備に努めなければならない。

(がんの予防の推進)

第6条 市は、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣及び生活環境が健康に及ぼす影響に関する知識の普及啓発その他がんの予防の推進のために必要な施策を講ずるものとする。

- 2 市は、健康増進法(平成14年法律第103号)第25条に規定する施設を管理する者又は神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例(平成21年神奈川県条例第27号)第2条第4号に掲げる施設管理者と連携し、受動喫煙の防止の推進のために必要な施策を講ずるものとする。
- 3 市は、女性に特有のがんである子宮頸けいがんに関し、罹患しやすい年齢を考慮した予防手段についての正しい知識の普及啓発のため必要な施策を講ずるものとする。

(がんの早期発見の推進)

第7条 市は、がんの早期発見に資するよう、保健医療関係者、がん患者等関係団体等と連携し、がん検診の受診率及び質の向上等を図るために、次に掲げる施策を講ずるものとする。この場合において、市は、必要に応じ市のがん対策に賛同する事業者等による提案又は創意工夫を活用するほか、当該施策の効果的な実施を図るために必要な検討を加えるものとする。

- (1) がんの早期発見の重要性に関する啓発及び広報
 - (2) がん検診の受診が可能な医療機関等の周知
 - (3) がん検診の受診に係る費用の助成
 - (4) 年齢、性別等を考慮したがん検診の受診の勧奨
 - (5) がん検診の精度管理の充実
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、がんの早期発見の推進に関し必要な施策
- 2 市は、毎年、期間を指定し、がんの早期発見の重要性に関する啓発及び広報等を重点的かつ効果的に実施するものとする。

(がんに係る医療の充実)

第8条 市は、がん患者がそのがんの状態に応じた適切ながんに係る医療を受けることができるようにするため、県、医療機関等と連携し、次に掲げる施策を講ずるものとする。

- (1) がん診療連携拠点病院(がんに係る専門的な医療の提供、がん患者に対する相談支援及び情報提供等を行うことを目的として厚生労働大臣の指定を受けて設置される医療機関をいう。)及びこれに準ずる病院の整備及び機能の強化
- (2) 手術療法、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療法の普及並びに高度で先進的な医療技術の導入の推進
- (3) 地域連携クリティカルパス(第1号に掲げる病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。)の活用等による同号に掲げる病院相互間又は同号に掲げる病院とその他の医療機関等との連携の強化

- (4) 小児がんの実態把握の強化並びに診療に係る医療機関相互の連携及び協力の促進
- (5) 前各号に掲げるもののほか、がんに係る医療の充実に関し必要な施策

(がん患者及びその家族等への支援)

第9条 市は、がん患者の療養生活の質の維持向上並びにがん患者及びその家族等の精神的な苦痛、社会生活上の不安等の軽減に資するため、県、医療機関等と連携し、次に掲げる施策を講ずるものとする。

- (1) がん患者及びその家族等に対するセカンドオピニオン(診断又は治療に関する担当医師以外の医師の意見をいう。)を含めた相談体制の充実強化
- (2) がん患者等関係団体が行うがん患者の療養生活及びその家族等に対する活動の支援
- (3) 前2号に掲げるもののほか、がん患者及びその家族等への支援に関し必要な施策

(緩和ケアの充実)

第10条 市は、がん患者の身体的又は精神的な苦痛、社会生活上の不安等の軽減を目的とする医療、看護その他の行為(以下「緩和ケア」という。)の充実を図るため、県、医療機関等と連携し、次に掲げる施策を講ずるものとする。

- (1) 緩和ケアを提供する医療機関の整備の促進
- (2) 緩和ケアに関する専門的な知識及び技能を有する医療従事者の育成
- (3) がん患者の状況に応じたがんと診断された時からの緩和ケアの推進
- (4) 緩和ケアに係る地域における連携協力体制の整備
- (5) 居宅において緩和ケアを受けられることができる体制の整備
- (6) 前各号に掲げるもののほか、緩和ケアの充実に関し必要な施策

(在宅医療の充実)

第11条 市は、がん患者がその居宅において療養できる体制の整備のため、次に掲げる施策を講ずるものとする。

- (1) がんに係る在宅医療に従事する医師、看護師その他の医療従事者及び介護従事者の育成及び確保
- (2) 医療機関、介護サービス事業者その他がんに係る在宅医療に関わる団体等の連携の強化
- (3) 在宅医療を希望するがん患者及びその家族等に対する情報提供、相談支援等の充実
- (4) 前3号に掲げるもののほか、がんに係る在宅医療の充実に関し必要な施策

(医療従事者の育成及び確保)

第12条 市は、手術療法、放射線療法、化学療法その他のがんに係る医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の医療従事者の育成及び確保を図るため、必要な施策を講ずるものとする。

(情報の収集及び提供等)

第13条 市は、市民ががんに係る医療に関する適切な情報を得られるよう、国、県、医療機関等と連携し、情報の収集に努めるものとする。

- 2 前項の規定による情報の収集は、世界保健機関その他の国際機関及び諸外国の高度で先進的ながんに係る医療に関する情報を対象とするなど、幅広い観点から行うものとする。
- 3 市は、市民に対し、がんに係る医療、がん患者及びその家族等の支援等に関する情報を提供するため、県、医療機関等と連携し、必要な広報活動その他の施策を講ずるものとする。

- 4 市は、がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)によるがん登録(同法第2条第2項に規定するがん登録をいう。)の推進に協力するものとし、全国がん登録情報(同条第7項に規定する全国がん登録情報をいう。以下同じ。)等を利用して得られた知見に基づき、医療機関に対し、がんに係る医療の質の向上に資する情報を提供するとともに、当該知見について、市民が理解しやすく、かつ、がん患者の治療方法の選択に資する形で公表するよう努めるものとする。
- 5 市は、白血病等の血液がんに対する有効な治療法である骨髄移植及び臍さい帯血移植を促進するため、医療機関、医療関係団体等と連携し、骨髄バンク事業及び臍帯血バンク事業の普及啓発その他の必要な施策を講ずるものとする。

(がん研究の推進)

第14条 市は、公立大学法人横浜市立大学におけるがん対策に係る研究に対する支援その他の高度で先進的ながん対策に係る研究が推進されるために必要な施策を講ずるものとする。

(情報等の活用)

第15条 市は、第13条第1項及び第2項の規定により収集した情報、全国がん登録情報並びに前条の規定により得られた研究の成果が活用されるために必要な施策を講ずるものとする。

(財政上の措置)

第16条 市は、がん対策に関する施策を計画的に実施するため、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

(表彰)

第17条 市は、第5条の規定による環境の整備その他がん対策の推進に関し特に著しい功績のあったものに対し、表彰を行うものとする。

(市会への報告)

第18条 市長は、毎年、市会にがん対策に関する施策の実施状況を報告しなければならない。

(委任)

第19条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例は、平成26年10月1日から施行する。ただし、第13条第4項及び第15条(全国がん登録情報に係る部分に限る。)の規定は、がん登録等の推進に関する法律の施行の日から施行する。